

愛知県美術館年報

目次

収集・保存・管理

1	収集	4
	収集方針	
	収集委員会	
	収集の状況	
	新収蔵作品	
	収集作品一覧 購入／受贈／管理換え	
	寄託	
	美術品等取得基金について	
2	保存	11
	保存事業の実施状況	
3	管理	12
	所蔵作品の管理状況	
	作品の管理	
	作品の貸出	
	作品の概要	

展示・教育普及

1	コレクション展	13
	展示の概要	
	コレクション展の開催状況と入場者数	
	コレクション展 展示作品リスト	
	特集展示	
	APMoA Project, ARCH	
	移動美術館	
	三館協同展	
	サテライト展示（試行）	
	その他	
2	企画展	33
	企画展の入場者数	
	企画展の開催状況	
3	教育普及	43
	出版・発行	
	講演会・シンポジウム・ワークショップ等関連イベント	
	各種プログラムなど	
	鑑賞学習交流会	
	児童、生徒を対象とした鑑賞教育の実施	
	視覚に障がいのある方を対象とした鑑賞会プログラム	
	団体鑑賞への対応（学校・一般）	
	博物館実習生の受け入れ	
	美術館研修生の受け入れ指導	
	美術館友の会との協力	
	文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業・	
	ミュージアム活性化支援事業	

調査研究

調査・研究	54
-------	----

ギャラリー（貸館）

利用状況	58
利用団体一覧	

組織・職員構成

関係委員会名簿

1 収集

収集方針

- ・ 20世紀の優れた国内外の作品及び20世紀の美術動向を理解する上で役立つ作品
- ・ 現在を刻印するにふさわしい作品
- ・ 愛知県としての位置をふまえた特色あるコレクションを形成する作品
- ・ 上述の作品・作家を理解する上で役立つ資料

収集委員会（委員会名簿は62頁）

開催日：第1回 2012年5月22日
：第2回 2012年10月24日

新収蔵品と収集の状況

- ・ 上記の収集方針にそって17点の作品を購入し、26点の作品の寄贈を受け、合計43点の作品を新たに収集した。

美術品等収集状況

種 別	購 入		寄 贈	管理換え
	点 数	金 額(円)	点 数	点数
日 本 画	0	0	2	0
洋 画	6	305,323,000	14	0
立 体	3	3,780,000	0	0
版 画	7	5,845,000	6	0
水 彩・素 描	1	1,323,000	3	0
写 真	0	0	0	0
インスタレーション	0	0	0	0
工 芸	0	0	0	0
書	0	0	0	0
資 料	0	0	0	0
計	17	税込 316,271,000	26	0

所蔵作品全体の状況（平成25年3月末現在）

	点 数
所蔵作品	2,985点
藤井達吉 コレクション	1,460点
木村定三 コレクション	3,290点
合 計	7,735点

新収蔵作品

1999年度に基金による購入が原則凍結されて以降、収集方針に則した中心的な作品の購入は難しくなっていたが、2002年度に限定的ながらも基金執行の凍結解除を受けて以降は現代の美術を中心にコレクション充実に努め、2007年度から2009年度の3ヶ年で陶磁資料館と合わせ1億2千万円（内、美術館9千万円）の基金執行が可能となり、2010年度からの3ヶ年についても同様となっている。

さらに2012年度は個人からの3億円の寄附金により、ポール・ゴーギャンの作品を購入した。

基金によって購入した作品は14点で、戸張孤雁の彫刻ほか、現代作家の油彩や版画など多岐にわたる。また、作家やその遺族、収集家などから12作家26点の寄贈を受けた。

収集作品一覧

2012年度 収集作品一覧

1 洋画

ポール・ゴーギャン 海岸の岩／木靴職人

1888年
油彩、画布
49.0×58.0cm

Paul GAUGUIN
Rocks on the Coast / The Sabot Maker
1888
oil on canvas
49.0×58.0cm
FO201200001000
寄附金による購入



2 版画

ポール・ゴーギャン 水浴するブルターニュの女たち

1889年
リトグラフ（亜鉛版）、紙
24.5×20.0cm（版）／48.0×32.5cm（紙）

Paul GAUGUIN
Bathers in Brittany
1889
lithograph on paper
24.5×20.0cm (image) / 48.0×32.5cm (sheet)
FP201200001000
寄附金による購入



3 版画

ポール・ゴーギャン テ・ポ（夜）

1893-94年
木版、紙
20.5×35.7cm（版）／27.0×42.1cm（紙）

Paul GAUGUIN
Te Po (Eternal Night)
1893-94
woodcut on paper
20.5×35.7cm (image) / 27.0×42.1cm (sheet)
FP201200002000
寄附金による購入

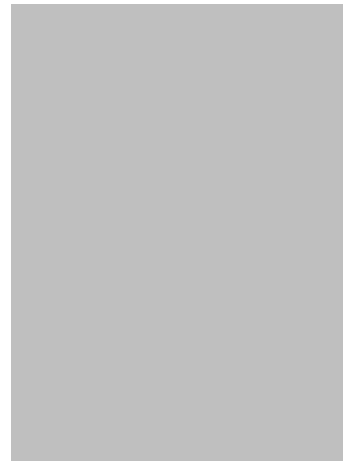


4 洋画

安藤正子 おへその庭

2010年
油彩、画布・パネル
190.0×140.0cm

ANDO Masako
The Garden of Belly Button
2010
oil on canvas mounted on panel
190.0×140.0cm
JO201200001000



5 洋画

岸本吉弘 NARAI—Hidden Dragon

2007年
油彩・蜜蝋、画布
218.2×582.0cm

KISHIMOTO Yoshihiro
NARAI—Hidden Dragon
2007
oil and beeswax on canvas
218.2×582.0cm
JO201200002000



6 洋画

設楽知昭 ドーム画

2003年
油彩、ポリエステルフィルム・パネル
56.0×67.0cm

SHITARA Tomoaki
Dome Painting
2003
oil on polyester film mounted on panel
56.0×67.0cm
JO201200003000



7 彫刻・立体

設楽知昭
ドーム

2003年
油彩、石膏下地・石膏
24.5×46.0×38.5cm

SHITARA Tomoaki
Dome
2003
oil on plaster
24.5×46.0×38.5cm
JS201200001000

8 洋画

設楽知昭
空と炎

2011年
油彩、画布
80.3×100.0cm

SHITARA Tomoaki
Sky with Flames
2011
oil on canvas
80.3×100.0cm
JO201200004000

9 洋画

設楽知昭
火口

2012年
油彩・エンコースティック、画布
91.0×91.0cm

SHITARA Tomoaki
Crater
2012
oil and encaustic on canvas
91.0×91.0cm
JO201200005000

10 水彩素描

中西利雄

帽子の婦人像

1939年頃
水彩・グアッシュ、紙
75.4×56.0cm

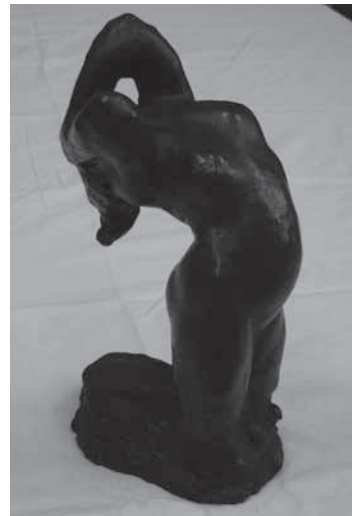
NAKANISHI Toshio
Woman with a Hat
ca. 1939
watercolor and gouache on paper
75.4×56.0cm
JD201200001000

11 彫刻・立体

戸張孤雁
曇り

1917年
ブロンズ
23.5×8.3×13.5cm

TOHARI Kogan
Cloudiness
1917
bronze
23.5×8.3×13.5cm
JS201200002000



12 彫刻・立体

渡辺英司

蝶瞰図 左／右

2012年
蝶図鑑・木・アクリル
2点組 各124.0×95.3×9.0cm

WATANABE Eiji
Butterfly's-Eye View Left / Right
2012
pictorial books of butterflies, wood and
acrylic board
124.0×95.3×9.0cm (suite of 2)
JS201200003000

13 版画

倉地比沙支

menu2 (chicken)

2004年
印画紙に焼付、アクリルマウント
91.0×86.0cm

KURACHI Hisashi
menu2 (chicken)
2004
printed on photographic paper mounted
on acrylic board
91.0×86.0cm
JP201200001000

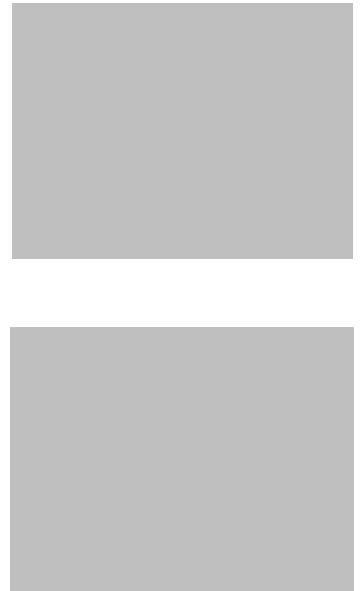
14 版画

倉地比沙支

new model

2006年
印画紙に焼付、アクリルマウント
79.0×113.0cm

KURACHI Hisashi
new model
2006
printed on photographic paper mounted
on acrylic board
79.0×113.0cm
JP201200002000



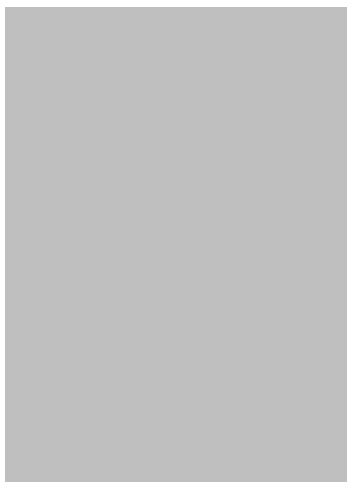
15 版画

倉地比沙支

independence071

2007年
印画紙に焼付、アクリルマウント
95.6×69.0cm

KURACHI Hisashi
independence071
2007
printed on photographic paper mounted
on acrylic board
95.6×69.0cm
JP201200003000



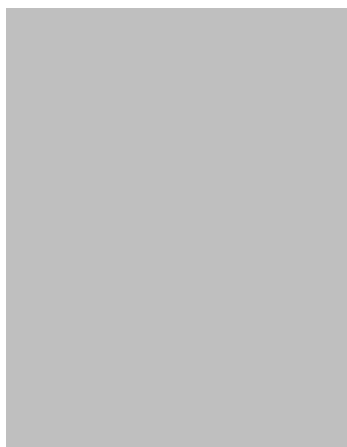
16 版画

倉地比沙支

a rest

2009年
印画紙に焼付、アクリルマウント
100.7×77.7cm

KURACHI Hisashi
a rest
2009
printed on photographic paper mounted
on acrylic board
100.7×77.7cm
JP201200004000



17 版画

山田純嗣

(11-6) GARDEN OF EARTHLY
DELIGHTS

2010-12年
樹脂・パールパウダー・ラメパウダー・エッ
チングインク・インタリオ・オン・フォト
(エッチング、ゼラチンシルバープリント)、
ポリコートパネルに印画紙
中央：220.0×195.0cm、左右：各220.0×
92.0cm

YAMADA Junji
(11-6) GARDEN OF EARTHLY
DELIGHTS
2010-12
resin, pearl powder, lamé powder, etching
ink and intaglio on photo (etching and
gelatin silver print) on photographic paper
mounted on poli-coat panel
center 220.0×195.0cm, right / left 220.0×
92.0cm
JP201200005000



寄贈作品（26点）

1 洋画

伊藤康

新聞を読む女

1928年
油彩、画布
64.0×79.6cm

ITO Ren
Woman Reading a Newspaper
1928
oil on canvas
64.0×79.6cm
JO201200006000
雀おどり總本店寄贈



2 資料

杉本健吉

作家による『新・平家物語』

スクラップブック

編集年不詳
和綴スクラップブック27冊・桐箱
(冊子各) 18.5×25.2cm、(箱) 49.2×22.0×
29.6cm

SUGIMOTO Kenkichi
Artist's Scrapbook of *The Heiké Story*
edited date unknown
27 scrapbooks binded in Japanese style
contained in a box of paulownia wood
each book : 18.5×25.2cm, box: 49.2×2.0×
29.6cm
JM201200001000
杉本清子氏寄贈

3 日本画

我妻碧宇

群鶴

1940年頃
紙本着色、二曲一双
各173.0×178.0cm

AZUMA Hekiu
Cranes
ca. 1940
color on paper, a pair of two-fold screen
each 173.0×178.0cm
JJ201200001000
伊佐地忠氏寄贈



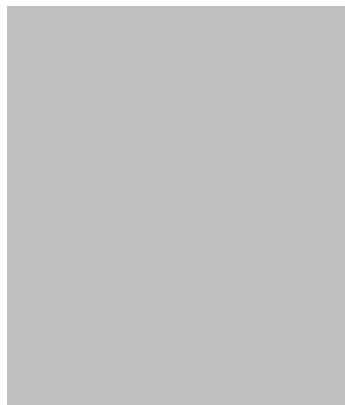
4 日本画

嶋谷自然

磯

1990年
紙本着色
188.5×160.0cm

SHIMAYA Shizen
Seashore
1990
color on paper
188.5×160.0cm
JJ201200002000
市野鷹生氏寄贈



5 洋画

尾崎良二

明けゆく長崎鼻の海

2008年
油彩、画布
72.0×90.0cm

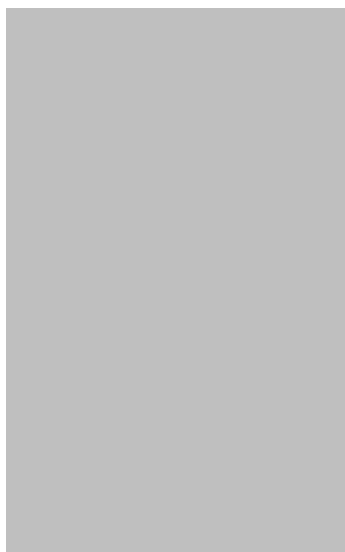
OZAKI Ryoji
The Rising Dawn in Nagasakibana Sea
2008
oil on canvas
72.0×90.0cm
JO201200007000
木村美保子氏寄贈



6 洋画
香月泰男
綱渡

1963年
油彩、画布
51.5×31.5cm

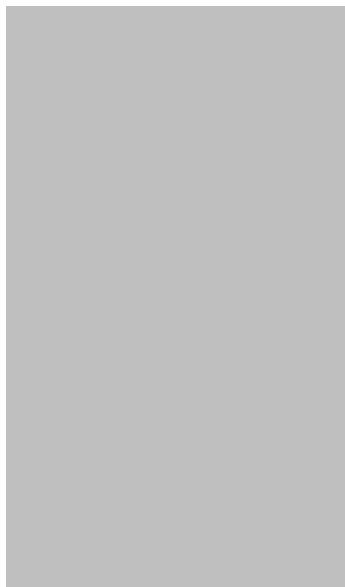
KAZUKI Yasuo
Tightrope Walking
1963
oil on canvas
51.5×31.5cm
JO201200008000
木村美保子氏寄贈



7 素描
香月泰男
綱渡り

制作年不詳
鉛筆・顔料、紙
50.0×30.5cm

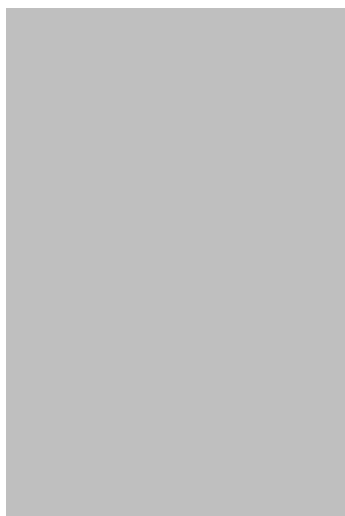
KAZUKI Yasuo
Tightrope Walking
date unknown
pencil and color on paper
50.0×30.5cm
JD201200002000
木村美保子氏寄贈



8 洋画
須田剋太
東大寺落慶

1983年
油彩・コラージュ、画布
89.0×59.0cm

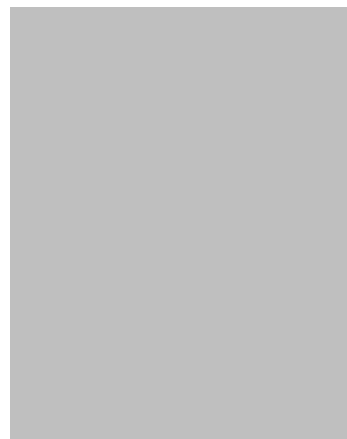
SUDA Kokuta
The Raise of Todaiji Temple
1983
oil and collage on canvas
89.0×59.0cm
JO201200019000
木村美保子氏寄贈



9 洋画
小林孝亘
Stairs

2008年
油彩、画布
145.5×112.0cm

KOBAYASHI Takanobu
Stairs
2008
oil on canvas
145.5×112.0cm
JO201200009000
株式会社カサハラ画廊寄贈



10 洋画
設楽知昭
ノーザンステーション

2001年
油彩、ポリエステルフィルム
58.0×80.0×3.5cm

SHITARA Tomoaki
Northern Station
2001
oil on polyester film
58.0×80.0×3.5cm
JO201200010000
作者寄贈



11 洋画
設楽知昭
レセプション

2001年
油彩、ポリエステルフィルム
70.0×70.0×3.5cm

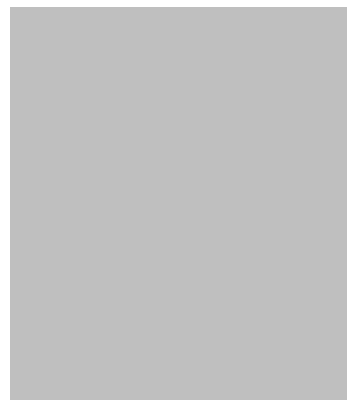
SHITARA Tomoaki
Reception
2001
oil on polyester film
70.0×70.0×3.5cm
JO201200011000
作者寄贈



12 洋画
設楽知昭
ホテルパシフィカ

2001年
油彩、ポリエステルフィルム
80.0×64.0×3.8 cm

SHITARA Tomoaki
Hotel Pacifica
2001
oil on polyester film
80.0×64.0×3.8 cm
JO201200012000
作者寄贈



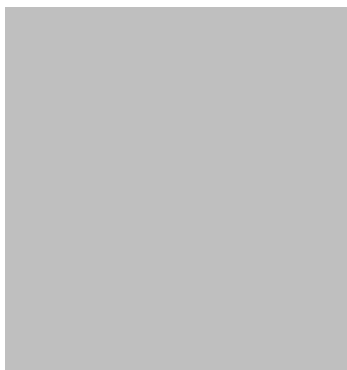
13 洋画

設楽知昭

母子手帳をください

2001年
油彩、ポリエステルフィルム
69.0×64.0×3.5cm

SHITARA Tomoaki
Give me "Boshitecho" Boshitecho is
"Mother-and-Baby notebook"
2001
oil on polyester film
69.0×64.0×3.5cm
JO201200013000
作者寄贈



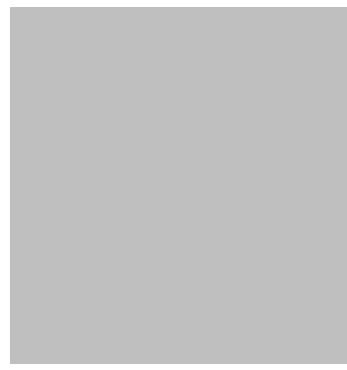
17 洋画

設楽知昭

駆ける

2001年
油彩、ポリエステルフィルム
62.5×60.0×3.5cm

SHITARA Tomoaki
Run away
2001
oil on polyester film
62.5×60.0×3.5cm
JO201200017000
作者寄贈



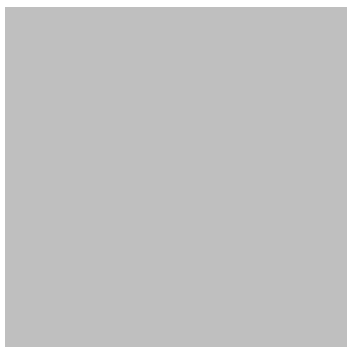
14 洋画

設楽知昭

こんにちはとさようなら

2001年
油彩、ポリエステルフィルム
61.0×66.5×3.5cm

SHITARA Tomoaki
Hello and good-bye
2001
oil on polyester film
61.0×66.5×3.5cm
JO201200014000
作者寄贈



18 洋画

設楽知昭

透明壁画、人工夢

2005年
テンペラ・シリコンラバー、ポリエステル
フィルム
480.0×920.0cm

SHITARA Tomoaki
Transparent Wall Painting, Artificial
Dream
2005
tempera and silicone rubber on polyester
film
480.0×920.0cm
JO201200018000
作者寄贈



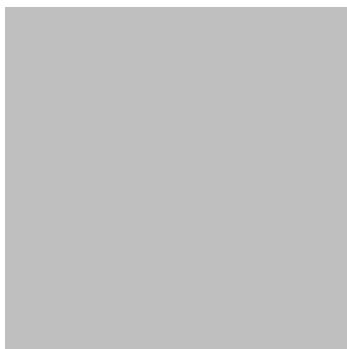
15 洋画

設楽知昭

男、女、子供

2001年
油彩、ポリエステルフィルム
67.0×71.0×3.5cm

SHITARA Tomoaki
Man, Woman and Child
2001
oil on polyester film
67.0×71.0×3.5cm
JO201200015000
作者寄贈



19 素描

平川敏夫

黄山松雨大下図

1982年頃
木炭・赤鉛筆、紙
164.0×337.5cm

HIRAKAWA Toshio
Study for Huangshan in Rain
ca. 1982
charcoal and red pencil on paper
164.0×337.5cm
JD201200003000
平川ヤエ氏寄贈



20 素描

平川敏夫

黄山松雨小下図

1982年頃
木炭、紙
36.5×75.5cm

HIRAKAWA Toshio
Study for Huangshan in Rain
ca. 1982
charcoal on paper
36.5×75.5cm
JD201200004000
平川ヤエ氏寄贈



16 洋画

設楽知昭

バーン

2001年
油彩、ポリエステルフィルム
63.0×70.0×3.5cm

SHITARA Tomoaki
Baaan
2001
oil on polyester film
63.0×70.0×3.5c
JO201200016000
作者寄贈



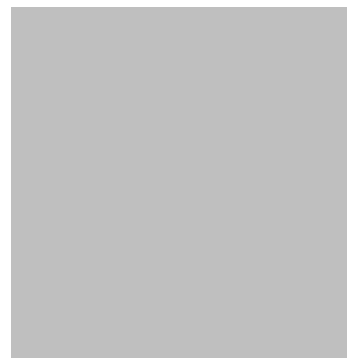
21 版画

倉地比沙支

secret life '94-3

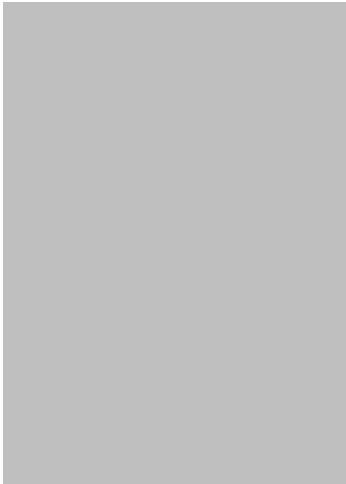
1994年
リトエッチング・油性インク、三桎紙
84.5×84.5cm

KURACHI Hisashi
secret life '94-3
1994
lithoetching and oil ink on Mitsumata
Paper
84.5×84.5cm
JP201200006000
作者寄贈



22 版画
倉地比沙支
hiding ballet '97-2
1997年
リトエッチング・油性インク、三桠紙
128×84.5cm

KURACHI Hisashi
hiding ballet '97-2
1997
lithoetching and oil ink on Mitsumata
Paper
128×84.5cm
JP201200007000
作者寄贈



23 版画
倉地比沙支
foot(walking)
2004年
印画紙に焼付、アクリルマウント
91.2×90.0cm

KURACHI Hisashi
foot(walking)
2004
printed on photographic paper mounted
on acrylic board
91.2×90.0cm
JP201200008000
作者寄贈



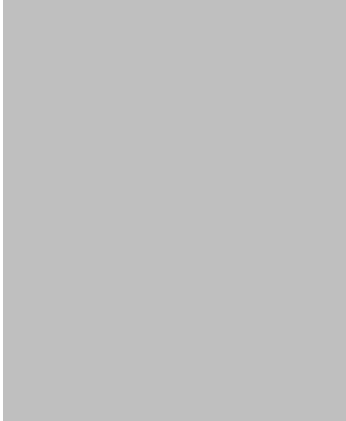
24 版画
倉地比沙支
mig
2008年
印画紙に焼付、アクリルマウント
70.0×100.0cm

KURACHI Hisashi
mig
2008
printed on photographic paper mounted
on acrylic board
70.0×100.0cm
JP201200009000
作者寄贈



25 版画
倉地比沙支
positive
2004年
印画紙に焼付、アクリルマウント
72.0×58.4cm

KURACHI Hisashi
positive
2004
printed on photographic paper mounted
on acrylic board
72.0×58.4cm
JP201200010000
井上秀毅氏寄贈



26 版画
山田純嗣
(08-3) SURFACE
2008年
インタリオ・オン・フォト（エッチング、
ゼラチン・シルバー・プリント）・パール
パウダー・エッチングインク・樹脂、ポリ
コートパネルに印画紙
130.0×194.0cm

YAMADA Junji
(08-3) SURFACE
2008
ingtaglio on photo (etching and gelatin
silver print), pearl powder, etching ink
and resin on photographic paper mounted
on poli-coat panel
130.0×194.0cm
JP201200011000
作者寄贈



寄託

新規寄託品

2012年度には新たに 9 件38点の寄託を受けた。

寄託品の状況（2013年 3 月末現在）

分 類	点 数
日 本 画	45
洋 画	116
立 体	72
版 画	122
水彩・素描	86
写 真	92
資 料	14
計	41件 547点

美術品等取得基金について

愛知県美術館と愛知県陶磁資料館が、芸術的価値の高い美術品等を機動的、継続的に収集するための財源として1988年 4 月に設置された。基金には、県からの積立金のほかに、美術品等の収集を支援する民間からの寄附金が含まれている。

運用状況（2013年 3 月末現在）

基金総額		117億1,541万8,805円
運用内訳	美術品	102億4,045万1,020円 (1,420点) *
	現 金	14億7,496万7,785円

* 内、美術館所蔵作品は749点

2 保存

2012年度保存事業実施状況

前年度に引き続き木村定三コレクションの調査、保存処置を行ったが、その他の所蔵作品については、新収蔵品や貸出作品を優先して行った。

○所蔵作品の状態調査と保存処置等

保存処置を外部委託で行ったものは、下記のとおり。

2012年度 外部委託による保存処置作品一覧

No.	作家名 制作年（時代）	作品名 （技法材料）	種別	処置前の状態	処置内容	処置者
1	作者不詳 鎌倉～南北朝時代(14世紀前半)	不動明王像胎内納入仏画断片 (絹本着色)	日本画	断片化、肌裏の剥離、折れ、 絹の粉状化、絵具の粉状化	肌裏の再接着、裏打ち、 補絹、マット装	岡墨光堂
2	阿闍梨春海 明暦4(1658)年(江戸時代)	不動明王像胎内納入再興由来書 (紙本墨書)	書跡	汚損、虫損、破損	クリーニング、破損箇所の 接続	岡墨光堂
3	伝玄証 鎌倉時代 13世紀後半	如意輪観音像 (絹本金泥)	日本画	破れ、折れ、磨耗、汚損	本格修理 (打ち替え)	修美 2ヵ年事業
4	作者不詳 室町時代14～15世紀	刺繍種子胎蔵界曼荼羅図 (絹本着色繡)	日本画	繡部分の粉状化、折れ、破れ、 汚損	本格修理 (打ち替え)	松鶴堂 2ヵ年事業
5	岡田徹 1972年	白日夢 (油彩、画布)	洋画	剥離、剥落	クリーニング、剥落留、 充填、補彩	黒川結衣 (館内処置)
6	岡田徹 1953年	尻尾を出した機械 (油彩、画布)	洋画	カンバスの変形、剥離、剥落、 汚損	ルースライニング、スト リップライニング、剥落留、 充填、補彩	黒川結衣 (館内処置)

○新規額・保存箱製作作品一覧

2012年度 新規額・保存箱製作作品一覧

No.	作家名	作品名（現在の登録名）	種別	製作物	製作者
1	作者不詳 高麗前期から中期（11世紀前後）	高麗鉄地金銀象嵌鏡架	工芸	保管箱及び展示支持台	元興寺文化財研究所
2	作者不詳 制作年検討中	十卷抄断簡 摩利支天像 (紙本着色)	日本画	新規額およびマット装	ACS佐藤
3	作者不詳 制作年検討中	十卷抄断簡 鬼子母神 (紙本着色)	日本画	新規額およびマット装	ACS佐藤
4	作者不詳 19世紀	チベット仏画 (テンペラ)	絵画	マット装	ACS佐藤・黒川結衣
5	中西利雄 1939年頃	婦人像 (水彩・グアッシュ、紙)	水彩素描	マット、額の改造、 アクリルの交換	ACS佐藤
6	香月泰男 制作年不詳	網渡り (鉛筆・顔料、紙)	水彩素描	マット、額の改造	ACS佐藤

○保存環境の整備等

引き続き生物被害対策のために生物調査を行った。友の会サポート事業の協力を得て、作品環境の清浄化に関する諸処の作業を行った。

3 管理

所蔵作品の管理状況

作品の管理

2008年度からの4ヵ年計画を基に、備品台帳と所蔵作品リスト、作品カードとの照合整理を行い、現品確認作業を実施した。
木村定三コレクションの分野別図録及び研究紀要の作成等を行い、同コレクションの公開に努めた。

作品の貸出

国内外の美術館等からの所蔵作品の貸出要請に対して、作品の保存状態が良好で、コレクション展の展示計画に支障がないものについて、
展覧会の内容やその意義を勘案し、展示施設・設備の状況を確認した上で、所蔵作品貸出要領に則し貸出を行った。

また、このような館外への貸出も所蔵作品公開の機会と位置付け、各会場での入場者状況を調査した。

貸出の概要（貸出期間 2012年4月1日～2013年3月31日）

貸出先		件数	点数	総入場者数（うち小中生）※
国内	美術館・博物館	37件	219点	1,420,950人（46,904人）
	県関係機関	7件	87点	
国外	美術館・博物館	2件	3点	
計		46件	309点	

※データは2012年5月27日現在。一部、年度をまたいで開催した展覧会を含むが、昨年度報告分は含まない。

また、入場者区分・集計範囲は貸出先によって異なるため、小中生数については報告があったものの合計。

1 コレクション展

展示の概要

コレクション展では、20世紀以降の美術の展開やその特質に触れることができる展示を提供すると同時に、来館者の関心の多様化を考慮して、各期に、企画展と関連する時代や作家、あるいは一つのまとまりのある美術動向や作品群に焦点をあてた特集展示を行っている。2012年度は年間を5期に分けてコレクション展を開催。各期に作品を入れ替え、幅広い作品の紹介に努めた。

2012年度は、日本の自然をテーマにして愛知県陶磁資料館のコレクションと併せて構成した全館コレクション展「美しき日本の自然」展の開催により、先人たちの自然への視線を共有し、自然を見つめ直す機会とした。

また、フェルナン・レジェやポール・ゴーギャン、梅原龍三郎といった新収蔵作品を、テーマをもって特集展示を行って当館のコレクションの中で位置付けながら公開したほか、「一分と一億光年—1990年代以降の日本のアート」と題して現代美術を特集して展示するなど、当館の多様なコレクションを紹介した。

2012年度 コレクション展の開催状況と入場者数

		入場者数	1日平均
第1期	2012年4月13日－6月24日 「初公開 フェルナン・レジェーレジェと両大戦間のヨーロッパ美術」 「20世紀美術」 「特集 ヴォルス」 「木村定三コレクション 春から初夏へ」	21,448人	(63日間) 341人
	内 記	企画展「魔術／美術 幻視の技術と内なる異界」展共通入場者数	20,872人
		コレクション展のみの入場者数	576人
第2期	2012年7月13日－9月9日 「近代洋画の巨匠 梅原龍三郎と安井曾太郎（併催特集：2011年度新収蔵作品展）」 「20世紀美術」 「私は鳥 鳥に憑かれた芸術家たち」 「木村定三コレクション 戦後の銅版画 浜田知明を中心に」	15,342人	(51日間) 301人
	内 記	企画展「マックス・エルンスト－フィギュア×スケープ」展共通入場者数	14,204人
		コレクション展のみの入場者数	1,138人
第3期	2012年9月28日－11月25日 「美しき日本の自然」「ポール・ゴーギャンと象徴主義」 「20世紀美術」 「一分と一億光年 1990年代以降の日本のアート」 「朝日遺跡出土品 重要文化財指定記念『弥生時代の造形』」 「木村定三コレクション 文房具」	7,807人	(51日間) 153人
	内 記	「美しき日本の自然」（展示室1－3）と展示室5－8のコレクション展入場者の区別なし	7,807人
			153人
第4期	2012年12月21日－2013年2月11日 「夢と現実のはざままで 20世紀はじめのドイツ美術」 「青春のバリ 日本近代洋画が育った場所」 「木村定三コレクション 熊谷守一」	65,389人	(41日間) 1,595人
	内 記	企画展「生誕150年記念 クリムト 黄金の騎士をめぐる物語」展共通入場者数	64,161人
		コレクション展のみの入場者数	1,228人
第5期	2013年3月1日－4月14日 「20世紀美術」「特集：追悼展示 東松照明」 「受け継がれる木村定三コレクション 修復作品公開」 「木村定三コレクション 不動明王と密教法具」	57,619人	(39日間) 1,478人
	内 記	企画展「円山応挙展－江戸時代絵画 真の実力者－」共通入場者数	57,029人
		コレクション展のみの入場者数	590人
2012年度 合 計		167,605人	(245日間) 684人

コレクション展 展示作品リスト

■2012年度第1期コレクション展出品リスト〔2012年4月13日(金)－6月24日(日)〕

展示室4では、前年度に購入したフェルナン・レジェの作品を、当館が所蔵する両大戦間期のヨーロッパ美術の流れの中で公開した。続く展示室5では、当館の主要なコレクションである20世紀美術を紹介した。展示室7ではヴォルスの版画作品をまとめて展示し、展示室8では「春から初夏へ」と題して木村コレクションの中からこの季節を題材にした作品を展覧した。

ラウンジ		
彫刻	三沢厚彦 Animal 2008-01	2008年
前室1		
彫刻	オシップ・ザツキン チェロのトルソ	1956-7年
展示室4 初公開 フェルナン・レジェ ーレジェと両大戦間のヨーロッパ美術ー		
油彩	フェルナン・レジェ 平賀洋行 新建築 近代美術の発展に貢献した人々の肖像から現代美術の発展に貢献した人々の肖像まで 緑の背景のコンポジション（葉のあるコンポジション）	1931年
油彩	フランティシェク・クプカ 灰色と金色の展開	1919年
油彩	ジャック・ヴィヨン 存在	1920年
油彩	ライオネル・ファイニンガー 夕暮れの海 I	1927年
油彩	パウル・クレー 回心した女の墮落	1939年
油彩	ベン・ニコルソン 1933（スペインの絵葉書のあるコラージュ）	1933年
コラージュ（油彩）	クルト・シュヴィッターズ メルツ絵画305, ロボジッツ	1921年
コラージュ（油彩）	クルト・シュヴィッターズ メルツ絵画52, 美容	1920年
水彩	ジャーコモ・バッラ 太陽の前を通過する水星（習作）	1914年
水彩	フランシス・ピカビア 糸巻き	1921-22年
版画	ラースロー・モホリ＝ナジ コンストラクション『ケストナー版画集6』より	1922-23年
油彩	ジョアン・ミロ 絵画	1925年
彫刻	ハンス（ジャン）・アルプ 森	1917年頃
彫刻	ハンス（ジャン）・アルプ 星座	1932年
版画	ヴァシリー・カンディンスキー たのしき飛翔『パウハウス・マイスター版画作品集』より	1923年
版画	ラースロー・モホリ＝ナジ 無題『パウハウス・マイスター版画作品集』より	1923年
版画	ライオネル・ファイニンガー 無題『パウハウス・マイスター版画作品集』より	1923年

版画	カジミール・マレーヴィチ 飛行機と汽車によるひとりの人間の同時的な死 第1集『爆』より	1913年
版画	カジミール・マレーヴィチ 建設者の完全な肖像『子豚』より	1913年
版画	フェルナン・レジェ サーカス	1950年
版画	フェルナン・レジェ 天使N.D.によって撮影された世界の終り	1919年
彫刻	アレクサンダー・アーチベンコ 歩く女	1912年

展示室5 20世紀美術

油彩	パブロ・ピカソ （株）東海銀行寄贈 青い肩かけの女	1902年
油彩	エドゥワール・ヴェイヤール 窓辺の女	1898年
油彩	アルベール・マルケ ノートルダムの後陣	1902年
油彩	ラウル・デュフィ サンタドレスの浜辺	1906年
油彩	ピエール・ボナール 子供と猫	1906年頃
油彩	ピエール・ボナール にぎやかな風景	1913年頃
油彩	アンリ・マティス 中部電力（株）より寄贈 待つ	1921-22年
油彩	エミール・ノルデ 静物L（アマゾン、能面等）	1915年
油彩	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー グラスのある静物	1912年
油彩	ジャン・デュビュッフエ 二人の脱走兵	1953年
油彩	ニコラ・ド・スタール コンポジション	1948年
油彩	アントニ・タピエス コンポジション	1977年
油彩	斎藤義重 作品	1962年
油彩	白髪一雄 作品	1963年
油彩	ジョーゼフ・アルバース 正方形顔	1962年
油彩	山田正亮 Work No.B 182	1958年

油彩	オノサト トシノブ 三つの黒	1958年
油彩	菅井汲 ナショナル・ルート No.11	1964年
油彩	元永定正 作品	1961年
油彩	サム・フランシス 消失に向かう地点の青	1958年
油彩	フランク・ステラ リヴァー・オヴ・ボンズ IV	1969年
油彩	モーリス・ルイス デルタ・ミュー	1960-61年
彫刻	ジョージ・シーガル ロバート&エセル・スカルの肖像	1965年
彫刻	レイズ・ニーヴェルソン 漂う天界	1959-66年
油彩	加納光於 流動のセミオティク	1982年
油彩	松本陽子 光は荒野の中に拡散している	1993年
油彩	根岸芳郎 1997-11-18	1997年
油彩	堀浩哉 水の肌へ-84・2	1984年
油彩	堀浩哉 風の音へ-84・2	1984年
油彩	辰野登恵子 Untitled 95-1	1995年
彫刻	細井 篤 ボーダーズ・ゲーム	2004年

展示室6 APMoA Project, ARCH vol.1 吉本直子
「Reflection Space ― 鼓動の庭」

インスタレーション	吉本直子 鼓動の庭	2012年
-----------	--------------	-------

展示室7 特集 ヴォルス

版画	ヴォルス 街 横位置	1962(1949)年
版画	ヴォルス 木のごとく	1962(1948-1949)年
版画	ヴォルス 二重の町	1962年
版画	ヴォルス 暗い町	1962(1948-1949)年

版画	ヴォルス 小さなしみ	1962(1948-1949)年
版画	ヴォルス しみ、左下にギザギザの線	1962年
版画	ヴォルス 三つの小さな漂う形	1962(1948-1949)年
版画	ヴォルス 心臓	1962(1948-1949)年
版画	ヴォルス 裸の花	1962(1948-1949)年
版画	ヴォルス ジャガイモ顔	1962(1948-1949)年
版画	ヴォルス 裸体	1962(1948-1949)年
版画	ヴォルス 耳	1962(1948-1949)年
版画	ヴォルス 左下に毛虫の形	1962(1948-1949)年
版画	ヴォルス 大きな毛虫	1962(1948-1949)年
版画	ヴォルス 船	1962(1948-1949)年
版画	ヴォルス 町の中心	1962(1948-1949)年
版画	ヴォルス 貫かれたもの	1962(1948-1949)年
版画	ヴォルス プラズマ	1962(1948-1949)年
版画	ヴォルス 毛の房	1962(1948-1949)年
版画	ヴォルス なぐり書きの対角線	1962(1948-1949)年
版画	ヴォルス 花飾り	1962(1948-1949)年
版画	ヴォルス 木の町	1962(1948-1949)年
版画	ヴォルス 人の住む岸辺	1962(1948-1949)年
版画	ヴォルス 地誌	1962(1948-1949)年
版画	ヴォルス 顔	1962(1948-1949)年
版画	ヴォルス カブト虫の果実	1962(1948-1949)年
版画	ヴォルス あざみ	1962(1948-1949)年
版画	ヴォルス 塊茎植物	1962(1948-1949)年
版画	ヴォルス 葉の落ちた木	1962(1948-1949)年

版画	ヴォルス 大きな星のしみ	1962(1948-1949)年
版画	ヴォルス 大きなしみⅠ	1962(1948-1949)年
版画	ヴォルス 大きなしみⅡ	1962(1948-1949)年
版画	ヴォルス 三つのヴィネット	1962(1948-1949)年

展示室 8 木村定三コレクション 春から初夏へ

版画	井上公三 花 4	木村定三コレクション 1972年
水彩	尾崎良二 菊池川（熊本）	木村定三コレクション 1992年
水彩	尾崎良二 菜の花 ブランコ	木村定三コレクション 1990年
水彩	尾崎良二 春の海	木村定三コレクション 1976年
水彩	尾崎良二 女学生 自転車	木村定三コレクション 1979年

日本画	竹内栖鳳 梅花	木村定三コレクション 制作年不詳
-----	------------	---------------------

日本画	竹内栖鳳 春暖	木村定三コレクション 1940年
-----	------------	---------------------

日本画	土田麦僊 春昼	木村定三コレクション 1926-1930年頃
-----	------------	---------------------------

日本画	登内微笑 桜花	木村定三コレクション 制作年不詳
-----	------------	---------------------

日本画	登内微笑 杜若	木村定三コレクション 1940年頃
-----	------------	----------------------

日本画	登内微笑 菖蒲	木村定三コレクション 制作年不詳
-----	------------	---------------------

日本画	平福百穂 藤花小禽	木村定三コレクション 1924年
-----	--------------	---------------------

日本画	小松均 田植ごろ	木村定三コレクション 制作年不詳
-----	-------------	---------------------

日本画	小松均 紅陽花	木村定三コレクション 制作年不詳
-----	------------	---------------------

日本画	西村五雲 風薫る	木村定三コレクション 1938年
-----	-------------	---------------------

日本画	橋本明治 芙蓉	木村定三コレクション 制作年不詳
-----	------------	---------------------

版画	南桂子 実のある木と鳥	木村定三コレクション 1968年
----	----------------	---------------------

版画	南桂子 春	木村定三コレクション 1964年
----	----------	---------------------

油彩画	小林研三 春の丘	木村定三コレクション 1973年
-----	-------------	---------------------

油彩画	小林研三 春の夕	木村定三コレクション 1970年
-----	-------------	---------------------

版画	小田まゆみ 宝船 花の女神	木村定三コレクション 1976年
----	------------------	---------------------

版画	小田まゆみ 宝船 春の女神	木村定三コレクション 1976年
----	------------------	---------------------

油彩画	横井礼以 梅日和	木村定三コレクション 1954年
-----	-------------	---------------------

油彩画	横井礼以 パンジー	木村定三コレクション 制作年不詳
-----	--------------	---------------------

資料	小松均書簡	木村定三コレクション
----	-------	------------

資料	橋本明治書簡	木村定三コレクション
----	--------	------------

資料	横井礼以書簡	木村定三コレクション
----	--------	------------

資料	登内微笑書簡	木村定三コレクション
----	--------	------------

資料	小林研三書簡	木村定三コレクション
----	--------	------------

資料	尾崎良二書簡	木村定三コレクション
----	--------	------------

前室 2

インスタレーション	吉本直子 沈黙のことば	APMoA Project, ARCH 2012年
-----------	----------------	------------------------------

彫刻	工藤哲巳 無限の糸の中のマルセル・デュシャン	1977年
----	---------------------------	-------

彫刻	荒木高子 砂の聖書	1983年
----	--------------	-------

彫刻	石黒鏘二 フク	作者寄贈 1968年
----	------------	---------------

彫刻	アレクサンダー・コールダー ゴースト	寄託作品 1976年
----	-----------------------	---------------

10階ロビー

立体	吉本直子 白の棺	APMoA Project, ARCH 2006年
----	-------------	------------------------------

立体	吉本直子 白の棺	APMoA Project, ARCH 2005年
----	-------------	------------------------------

立体	吉本直子 地の残像	APMoA Project, ARCH 2011年
----	--------------	------------------------------

彫刻	森万里子 Mirage (Image D)	寄託作品 1997-98年
----	--------------------------	------------------

10階屋上庭園（レストラン脇）

彫刻	アルナルド・ポモドーロ 財団法人日本宝くじ協会寄贈 飛躍の瞬間	1984年
----	------------------------------------	-------

屋外展示スペースⅠ（12階屋上）

彫刻	コルネリス・ジットマン カリブの女	1983年
----	----------------------	-------

彫刻	加藤昭男 大地	1986年
彫刻	小田 襄 円柱の構造	1988年

屋外展示スペースⅡ（10階）

彫刻	今井瑾郎 大地	1992年
----	------------	-------

地下2階フォーラム

彫刻	加藤昭男 ツタンカーメンのえんどう豆	1996年
----	-----------------------	-------

2階フォーラム

彫刻	エミール＝アントワーン・ブールデル 自由	1916年
----	-------------------------	-------

12階アールスペースロビー

彫刻	舟越保武 花を持つ少女	1966年
----	----------------	-------

■2012年度第2期コレクション展出品リスト〔2012年7月13日(金)－9月9日(日)〕

展示室4では、前年度に新たに収蔵した梅原龍三郎の作品を、安井曾太郎の作品と併せて展示した。また、展示室7では同時開催の企画展と関連し、鳥をモチーフにした作品の展示を行った。さらに展示室8では、浜田知明を中心とした戦後の銅版画を展示し、特色ある木村コレクションの一側面を紹介した。

ラウンジ

彫刻	庄司達 黄色い布による空間(糸の柱)'98	1998年
----	--------------------------	-------

前室1

油彩	斎藤吾朗 屋根の上の記念撮影	1973年
----	-------------------	-------

油彩	斎藤吾朗 描けば描くほど	平成23年度 新収蔵作品 味岡源太郎氏寄贈	2002年
----	-----------------	-----------------------	-------

展示室4 近代洋画の巨匠 梅原龍三郎と安井曾太郎（併催特集：平成23年度新収蔵作品）

素描	安井曾太郎 裸婦	1905年
----	-------------	-------

素描	安井曾太郎 風景	1905年
----	-------------	-------

素描	安井曾太郎 静物	1906年
----	-------------	-------

油彩	梅原龍三郎 横臥裸婦	1908年
----	---------------	-------

油彩	梅原龍三郎 若き羅馬人	1909年
----	----------------	-------

油彩	安井曾太郎 パンと肉	1910年
----	---------------	-------

油彩	安井曾太郎 婦人像	1912年頃
----	--------------	--------

油彩	梅原龍三郎 北京紫禁城	平成23年度 新収蔵作品	1939年
----	----------------	--------------	-------

油彩	安井曾太郎 承德喇嘛廟	1938年
----	----------------	-------

参考資料	梅原龍三郎 パレット	個人蔵（愛知） 使用年不詳
------	---------------	------------------

参考資料	安井曾太郎 パレット	個人蔵（愛知） 使用年不詳
------	---------------	------------------

油彩	真島建三 原始言語	平成23年度 新収蔵作品	1969年
----	--------------	--------------	-------

油彩	安藤幹衛 逃走	平成23年度 新収蔵作品 安藤洋氏寄贈	1958年
----	------------	---------------------	-------

油彩	安藤幹衛 白紙	平成23年度 新収蔵作品 安藤洋氏寄贈	1959年
----	------------	---------------------	-------

油彩	松本英一郎 さくら・うし	平成23年度 新収蔵作品 松本泰子氏寄贈	93-9 1993年
----	-----------------	----------------------	---------------

油彩	麻生三郎 オヤコ	平成23年度 新収蔵作品 麻生美智子氏寄贈	1960年
----	-------------	-----------------------	-------

素描	麻生三郎 丘の家	平成23年度 新収蔵作品 麻生美智子氏寄贈	1951年
----	-------------	-----------------------	-------

素描	麻生三郎 月島	平成23年度 新収蔵作品 麻生美智子氏寄贈	1959年
----	------------	-----------------------	-------

素描	麻生三郎 寝ている男	平成23年度 新収蔵作品 麻生美智子氏寄贈	1963年
----	---------------	-----------------------	-------

素描	麻生三郎 男の像	平成23年度 新収蔵作品 麻生美智子氏寄贈	1963年
----	-------------	-----------------------	-------

版画	加納光於 PENINSULAR 半島状の！ No.23	平成23年度 新収蔵作品 服部眞穂氏寄贈	1967年
----	--------------------------------	----------------------	-------

油彩	加納光於 たてがみ 北東風 - IV	平成23年度 新収蔵作品 服部眞穂氏寄贈	1985年
----	-----------------------	----------------------	-------

展示室5 20世紀美術

油彩	パブロ・ピカソ 青い肩かけの女	(株) 東海銀行寄贈	1902年
----	--------------------	------------	-------

油彩	藤田嗣治 青衣の少女	トヨタ自動車株式会社からの寄附金により購入	1925年
----	---------------	-----------------------	-------

油彩	アルベール・マルケ ノートルダムの後陣	1902年
----	------------------------	-------

油彩	ラウル・デュフィ サンタドレスの浜辺	1906年
----	-----------------------	-------

油彩	ピエール・ボナール 子供と猫	1906年頃
----	-------------------	--------

油彩	ピエール・ボナール にぎやかな風景	1913年頃
----	----------------------	--------

油彩	アンリ・マティス 待つ	中部電力株式会社寄贈	1921-22年
----	----------------	------------	----------

油彩	エミール・ノルデ 静物Ⅰ（アマゾン、能面等）	1915年
----	---------------------------	-------

油彩	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー グラスのある静物	1912年
----	--------------------------------	-------

油彩	アメデオ・モディリアーニ カリアティード	1911-13年
----	-------------------------	----------

油彩	ライオネル・ファイニンガー 夕暮れの海Ⅰ	1927年
----	-------------------------	-------

油彩	ベン・ニコルソン 1933（スペインの絵葉書のあるコラージュ）	1933年
----	------------------------------------	-------

彫刻	オーギュスト・ロダン 歩く人	1900年
----	-------------------	-------

油彩	ジョルジ・パパヅフ 二人	1928年頃
----	-----------------	--------

油彩	ジョアン・ミロ 絵画	1925年
----	---------------	-------

彫刻	ハンス（ジャン）・アルプ 森	1917年頃
----	-------------------	--------

油彩	パウル・クレー 女の館	1921年
----	----------------	-------

油彩	フランティシェク・クプカ 灰色と金色の展開	1919年
----	--------------------------	-------

油彩	ジャック・ヴィヨン 存在	1920年
----	-----------------	-------

油彩	ジョージア・オキーフ 抽象 第6番	1928年
----	----------------------	-------

油彩	フェルナン・レジェ 緑の背景のコンポジション（葉のあるコンポジション）	平成23年度 新収蔵作品 山口 祐次氏寄贈 松本泰子氏購入	1931年
----	--	-------------------------------	-------

水彩	フランシス・ピカビア 糸巻き	1921-22年
----	-------------------	----------

版画	ラースロー・モホリ＝ナジ コンストラクション『ケストナー版画集6』より	1922-23年
彫刻	アレクサンダー・コールダー 片膝ついて	1944(1968)年
油彩	アド・ラインハート No.114	1950年
油彩	フランク・ステラ リヴァー・オヴ・ボンズ IV	1969年
油彩	モーリス・ルイス デルタ・ミュー	1960-61年
油彩	桑山忠明 茶白青	1968年
彫刻	ルイズ・ニーヴェルソン 漂う天界	1959-66年
彫刻	ジョージ・シーガル ロバート&エセル・スカルの肖像	1965年
彫刻	ジム・ダイン 芝刈機	1962年
彫刻	イヴ・クライン アルマン（肖像レリーフ）	1962年
油彩	荒川修作 Blank Stations	1981-82年
素描	クリスト 包まれた旧ドイツ帝国国会議事堂、ベルリンのためのプロジェクト	1986年

展示室6 APMoA Project, ARCH vol. 2 荒木由香里 「何ものでもある何でもないもの」

立体	荒木由香里 White	2012年
立体	荒木由香里 Blue	2012年
立体	荒木由香里 White	2012年

展示室7 私は鳥 鳥に憑かれた芸術家たち

彫刻	キキ・スミス セイレン	寄託作品 2002年
油彩	小林研三 『小さい旅』より 白い風景のポコ	木村定三コレクション 1969年
書	熊谷守一 からす	木村定三コレクション 1950年
書	熊谷守一 すゝめ	木村定三コレクション 1950年
日本画	熊谷守一 鳥	木村定三コレクション 1944年
日本画	熊谷守一 黒つぐみ	木村定三コレクション 制作年不詳
素描	柳原義達 風の中の鴉	1982年
彫刻	柳原義達 風の中の鴉	1982年

版画	南桂子 巢	木村定三コレクション 1964年
版画	南桂子 花のある木	木村定三コレクション 1959年
版画	南桂子 実のある木と鳥	木村定三コレクション 1968年
版画	南桂子 マロニエと少女	木村定三コレクション 1975年
版画	南桂子 海辺の少女	木村定三コレクション 1969年
版画	南桂子 少女と風せん	木村定三コレクション 1962年
版画	南桂子 山	木村定三コレクション 1961年
版画	南桂子 網とかもめ	木村定三コレクション 1957年
彫刻	後藤白童 七面鳥	1961年

版画	長谷川潔 小鳥と落葉	1959年
----	---------------	-------

版画	長谷川潔 飼い馴らされた小鳥（西洋将棋など）	1962年
----	---------------------------	-------

版画	長谷川潔 本の上の小鳥 静物画	1967年
----	--------------------	-------

版画	長谷川潔 小鳥と二つの枯葉	1964年
----	------------------	-------

彫刻	工藤哲巳 無限の糸の中のマルセル・デュシャン	1977年
----	---------------------------	-------

版画	二見彰一 小さい無言劇	木村定三コレクション 1976年
----	----------------	---------------------

版画	二見彰一 シエナの塔	木村定三コレクション 1976年
----	---------------	---------------------

版画	二見彰一 旅の夜に	木村定三コレクション 1976年
----	--------------	---------------------

素描	ロバート・ラウシェンバーク コース	1958年
----	----------------------	-------

展示室8 木村定三コレクション 戦後の銅版画 浜田知明を中心に

版画	浜口陽三 とうがらしのある静物	木村定三コレクション 1955年
----	--------------------	---------------------

版画	浜田知明 飛翔	木村定三コレクション 1958年
----	------------	---------------------

版画	浜田知明 噂	木村定三コレクション 1961年
----	-----------	---------------------

版画	浜田知明 風景	木村定三コレクション 1967年
----	------------	---------------------

版画	浜田知明 群盲	木村定三コレクション 1960年
----	------------	---------------------

版画	浜田知明 風化する街（A）	木村定三コレクション 1977年
----	------------------	---------------------

版画	浜田知明 怯える人々	木村定三コレクション 1985年
----	---------------	---------------------

版画	浜田知明 いらいら（B）	木村定三コレクション 1975年
----	-----------------	---------------------

版画	浜田知明 いらいら（A）	木村定三コレクション 1974年
----	-----------------	---------------------

版画	浜田知明 初年兵哀歌（銃架のかげ）	木村定三コレクション 1951年
----	----------------------	---------------------

版画	駒井哲郎 食卓 II	木村定三コレクション 1959年
----	---------------	---------------------

版画	駒井哲郎 森にある池	木村定三コレクション 1958年
----	---------------	---------------------

版画	駒井哲郎 時間の迷路	木村定三コレクション 1952年
----	---------------	---------------------

版画	木村茂 湖水	木村定三コレクション 1966年
----	-----------	---------------------

版画	木村茂 馴木のある風景 B	木村定三コレクション 1964年
----	------------------	---------------------

版画	二見彰一 青い椅子	木村定三コレクション 1975年
----	--------------	---------------------

版画	二見彰一 とぎれたフーガ	木村定三コレクション 1972年
----	-----------------	---------------------

版画	細田政義 スウェーデンの花瓶	木村定三コレクション 1962年
----	-------------------	---------------------

版画	斉藤カオル うつむき	木村定三コレクション 1976年
----	---------------	---------------------

版画	斉藤カオル 鉦三つ	木村定三コレクション 1975年
----	--------------	---------------------

版画	斉藤カオル かげと帽子	木村定三コレクション 1976年
----	----------------	---------------------

前室2

立体	荒木由香里 White	APMoA Project, ARCH 2011年
----	----------------	------------------------------

立体	荒木由香里 Yellow	APMoA Project, ARCH 2012年
----	-----------------	------------------------------

版画	畦地梅太郎 白い流れ	平成23年度 新収蔵作品 服部眞穂氏寄贈 1962年
----	---------------	-------------------------------

工芸	交趾釉都鳥香合 隅田川焼 江戸時代、19世紀	木村定三コレクション
----	---------------------------	------------

工芸	藍絵花鳥唐草文瓢形徳利 オランダ、18-19世紀	木村定三コレクション
----	-----------------------------	------------

油彩	脇田和 黄いろの鳥	1970年
----	--------------	-------

彫刻	アレクサンダー・コールダー ゴースト	寄託作品 1976年
----	-----------------------	---------------

10階ロビー

立体	荒木由香里 White	APMoA Project, ARCH 2012年
----	----------------	------------------------------

映像	森田浩彰 Clockwise	平成23年度 新収蔵作品 2008年
10階屋上庭園（レストラン脇）		
彫刻	アルナルド・ポモドーロ 飛躍の瞬間	財団法人日本宝くじ協会寄贈 1984年
屋外展示スペースⅠ（12階屋上）		
彫刻	コルネリス・ジットマン カリブの女	1983年

彫刻	加藤昭男 大地	1986年
彫刻	小田 襄 円柱の構造	1988年
屋外展示スペースⅡ（10階）		
彫刻	今井瑾郎 大地	1992年
地下2階フォーラム		

彫刻	加藤昭男 ツタンカーメンのえんどう豆	1996年
2階フォーラム		
彫刻	エミール＝アントワヌ・ブールデル 自由	1916年
12階アートスペースロビー		
彫刻	舟越保武 花を持つ少女	1966年

■2012年度第3期コレクション展出品リスト（2012年9月28日(金)－11月25日(日)）

同時開催の展覧会　美しき日本の自然（所蔵作品による）：

展示室1－3では「美しき日本の自然」と題し、作品に登場する風景や草花、動物といったものが、どのように表現されてきたのかを紹介した。その表現を通して、先人たちが感じていた自然の力や動物への眼差しを共有し、自然やそこに生きる動物との関係を見つめなおす機会とした。

展示室4は、新たに収蔵したポール・ゴーギャンの作品を、19世紀から20世紀初頭のフランス美術の流れの中に位置付けながら公開した。また、「一分と一億光年」という日常的/非日常的な時間や距離というテーマのもとで当館の現代美術作品を展示し、現代の美術動向の一端を示した。展示室7では、愛知県内の朝日遺跡で出土し重要文化財に指定された弥生時代の資料から、美術館として造形的な観点から選定し紹介した。展示室8では、木村コレクションから硯や水滴といった「文房具」を特集して展示した。

展示室1		
第一章　秋草の美学		
日本画	山本梅逸 秋七草図	川崎音三氏寄贈 愛知県陶磁資料館 江戸時代（19世紀）
工芸	京都・寶山 色絵秋草文瓶	井村幸裕氏寄贈 愛知県陶磁資料館 江戸時代中期（18世紀）
日本画	喜田華堂 月に秋野図	木村定三コレクション 江戸時代後期-明治時代（19世紀）
日本画	木村金秋 野菊図	川崎音三氏寄贈 愛知県陶磁資料館 明治時代（19-20世紀）
日本画	与謝蕪村 薄に鹿図	木村定三コレクション 江戸時代中期（18世紀後半）
工芸	亀井半二 染付四君子文二段重	愛知県陶磁資料館 天保14年（1843）
日本画	平福百穂 老松・秋菊	木村定三コレクション 1926-30年頃
工芸	犬山 色絵雲錦手片口鉢	浅井藤雄氏寄贈 愛知県陶磁資料館 江戸時代後期（19世紀）
日本画	山本梅逸 藤花図	川崎音三氏寄贈 愛知県陶磁資料館 嘉永2年（1849）
工芸	美濃 志野果樹文鉢	愛知県陶磁資料館 桃山時代（16世紀）
工芸	美濃 志野茶碗	銘鵬 木村定三コレクション 桃山時代（16世紀末）

工芸	美濃 志野杜若文茶器	木村定三コレクション 桃山時代（16世紀末）
工芸	加藤唐九郎 黄瀬戸緑鉢	愛知県陶磁資料館 1958年
工芸	荒川豊蔵 志野波に千鳥絵鉢	川崎音三氏寄贈 愛知県陶磁資料館 1953年
工芸	肥前・鍋島藩窯 色絵絵草紙文皿	愛知県陶磁資料館 1700-1720年代
日本画	西川祐信 秋籬美人図	木村定三コレクション 江戸時代中期（18世紀前半）
工芸	肥前・有田窯（南川原山） 色絵美人人形置物	愛知県陶磁資料館 1670-1690年代
工芸	有田・柿右衛門様式 色絵菊文壺	愛知県陶磁資料館 江戸時代中期
日本画	山本梅逸 桜図	川崎音三氏寄贈 愛知県陶磁資料館 江戸時代（19世紀）

展示室2

第二章　胸中山水

工芸	湖東 赤絵金彩近江八景図鉢	愛知県陶磁資料館 江戸時代後期（19世紀）
日本画	中林竹洞 梅花書屋図	木村定三コレクション 天保4年（1833）
日本画	青木蒲堂 芳野春色図	木村定三コレクション 江戸時代後期-明治時代（19世紀）

日本画	青木蒲堂 柳林山水図	木村定三コレクション 江戸時代後期-明治時代（19世紀）
工芸	肥前・有田窯 染付山水文大蓋物	愛知県陶磁資料館 1670-1690年代
日本画	愛石 春在流水図	木村定三コレクション 江戸時代後期（18世紀後半-19世紀前半）
日本画	山本梅逸 夏景山水図	木村定三コレクション 嘉永2年（1849）
日本画	中林竹洞 山水図	木村定三コレクション 文政7年（1824）
日本画	愛石 倣沈石田山水図	木村定三コレクション 江戸時代後期（18世紀後半-19世紀前半）
日本画	岡本柳南 嵐山秋景図	木村定三コレクション 制作年不詳
日本画	富岡鉄斎 都三景図	木村定三コレクション 1924年
日本画	富岡鉄斎 溪流に鶺鴒図	木村定三コレクション 炉屏制作：中島菊齋 1920年
日本画	村上華岳 高原長風図	寄託作品 1936年
日本画	浦上玉堂 秋色半分図	木村定三コレクション 国重要文化財指定 文政元年（1818）
日本画	浦上玉堂 山紅に染図	木村定三コレクション 国重要文化財指定 江戸時代（19世紀初期）

第三章　美しき日本の自然

油彩	ジョアン・ミロ 絵画	1925年
油彩	ポール・デルヴォー こだま（あるいは「街路の神秘」）	1943年
油彩	リュシアン・クートー 干潮の帽子	1962年
油彩	ジョルジ・パパゾフ 二人	1928年頃
油彩	フェルナン・レジェ 平版複製 銅版複製 エンボの複製から銅版複製は購入 緑の背景のコンポジション（葉のあるコンポジション）	1931年
油彩	ジャック・ヴィヨン 存在	1920年
油彩	ジャン・デュビュッフエ 二人の脱走兵	1953年
油彩	ニコラ・ド・スタール コンポジション	1948年
油彩	アントニ・タビエス コンポジション	1977年
油彩	斎藤義重 作品	1962年
油彩	瑛九 黄色い花	1957-58年
油彩	オノサトトシノブ 三つの黒	1958年
油彩	フランク・ステラ リヴァー・オヴ・ボンズ IV	1969年
油彩	ジョーゼフ・アルバース 正方形頌	1962年
油彩	モーリス・ルイス デルタ・ミュー	1960-61年
油彩	サム・フランシス 消失に向かう地点の青	1958年
油彩	アド・ラインハート No.114	1950年
彫刻	ルイーズ・ニーヴェルソン 漂う天界	1959-66年

展示室 5 20世紀美術 一分と一億光年 —1990年代以降の日本のアート—

油彩	杉戸洋 The Second Lounge	2002年
写真	任田進一 Clod and Water #001-#005	寄託作品 2002-2003年
油彩	藤城凡子 平成23年度 新収蔵作品 chapter 5 そして月と地球	土崎正彦氏寄贈 2006年
彫刻	藤城凡子 惑星	寄託作品 2005年
映像	森田浩彰 Clockwise	平成23年度 新収蔵作品 2008年
写真	杉本博司 Metropolitan L.A., Los Angeles	寄託作品 1993年

展示室 6 APMoA Project, ARCH vol. 3 西岳拡貴「ROAD OF SEX」

プロジェクト	西岳拡貴 ROAD OF SEX Tokyo >> Aichi	2012年
--------	------------------------------------	-------

展示室 7 朝日遺跡出土品 重要文化財 指定記念公開「弥生時代の造形」

資料	朝日遺跡 愛知県所蔵（愛知県埋蔵文化財調査センター保管） 壺形土器（沈線文系土器）	弥生時代中期
資料	朝日遺跡 愛知県所蔵（愛知県埋蔵文化財調査センター保管） 円窓付土器	弥生時代中期
資料	朝日遺跡 愛知県所蔵（愛知県埋蔵文化財調査センター保管） 円窓付土器	弥生時代中期
資料	朝日遺跡 愛知県所蔵（愛知県埋蔵文化財調査センター保管） 円窓付土器	弥生時代中期
資料	朝日遺跡 愛知県所蔵（愛知県埋蔵文化財調査センター保管） 赤彩土器（台付壺）	弥生時代後期
資料	朝日遺跡 愛知県所蔵（愛知県埋蔵文化財調査センター保管） 赤彩土器（台付長頸壺）	弥生時代後期
資料	朝日遺跡 愛知県所蔵（愛知県埋蔵文化財調査センター保管） 赤彩土器（器台）	弥生時代後期
資料	朝日遺跡 愛知県所蔵（愛知県埋蔵文化財調査センター保管） 赤彩土器（合子）	弥生時代後期
資料	朝日遺跡 愛知県所蔵（愛知県埋蔵文化財調査センター保管） 鳥形土製品	弥生時代中期
資料	朝日遺跡 愛知県所蔵（愛知県埋蔵文化財調査センター保管） 筒形土製品	弥生時代中期
資料	朝日遺跡 愛知県所蔵（愛知県埋蔵文化財調査センター保管） 巴形銅器	弥生時代後期
資料	朝日遺跡 愛知県所蔵（愛知県埋蔵文化財調査センター保管） 破鏡	古墳時代前期
資料	朝日遺跡 愛知県所蔵（愛知県埋蔵文化財調査センター保管） 鹿角製垂飾（腰飾り）	弥生時代
資料	朝日遺跡 愛知県所蔵（愛知県埋蔵文化財調査センター保管） 装飾品	弥生時代
資料	朝日遺跡 愛知県所蔵（愛知県埋蔵文化財調査センター保管） 牙製垂飾（ペンダント）	弥生時代
資料	朝日遺跡 愛知県所蔵（愛知県埋蔵文化財調査センター保管） 簪	弥生時代
資料	朝日遺跡 愛知県所蔵（愛知県埋蔵文化財調査センター保管） 簪	弥生時代
資料	朝日遺跡 愛知県所蔵（愛知県埋蔵文化財調査センター保管） 弭形鹿角製品	弥生時代
資料	朝日遺跡 愛知県所蔵（愛知県埋蔵文化財調査センター保管） ガラス小玉	弥生時代後期
資料	朝日遺跡 愛知県所蔵（愛知県埋蔵文化財調査センター保管） 勾玉・管玉	弥生時代中期

展示室 8 木村定三コレクション 文房具

工芸	作者不詳 白磁円形水滴	木村定三コレクション 韓国・朝鮮時代 16世紀
工芸	作者不詳 月兎竹文硯	木村定三コレクション 韓国・朝鮮時代 15から19世紀
工芸	作者不詳 虎形水滴	木村定三コレクション 韓国・朝鮮時代 15から19世紀
工芸	作者不詳 瓜臈硯（白磁瓜形硯）	木村定三コレクション 韓国・朝鮮時代 18から19世紀
工芸	作者不詳 白磁亀形水滴	木村定三コレクション 韓国・朝鮮時代 18から19世紀
工芸	作者不詳 葡萄・栗鼠硯	木村定三コレクション 韓国・朝鮮時代後期 19世紀
工芸	作者不詳 蓮蛙硯	木村定三コレクション 韓国・朝鮮時代後期 19世紀
工芸	作者不詳 白磁柿形水滴	木村定三コレクション 韓国・朝鮮時代後期 19世紀
工芸	作者不詳 瑠璃地鯉形水滴	木村定三コレクション 韓国・朝鮮時代後期 19世紀
工芸	作者不詳 白磁鯉形水滴	木村定三コレクション 韓国・朝鮮時代後期 19世紀
工芸	作者不詳 瑠璃地へテ形水滴	木村定三コレクション 韓国・朝鮮時代後期 19世紀
工芸	作者不詳 玉製風字硯	木村定三コレクション 中国・宋時代 13世紀
工芸	作者不詳 玉製蟬硯	木村定三コレクション 中国・宋時代 13世紀
工芸	作者不詳 唐物青貝筆	木村定三コレクション 中国・明時代 15から16世紀
工芸	作者不詳 鯉魚硯（青磁人物文硯）	木村定三コレクション 中国・明時代 15から16世紀
工芸	作者不詳 瓦硯	木村定三コレクション 中国・明時代 15から16世紀
工芸	作者不詳 蓬萊硯	木村定三コレクション 中国・明時代 15から16世紀
工芸	作者不詳 日月硯	木村定三コレクション 中国・清時代初期 17世紀
工芸	作者不詳 康熙 御題硯	木村定三コレクション 中国・清時代 17から18世紀
工芸	作者不詳 硯板	木村定三コレクション 中国・清時代 17から18世紀
工芸	作者不詳 長方硯	木村定三コレクション 中国・清時代 17から18世紀
工芸	作者不詳 雲月硯	木村定三コレクション 中国・清時代 17から18世紀
工芸	作者不詳 風字硯	木村定三コレクション 平安時代
工芸	作者不詳 猿面硯	木村定三コレクション 制作年代不詳
工芸	作者不詳 猿面硯	木村定三コレクション 室町から江戸

工芸	作者不詳 船形水滴	木村定三コレクション 江戸時代前期
工芸	作者不詳 鉄蟠螂（自在置物）	木村定三コレクション 江戸時代
工芸	作者不詳 石渠硯	木村定三コレクション 江戸時代後期から明治
工芸	作者不詳 自然硯・船形水滴・連山形筆架・虎文鎮	木村定三コレクション 19世紀
工芸	作者不詳 桐唐草蒔絵軍配形硯箱	木村定三コレクション 19世紀
工芸	作者不詳 水滴入れと水滴10個	木村定三コレクション 制作年不詳
工芸	作者不詳 七宝 瓢形水滴	木村定三コレクション 19世紀
工芸	作者不詳 琵琶人物水滴	木村定三コレクション 19世紀
工芸	作者不詳 尾長鳥水滴	木村定三コレクション 19世紀
工芸	青山礼三 染付般若波羅蜜多心經 陶硯	木村定三コレクション 1977年
工芸	作者不詳 沢瀉文松竹群鶴蒔絵文机	木村定三コレクション 江戸時代前期
工芸	作者不詳 三輪山蒔絵硯箱 硯・水滴付	木村定三コレクション 19世紀

工芸	作者不詳 鉦に椿蒔絵螺鈿硯箱	木村定三コレクション 江戸時代後期から明治
----	-------------------	--------------------------

前室 2

プロジェクト	西岳拡貴 ROAD OF SEX in Nagoya Castle	APMoA Project, ARCH 2012年
絵画	西岳拡貴 ROAD OF SEX in Nagoya Castle (Paiting)	APMoA Project, ARCH 2012年
油彩	杉戸洋 The Tub	2002年
彫刻	アレクサンダー・コールダー 片膝ついて	1944(1968)年
彫刻	アレクサンダー・コールダー ゴースト	寄託作品 1976年

10階ロビー

プロジェクト	西岳拡貴 ROAD OF SEX	APMoA Project, ARCH Nantes >> St. Na z aire 2009年
彫刻	土谷武 植物空間 I-a	1989年

10階屋上庭園（レストラン脇）

彫刻	アルナルド・ポモドーロ 飛躍の瞬間	財団法人日本宝くじ協会寄贈 1984年
----	----------------------	------------------------

屋外展示スペース I（12階屋上）

彫刻	コルネリス・ジットマン カリブの女	1983年
彫刻	加藤昭男 大地	1986年
彫刻	小田 襄 円柱の構造	1988年

屋外展示スペース II（10階）

彫刻	今井瑋郎 大地	1992年
----	------------	-------

地下 2 階フォーラム

彫刻	加藤昭男 ツタンカーメンのえんどう豆	1996年
----	-----------------------	-------

2 階フォーラム

彫刻	エミール=アントワヌ・プールデル 自由	1916年
----	------------------------	-------

12階アールスペースロビー

彫刻	舟越保武 花を持つ少女	1966年
----	----------------	-------

■2012年度第 4 期コレクション展出品リスト（2012年12月21日(金)ー2013年2月11日(月・祝)）

展示室 5 では、同時開催の企画展にあわせて、20世紀前半のドイツ美術を特集し、絵画、版画、彫刻など当館の幅広いドイツ美術のコレクションを展示した。展示室 7 では、ゴーギャンやピカソなどの当館のフランス絵画とフランスに縁の深い日本人洋画家たちの作品を並べ、同時代におけるそれぞれの関係性に焦点をあてた。展示室 8 では、当館でも人気の高い熊谷守一の名品を時代順に展示した。

ラウンジ		
彫刻	ヴァイルヘルム・レームブルック 立ち上がる青年	1913年
展示室 5 夢と現実のはざまで 20世紀はじめのドイツ美術		
版画	ケーテ・コルヴィッツ 平成23年度 新収蔵作品 山村博男氏寄贈 死（版画集『織工の蜂起』第2葉）	1893-97年
版画	ケーテ・コルヴィッツ 平成23年度 新収蔵作品 山村博男氏寄贈 暴動	1899年
版画	ケーテ・コルヴィッツ 平成23年度 新収蔵作品 山村博男氏寄贈 踏みにじられた者たち―貧しい家族	1900年
版画	ケーテ・コルヴィッツ 平成23年度 新収蔵作品 山村博男氏寄贈 若いカップル	1904年
版画	ケーテ・コルヴィッツ 平成23年度 新収蔵作品 山村博男氏寄贈 子供を腕に抱く母	1910年
版画	ケーテ・コルヴィッツ 平成23年度 新収蔵作品 山村博男氏寄贈 うつむく女の頭部	1905年

版画	ケーテ・コルヴィッツ 平成23年度 新収蔵作品 山村博男氏寄贈 鎌を研ぐ『農民戦争』より	1905年
版画	ケーテ・コルヴィッツ 女を膝に抱く死	1921年
彫刻	ケーテ・コルヴィッツ 恋人たち II	1913年(1973年頃鑄造)
版画	エミール・ノルデ E.N. 自画像	1908年
版画	マックス・ベックマン あくびをする人達	1918年
版画	エミール・ノルデ 騎士	1906年
版画	エミール・ノルデ おしゃべり	1917年
版画	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー 三本の道	1917年
版画	ヴァイルヘルム・レームブルック 母と子（幻影 II）	1913年

油彩	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー グラスのある静物	1912年
油彩	エミール・ノルデ 静物 L（アマゾン、能面等）	1915年
彫刻	エルンスト・バルラッハ 忘我	1911-12年
彫刻	エルンスト・バルラッハ 母なる大地 II	1921年
版画	エーリッヒ・ヘッケル 表紙『ブリュッケ展カタログ版画集』より	1910年
版画	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー 男と女（ヘッケルに基づく）『ブリュッケ展カタログ版画集』より	1910年
版画	エーリッヒ・ヘッケル 眠る男『ブリュッケ展カタログ版画集』より	1910年
版画	マックス・ベヒシュタイン 水浴（キルヒナーに基づく）『ブリュッケ展カタログ版画集』より	1910年
版画	ヴァシリー・カンディンスキー 『クセログラフィー』	平成23年度 新収蔵作品 1909年

コ ラ イ シ ュ （油彩）	クルト・シュヴィッターズ メルツ絵画305, ロボジッツ	1921年
コ ラ イ シ ュ （油彩）	クルト・シュヴィッターズ メルツ絵画52, 美容	1920年
版 画	ラースロー・モホリ＝ナジ コンストラクション『ケストナー版画集6』より	1922-23年
版 画	ラースロー・モホリ＝ナジ コンストラクション『ケストナー版画集6』より	1922-23年
版 画	ラースロー・モホリ＝ナジ コンストラクション『ケストナー版画集6』より	1922-23年
油 彩	パウル・クレー 女の館	1921年
素 描	パウル・クレー 蛾の踊り	1923年
版 画	ライオネル・ファイニンガー 無題『パウハウス・マイスター版画作品集』より	1923年
版 画	ヴァシリー・カンディンスキー たのしき飛翔『パウハウス・マイスター版画作品集』より	1923年
版 画	パウル・クレー 恋人『パウハウス・マイスター版画作品集』より	1923年
版 画	ゲルハルト・マルクス 無題『パウハウス・マイスター版画作品集』より	1923年
版 画	ゲオルク・ムッヘ 無題『パウハウス・マイスター版画作品集』より	1923年
版 画	ラースロー・モホリ＝ナジ 無題『パウハウス・マイスター版画作品集』より	1923年
版 画	オスカー・シュレンマー 脚を組んだ抽象的人体像『パウハウス・マイスター版画作品集』より	1923年
版 画	ロータル・シュライヤー 無題『パウハウス・マイスター版画作品集』より	1923年
油 彩	ライオネル・ファイニンガー 夕暮れの海Ⅰ	1927年
油 彩	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー 日の当たる庭	1935年
油 彩	フランク・ステラ リヴァー・オヴ・ポンズⅣ	1969年
版 画	サム・フランシス 春	1984-88年
油 彩	サム・フランシス 消失に向かう地点の青	1958年
油 彩	桑山忠明 茶白青	1968年
油 彩	モーリス・ルイス デルタ・ミュー	1960-61年
油 彩	斎藤吾朗 描けば描くほど	平成23年度 新収蔵作品 味岡源太郎氏寄贈 2002年
日 本 画	片岡球子 面構 歌川国貞・柳亭種彦	1980年
版 画	幾 嘸 グッドバイ・ムッシュ・ゴーガン	1973年

油 彩	アメデオ・モディリアーニ カリアティード	1911-13年
油 彩	エドワード・ジョン・ポインター 世界の若かりし頃	1891年
油 彩	マックス・エルンスト ポーランドの騎士	1954年
油 彩	福沢一郎 餓鬼のわるだくみ	1972年
展示室 6 APMoA Project, ARCH vol. 4 奥村雄樹「善兵衛の目玉（宇宙編）」		
ウ ィ デ オ	奥村雄樹 善兵衛の目玉（宇宙編）	2012年

展示室 7 青春のパリ 近代日本洋画が育った場所		
油 彩	伊藤 廉 エトルタ風景	面手勝仁氏寄贈 1928-30年
油 彩	ポール・ゴーガン 海岸の岩／木靴職人（表裏2点の作品）	平成24年度 新収蔵作品 玉置文房、銀行員からの贈贈品により購入 1888年
油 彩	パブロ・ピカソ 青い肩かけの女	（株）東海銀行寄贈 1902年
油 彩	藤田嗣治 青衣の少女	トヨタ自動車株式会社からの寄附金により購入 1925年
油 彩	海老原喜之助 ゲレンデ	1930年
油 彩	黒田清輝 花と猫	1906年
油 彩	ピエール・ボナール 子供と猫	1906年頃
油 彩	青木繁 太田の森	1902年
彫 刻	萩原守衛 女の胴	1907年(1993年鑄造)
油 彩	アンリ・マティス 待つ	中部電力株式会社寄贈 1921-22年
油 彩	野口弥太郎 門	1931年頃
油 彩	木下孝則 読書	1931年
油 彩	林倭衛 サント・ヴィクトワール	1925年
油 彩	ラウル・デュフィ サンタドレスの浜辺	1906年
油 彩	梅原龍三郎 横臥裸婦	1908年
油 彩	長谷川昇 靴下をはく女	1928年
彫 刻	高田博厚 女のトルソ	1937年
展示室 8 木村定三コレクション 熊谷守一		

油 彩	熊谷守一 線裸	木村定三コレクション 1927年
油 彩	熊谷守一 裸	木村定三コレクション 1937年
油 彩	熊谷守一 裸	木村定三コレクション 1937年
油 彩	熊谷守一 麥畑	木村定三コレクション 1939年
油 彩	熊谷守一 高原	木村定三コレクション 1940年
油 彩	熊谷守一 高原ノ道	木村定三コレクション 1940年
油 彩	熊谷守一 船津	木村定三コレクション 1940-41年
油 彩	熊谷守一 蓼科牧	木村定三コレクション 1951年
油 彩	熊谷守一 小牛	木村定三コレクション 1952年
油 彩	熊谷守一 ハルシャ菊	木村定三コレクション 1954年
油 彩	熊谷守一 百日草	木村定三コレクション 1958年
油 彩	熊谷守一 漁村	木村定三コレクション 1954年
油 彩	熊谷守一 氏家桃林	木村定三コレクション 1956年
油 彩	熊谷守一 猫	木村定三コレクション 1965年
油 彩	熊谷守一 白仔猫	木村定三コレクション 1958年
油 彩	熊谷守一 石亀	木村定三コレクション 1957年
油 彩	熊谷守一 伸餅	木村定三コレクション 1949年
油 彩	熊谷守一 雨滴	木村定三コレクション 1961年
油 彩	熊谷守一 たまご	木村定三コレクション 1959年
油 彩	熊谷守一 瓜	木村定三コレクション 1965年

前室 2

史 料	制作者不詳 一閑張望遠鏡	貝塚市立善兵衛ランド蔵 APMoA Project, ARCH 江戸時代 19世紀
史 料	－ 株式会社 岩橋の時計	貝塚市立善兵衛ランド蔵 APMoA Project, ARCH －
油 彩	中村彝 静物	1915年頃
油 彩	安井曾太郎 パンと肉	1910年

彫刻	ジャーコモ・マンズー 枢機卿	寄託作品 1955年
彫刻	ジャーコモ・マンズー ある主題によるヴァリエーション	1947-1966年
彫刻	ジャーコモ・マンズー 踊りのステップ	名鉄総合企業寄贈 1953年
彫刻	アレクサンダー・コールダー ゴースト	寄託作品 1976年

10階屋上庭園（レストラン脇）

彫刻	アルナルド・ボモドーロ 飛躍の瞬間	財団法人日本宝くじ協会寄贈 1984年
----	----------------------	------------------------

屋外展示スペースⅠ（12階屋上）

彫刻	コルネリス・ジットマン カリブの女	1983年
彫刻	加藤昭男 大地	1986年
彫刻	小田 襄 円柱の構造	1988年

屋外展示スペースⅡ（10階）

彫刻	今井瑾郎 大地	1992年
----	------------	-------

地下2階フォーラム

彫刻	加藤昭男 ツタンカーメンのえんどう豆	1996年
----	-----------------------	-------

2階フォーラム

彫刻	エミール＝アントワース・ブールデル 自由	1916年
----	-------------------------	-------

12階アートスペースロビー

彫刻	舟越保武 花を持つ少女	1966年
----	----------------	-------

■2012年度第5期コレクション展出品リスト（2013年3月1日(金)ー4月14日(日)）

2006年に当館で個展を開催し、コレクションにおいても多数の作品を所蔵している東松照明氏が2012年末に亡くなったことを受けて追悼展示を行った。また木村定三コレクションからは近年修復と「寝かし」の期間を経過した作品を展示したほか、同コレクションの仏教美術の最重要作品の一つである《不動明王立像》と、その胎内から発見された貴重な仏画残欠を初公開し注目を集めた。

ラウンジ

彫刻	土谷武 植物空間 I-a	1989年
----	-----------------	-------

展示室5 20世紀美術

油彩	ポール・ゴーギャン 海岸の岩・木靴職人（表裏2点の作品）	平成24年度 新収蔵作品 玉谷文男、金子夫妻からの寄附金により購入 1888年
版画	ポール・ゴーギャン テ・ポ（夜）	平成24年度 新収蔵作品 玉谷文男、金子夫妻からの寄附金により購入 1893-94年
版画	ポール・ゴーギャン 水浴するプルターニュの女たち	平成24年度 新収蔵作品 玉谷文男、金子夫妻からの寄附金により購入 1889年
油彩	パブロ・ピカソ 青い肩かけの女	（株）東海銀行寄贈 1902年
油彩	藤田嗣治 青衣の少女	トヨタ自動車株式会社からの寄附金により購入 1925年
油彩	アルベール・マルケ ノートルダムの後陣	1902年
油彩	ラウル・デュフィ サンタドレスの浜辺	1906年
油彩	ピエール・ボナール 子供と猫	1906年頃
油彩	ピエール・ボナール にぎやかな風景	1913年頃
油彩	アンリ・マティス 待つ	中部電力（株）より寄贈 1921-22年
油彩	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー グラスのある静物	1912年
油彩	エミール・ノルデ 静物L（アマゾン、能面等）	1915年

油彩	パウル・クレー 女の館	1921年
油彩	ライオネル・ファイニンガー 夕暮れの海Ⅰ	1927年
油彩	ベン・ニコルソン 1933（スペインの絵葉書のあるコラージュ）	1933年
彫刻	アレクサンダー・アーチベンコ 歩く女	1912年
油彩	フランティシェク・クプカ 灰色と金色の展開	1919年
油彩	ジャック・ヴィヨン 存在	1920年
油彩	ジョージア・オキーフ 抽象 第6番	1928年
油彩	ジョアン・ミロ 絵画	1925年
油彩	ポール・デルヴォー こだま（あるいは「街路の神秘」）	1943年
油彩	マックス・エルンスト ポーランドの騎士	1954年
油彩	フェルナン・レジェ カニエプロバン株式会社からの寄付金による購入 緑の背景のコポジション（葉のあるコンポジション）	1931年
彫刻	ハンス（ジャン）・アルプ 森	1917年頃
彫刻	ハンス（ジャン）・アルプ 星座	1932年
油彩	アド・ラインハート No.114	1950年
油彩	ジョーゼフ・アルパース 正方形頌	1962年

油彩	フランク・ステラ リヴァー・オヴ・ボンズ IV	1969年
油彩	モーリス・ルイス デルタ・ミュー	1960-61年
彫刻	ジョージ・シーガル ロバート&エセル・スカルの肖像	1965年
油彩	アンディ・ウォーホル レディース・アンド・ジェントルメン	1975年
版画	ロバート・ラウシェンバーグ プレヴュー（白霜エディション）	ギャラリーユマニテ寄贈 1974年

展示室5 特集：追悼展示 東松照明

写真	東松照明 皮肉な誕生・名古屋	作者寄贈 1950年
写真	東松照明 傷痍軍人・名古屋 1	作者寄贈 1951年
写真	東松照明 傷痍軍人・名古屋 2	作者寄贈 1951年
写真	東松照明 親と子の絆・名古屋	作者寄贈 1951年
写真	東松照明 シューシャンボーイの視線・名古屋	作者寄贈 1951年
写真	東松照明 サーカスのジンタ・名古屋	作者寄贈 1952年
写真	東松照明 ファミリー・名古屋	作者寄贈 1952年
写真	東松照明 男の子・名古屋	作者寄贈 1952年
写真	東松照明 水害と日本人・名古屋 1	作者寄贈 1959年

写真	東松照明 水害と日本人・一色 4	作者寄贈 1953年
写真	東松照明 水害と日本人・一色 9	作者寄贈 1953年
写真	東松照明 水害と日本人・一色 15	作者寄贈 1954年
写真	東松照明 敗戦の記憶・豊川海軍工廠跡 1	作者寄贈 1959年
写真	東松照明 敗戦の記憶・豊川海軍工廠跡 2	作者寄贈 1959年
写真	東松照明 敗戦の記憶・豊川海軍工廠跡 3	作者寄贈 1959年
写真	東松照明 敗戦の記憶・豊川海軍工廠跡 4	作者寄贈 1959年
写真	東松照明 敗戦の記憶・豊川海軍工廠跡 5	作者寄贈 1959年
写真	東松照明 敗戦の記憶・豊川海軍工廠跡 6	作者寄贈 1959年
写真	東松照明 敗戦の記憶・豊川海軍工廠跡 7	作者寄贈 1959年
写真	東松照明 敗戦の記憶・豊川海軍工廠跡 8	作者寄贈 1959年
写真	東松照明 焼き物の町・瀬戸 13	作者寄贈 1954年
写真	東松照明 焼き物の町・瀬戸 3	作者寄贈 1954年
写真	東松照明 焼き物の町・瀬戸 37	作者寄贈 1954年
写真	東松照明 潮騒・神島 14	作者寄贈 1957年
写真	東松照明 潮騒・神島 11	作者寄贈 1957年

展示室 6 APMoA Project, ARCH vol. 5「佐藤香葉—森の中へ」

油彩	佐藤香葉 あんまりおぼえてない	作家蔵 2007年
油彩	佐藤香葉 始まりの予感	作家蔵 2008年
油彩	佐藤香葉 光あるうち	作家蔵 2008年
油彩	佐藤香葉 森にしずむ	個人蔵 2008年
油彩	佐藤香葉 めぐみをのぞむ	作家蔵 2009年
油彩	佐藤香葉 ブランコ1	作家蔵 2009年
油彩	佐藤香葉 ブランコ2	作家蔵 2009年
油彩	佐藤香葉 お告げ	作家蔵 2010年

油彩	佐藤香葉 その先へ	作家蔵 2011年
油彩	佐藤香葉 遣わし	作家蔵 2011年
油彩	佐藤香葉 言付け	作家蔵 2011年
油彩	佐藤香葉 清らかな呼吸	作家蔵 2011年
油彩	佐藤香葉 秘匿	作家蔵 2011-12年
油彩	佐藤香葉 夕暮れに笑う	作家蔵 2012年
油彩	佐藤香葉 落下する空、昇る海	作家蔵 2013年

展示室 7 受け継がれる木村定三コレクション 修復作品公開

油彩	須田昶太 少女	木村定三コレクション 1984年
油彩	須田昶太 舞妓	木村定三コレクション 1988年
油彩	須田昶太 道後温泉	木村定三コレクション 1986年
油彩	須田昶太 遊女之図	木村定三コレクション 1989年頃
油彩	須田昶太 甲子園高校野球	木村定三コレクション 1988年
油彩	須田昶太 田舎娘	木村定三コレクション 1988年
工芸	作者不詳 楼閣人物図螺鈿卓	木村定三コレクション 中国・明時代(16世紀)
工芸	作者不詳 唐物 俱輪天目台	木村定三コレクション 中国・明時代中期(16世紀)

日本画	上杉謙信 織田信長宛上杉謙信書状	木村定三コレクション 元龜2(1571)年 (桃山時代)
日本画	与謝蕪村 富嶽列松図	木村定三コレクション 江戸時代中期(18世紀後半)
日本画	横井也有 月に友がらす図并句	木村定三コレクション 江戸時代中期(18世紀)
日本画	白隠慧鶴 渡唐天神図 自賛	木村定三コレクション 江戸時代中期(18世紀初頭)
日本画	仙厓義梵 姫御前図 自画賛	木村定三コレクション 江戸時代中期～後期(18世紀後半～19世紀前半)
日本画	仙厓義梵 若水図 自画賛	木村定三コレクション 江戸時代中期～後期(18世紀後半～19世紀前半)
日本画	菱川派 隅田川舟遊図	木村定三コレクション 江戸時代前期～中期(17世紀末期～18世紀初期)
日本画	岡田東虎 立美人図 (前掲)・「前古」・「無明」・「祖丈」 賛	木村定三コレクション 江戸時代中期～後期(18世紀末期～19世紀前半)
日本画	義亮 東山図	木村定三コレクション 江戸時代後期(19世紀初頭)

日本画	渡辺 清 玩具尽くし図	木村定三コレクション 安政6(1859)年 (江戸時代)
日本画	村瀬太乙 馬上狐図	木村定三コレクション 明治6(1873)年

展示室 8 木村定三コレクション 不動明王と密教法具

彫刻	作者不詳 不動明王立像	木村定三コレクション 平安時代後期(12世紀前半)
書跡	阿闍梨春海 不動明王像胎内納入再興由來書	木村定三コレクション 明暦4(1658)年 (江戸時代)
日本画	作者不詳 不動明王像胎内納入仏画断片	木村定三コレクション 鎌倉～南北朝時代(14世紀前半)
工芸	作者不詳 銅三鈷杵	木村定三コレクション 奈良時代・平安時代(8～9世紀)
工芸	作者不詳 金銅三鈷杵	木村定三コレクション 平安時代(12世紀)
工芸	作者不詳 銅独鈷杵	木村定三コレクション 平安時代(12世紀)か
工芸	作者不詳 銅独鈷杵	木村定三コレクション 平安時代(12世紀)か
工芸	作者不詳 金箔押木製鬼面五鈷杵	木村定三コレクション 鎌倉時代
工芸	作者不詳 金銀象嵌鉄五鈷杵	木村定三コレクション 中国・元時代(13～14世紀)か
工芸	作者不詳 金銅宝珠杵	木村定三コレクション 鎌倉時代(13～14世紀)か
工芸	作者不詳 金銅五鈷鈴	木村定三コレクション 平安時代(12世紀)
工芸	作者不詳 金銅宝塔鈴	木村定三コレクション 鎌倉時代(13～14世紀)
工芸	作者不詳 金銅明王五鈷鈴	木村定三コレクション 鎌倉～南北朝時代(14～15世紀)か
工芸	作者不詳 金銅金剛盤	木村定三コレクション 平安時代(12世紀)
工芸	作者不詳 木製朱漆塗金剛盤	木村定三コレクション 室町時代 文明2年 1470
工芸	作者不詳 金銅金鈿	木村定三コレクション 鎌倉時代(13～14世紀)
工芸	作者不詳 金銅金鈿	木村定三コレクション 南北朝時代(14世紀)
工芸	作者不詳 金銅四獬	木村定三コレクション 鎌倉時代(13世紀)
工芸	作者不詳 金銅羯磨	木村定三コレクション 南北朝時代(14世紀)
工芸	作者不詳 金銅輪宝	木村定三コレクション 鎌倉～南北朝時代(14世紀)か
工芸	作者不詳 金銅輪宝	木村定三コレクション 鎌倉～南北朝時代(14世紀)
工芸	作者不詳 金銅輪羯台	木村定三コレクション 南北朝～室町時代(14～15世紀)

工芸	作者不詳 銅飯食器	木村定三コレクション 鎌倉時代(13世紀)
工芸	作者不詳 金銅護摩杓	木村定三コレクション 江戸時代(17～18世紀)

前室 2

油彩	佐藤香葉 HOME	作家蔵 APMoA Project, ARCH 2012年
油彩	佐藤香葉 物語の生まれる場所	作家蔵 APMoA Project, ARCH 2007-08年
油彩	佐藤香葉 青い鳥	作家蔵 APMoA Project, ARCH 2012年
油彩	佐藤香葉 赤い鳥	作家蔵 APMoA Project, ARCH 2012年
彫刻	作者不詳 石造 童女立像	木村定三コレクション 朝鮮時代(15-19世紀)

彫刻	作者不詳 石造 童女立像	木村定三コレクション 朝鮮時代(15-19世紀)
彫刻	アレクサンダー・コールドー 片膝ついて	1944(1968)年

10階屋上庭園（レストラン脇）

彫刻	アルナルド・ポモドーロ 飛躍の瞬間	財団法人日本宝くじ協会寄贈 1984年
----	----------------------	------------------------

屋外展示スペース I（12階屋上）

彫刻	コルネリス・ジットマン カリブの女	1983年
彫刻	加藤昭男 大地	1986年
彫刻	小田 襄 円柱の構造	1988年

屋外展示スペース II（10階）

彫刻	今井瑾郎 大地	1992年
----	------------	-------

地下 2 階フォーラム

彫刻	加藤昭男 ツタンカーメンのえんどう豆	1996年
----	-----------------------	-------

2 階フォーラム

彫刻	エミール＝アントワーン・ブールデル 自由	1916年
----	-------------------------	-------

12階アールスペースロビー

彫刻	舟越保武 花を持つ少女	1966年
----	----------------	-------

APMoA Project, ARCH

2012年度に新事業として「APMoA Project, ARCH」が始まった。これは1992年の美術館開館より行われてきた「テーマ展」を改めたものであり、企画展の開催時期に合わせて年間数本行われる。

この事業の大きな特徴として、愛知県美術館の学芸員と作家が協同で展覧会を行う点があげられる。それを通して、美術館が作家の表現活動をサポートするだけでなく、企画自体が作家、美術館、鑑賞者の架け橋となることが意図されている。プロジェクト名「ARCH」とは、こうした思いが込められたものである。

また、作家の選択については、各学芸員が当館で今、取り上げるべき作家を推薦し、それを美術館全体で議論して決定するかたちをとる。そのため、本企画は、作家、学芸員、画廊等にとって大きな刺激となり、中部圏における現代美術の興隆、発信に寄与するものと期待される。

vol. 1 吉本直子「Reflection Space—鼓動の庭」

会 期：2012年4月13日(金)～6月24日(日)

会 場：展示室6、ロビーほか

主 催：愛知県美術館

担当学芸員：森美樹

内容と結果：

吉本直子は1972年兵庫県生まれ、1995年に京都大学教育学部教育心理学科卒業後、京都を拠点に活動する作家である。

吉本は、古布や古着を用いた立体やインスタレーション作品を通して、布の汚れや染みといった使い古された質感に、その布を用いた人々の生活や生命の痕跡を見つめる。

本展では、何百枚もの着古された白いシャツを圧縮し、箱やスクリーン状に糊で固めた過去の作品と新作を展示した。白いシャツに露わになった無数の染みや汚れが、そこにとどまる人の気配を物語る。新作である展示室6の壁3面を白いシャツで覆うインスタレーションは、過去に生きた人々の歴史をフラッシュバックのように映し出すかのようにであった。

旧作である《白い棺》は、同様に古いシャツを用いて作られた二つのブロックからなる箱状の立体で、向かい合うブロックの内側には、水平にまっすぐ伸びる袖や折り重なる襷を形成している。生きること、また死に向かうことを肯定的にとらえたこの作品に対し、新作《地の残像》では、シャツが絡み合い、生きることの混沌とした現実を形づくる。今回の展示で新旧作が並置されたことで、それらが表裏一体となって生きることの意味を問いかけた。

これらの大規模なインスタレーションは非常に迫力ある展示となり、鑑賞者の多くを惹きつけ、その反応は、展示会場に設置した感想ノートやツイッターにも顕著に表れていた。またこの展覧会はARCHのプロジェクトの立ち上げとなる第1回の展示であり、マスコミの注目も高く、次へと続く同プロジェクトの良い導入となった。

パンフレット：

B4判 ニツ折4ページ(2,000部)

テキスト：森美樹「鼓動の庭—過去と現在の生命(いのち)が交差する場所」

デザイン：藤本康一

撮 影：怡土鉄夫

発 行：愛知県美術館

関連事業：

○作家によるレクチャー

日 時：2012年4月28日(土) 13:30～15:00

会 場：愛知芸術文化センター 12階アールスペースEF他

作 家：吉本直子

参加者数：28名

関連記事：

【新聞】

宮川まどか「ARCH 若手支える架け橋に」『中日新聞』
2012年6月5日朝刊

【新聞】

山田泰生「古ワイシャツが県美術館の『壁』」『毎日新聞』
2012年6月13日



vol. 2 荒木由香里「何ものでもある何でもないもの」

会 期：2012年7月13日(金)～9月9日(日)

会 場：展示室6、ロビーほか

主 催：愛知県美術館

担当学芸員：村田真宏

内容と結果：

荒木由香里（1983年、三重県生まれ）は、2005年に名古屋芸術大学美術学部造形科造形選択コースを卒業、2006年に同研究生を修了後、ギャラリー AIN SOPH DISPATCHで毎年個展を開催、また2009年にはアーツチャレンジ（芸術文化センター）で展示を行うなど、愛知を拠点にして活動している作家である。

荒木は身のまわりのありふれたモノを素材に、それらをアッサンブラージュすることで作品を制作してきており、本展は「何ものでもある何でもないもの」と題して、具体的なイメージを喚起しながらもどのようなイメージにも限定されない彼女の特徴的な作品を紹介した。彼女は2011年に佐久島の自然のなかに設置する作品を制作してはいたが、基本的にはオブジェと呼べるサイズをベースに制作をしてきていた。今回はそうした過去の作品に加えて、『White』（2012年）をはじめにこれまでにないスケールのインスタレーション作品を制作するなど、作家本人にとっても新しい出発点となりうる展示となった。

展示室に設置した感想ノートからは、作品に関する来場者それぞれのイメージが多数記載されるなど、子供から大人まで幅広い年齢層から親しみをもって彼女の作品に触れている様子うかがうことができた。

パンフレット：

B4判 ニツ折4ページ（2,000部）

テキスト：村田真宏

デザイン：白澤真生（OPENENDS）

撮 影：尾崎芳弘（STUDIO WORK）

発 行：愛知県美術館

関連事業：

○アーティスト・トーク

日 時：2012年8月11日（土）13：30～15：00

会 場：愛知芸術文化センター 12階アートスペースEF他

講 師：荒木由香里

参加者数：34名

関連記事：

【新聞】

宮川まどか「美術 荒木由香里展」『中日新聞』2012年8月22日朝刊



vol. 3 西岳拡貴「ROAD OF SEX」

会 期：2012年9月28日(金)～11月25日(日)

会 場：展示室6、ロビーほか

主 催：愛知県美術館

協 賛：株式会社 レヂテックス

担当学芸員：塩津青夏

内容と結果：

西岳拡貴（1984年、長崎県生まれ）は、2008年愛知県立芸術大学美術学部彫刻専攻を卒業、2010年に東京藝術大学大学院修士課程を修了後、関東に在住しながら活動してきた作家である。

西岳は東京藝大在学中にフランスのナントビエンナーレの河口プロジェクトに参加し、そこで初めて「ROAD OF SEX」と呼ばれる作品を制作した。それはナントからサン・ナゼールまでの道のり約50キロで、道路上にラテックス（液体のゴム）を塗り、それを巻き取って塊にしていこうというプロジェクトであり、その後も彼は自宅と大学との間でそのプロジェクトを実施し、大学院修士制作とするなどの展開を続けていた。

今回のAPMoA Project ARCHでは、彼の住む東京から展示を行う愛知までの区間内という、彼のこれまでの活動において最も規模の大きなプロジェクトを行った。最終的に東京から愛知までラテックスを塗り、巻き取ってきた塊とその制作中の映像を展示したが、その塊は、東京から愛知まで進んできた彼と道路のやりとりの記録であり、また大地の表皮を巻き取ることで場所の記憶を生々しく留めたものとして独創的な作品となった。

同時開催の展覧会は高い年齢の客層の多い展覧会であったものの、身体を動かして東京から愛知へとラテックスの塊をひたすら転がしてゆくユニークな映像に、そうした来場者たちも強い興味をもって見入っていた。

パンフレット：

B4判 ニツ折4ページ（2,000部）

テキスト：塩津青夏「西岳拡貴の「ROAD OF SEX」―大地の皮膚を巻き取ること、誰かと深くつながること」

デザイン：青木乾高、大原慎也

撮 影：林育正

発 行：愛知県美術館

関連事業：

○アーティスト・トーク

日 時：2012年10月7日（日）14：00～15：30

会 場：愛知芸術文化センター 12階アールスペースEF他

講 師：西岳拡貴

参加者数：12名

関連記事：

【新聞】

宮川まどか「美術 西岳拡貴「ROAD OF SEX」」『中日新聞』2012年10月24日朝刊



vol. 4 奥村雄樹「善兵衛の目玉（宇宙編）」

会 期：2012年12月21日（金）～2月11日（月・祝）
会 場：展示室6、前室2
主 催：愛知県美術館
落 語：笑福亭里光
撮 影：藤井光
協 力：貝塚市立善兵衛ランド、貝塚市山手地区公民館、
MISAKO & ROSEN、Artists' Guild

担当学芸員：副田一穂

内容と結果：

奥村雄樹は1978年青森県生まれ、2012年に東京藝術大学大学院博士後期課程修了後、東京を中心に活動する若手の作家である。

奥村は、インスタレーション、パフォーマンス、彫刻など様々な形式を用いながらも、これまで一貫して、身体とそれについてわたしたちがもつイメージとの齟齬や、肉体と精神という心身二元論的な認識と現実との差異を、鮮やかに描き出してきた。とりわけ近年は映像表現を中心に、画面上で何かを語る人間の身体と、そこで語られている内容とが次第に遠く隔たっていくような奇妙な状況を演出した作品を発表している。

本展では、2010年に東京のMISAKO & ROSENで行われた個展「くうそうかいぼうがく（落語編）」で発表された映像作品の内容を大幅にアップデートし、内容を当館の所蔵作品とも関連付けることで、展示空間全体を利用したインスタレーションへと発展させた。自由に取り外し可能な目玉で遠隔視を行う男の笑い話を落語に仕立て、落語家の身振りと言語を通して、現実には起こりえない視覚体験を鑑賞者に疑似体験させる、という作品の構造は2010年版から維持しつつ、今回新たに江戸時代の天文学者による望遠鏡制作という歴史的な文脈を挿入することによって、作品全体に視覚装置の隠喩としての機能が付加され、より厚みのある表現となった。また、江戸時代に制作された望遠鏡の展示と、当館所蔵の望遠鏡による視覚体験が表現された作品との関連づけにより、映像の内容を展示構成として反復するような新たな試みも見られた。特に、ウェブ上で若い世代の鑑賞者からの反応が顕著に見られた。

パンフレット：

B4判 ニツ折4ページ（2,000部）

テキスト：副田一穂「意識は眼球に宿る、あるいは江戸時代の眼球譚」

デザイン：坂田希究

展示風景撮影：林育正

発 行：愛知県美術館

関連事業：

○作家によるレクチャー

日 時：2013年1月5日（土）13：30～15：00

会 場：愛知芸術文化センター 12階アールスペースEF他

作 家：奥村雄樹

参加者数：40名

○ワークショップ「くうそうかいぼうがく」

日 時：2012年12月22日（土）13：30～15：00

会 場：アートラボあいち

主 催：オフィスマッチングモウル、愛知県美術館

協 力：あいちトリエンナーレ実行委員会

参加者数：20名

関連記事：

【新聞】

宮川まどか「奥村雄樹「善兵衛の目玉（宇宙編）」『中日新聞』2013年1月9日朝刊



vol. 5 佐藤香菜一森の中へ

会 期：2013年3月1日(金)～4月14日(日)

会 場：展示室6、前室2

主 催：愛知県美術館

協 力：GALLERY IDF

担当学芸員：大島徹也

内容と結果：

佐藤香菜（1982年、名古屋市生まれ）は、2007年に沖縄県立芸術大学美術工芸学部美術学科絵画専攻を卒業後、2008年よりGALLERY IDF（名古屋）で毎年個展を開催し、現在まで名古屋を拠点に活動を続けてきている画家である。

佐藤は、どこか現実感のない不思議な動物たちの世界を描いて、観る者の心を強く引き付けてきた。その魅力は、緻密な写実的描写と繊細な装飾的感性が、抽象的な空間表現と高度に融合することから生まれてくる。そしてその融合は、画面上に荒っぽく置かれた絵具の物質性や、細部に施された刺繍によるアクセントによって、いっそう奥深いものとなっている。

本展では作家の大学卒業制作（2007-08年）から、本展のために制作された最新の横幅7mの大作（2013年）まで、厳選された油彩画19点を展示し、作家のこれまでの仕事を回顧するとともに、作家の今後の仕事の新たな方向性を打ち出した。本展は作家にとって美術館での初めての個展であり、その点でも、本展は作家の活動にとっての重要なスプリングボードとなった。また、メジャーな新聞3紙に展覧会評が掲載されるなど、対外的にも大きな反響を呼んだ。

パンフレット：

B4判 両面1ページ（2,000部）

テキスト：大島徹也「佐藤香菜の絵画」

デザイン：伊藤敦志（AIRS）

撮 影：林育正

発 行：愛知県美術館

関連事業：

○アーティスト・トーク

日 時：2013年3月9日（土）13：00～13：40

会 場：展示室6

講 師：佐藤香菜

参加者数：46名

関連記事：

【新聞】

（無記名「八木さゆり」）「愛知県美術館 若手作家発表の場『ARCH』一描写と刺しゅう融合の力作20点」『読売新聞』2013年3月14日朝刊

宮川まどか「美術 佐藤香菜一森の中へ」『中日新聞』2013年3月20日朝刊

高橋綾子「森の中へ 佐藤香菜展一壊すことは創ること」『朝日新聞』2013年3月26日朝刊



移動美術館

名 称：愛知県美術館・愛知県陶磁資料館 平成24年度 移動美術館
「日本洋画と近代陶芸の名品」
会 場：東浦町郷土資料館（うのはな館）
会 期：2012年11月3日（土・祝）～12月2日（日）
月曜休館 26日間
主 催：愛知県美術館・愛知県陶磁資料館・東浦町・東浦町教育委員会
担当学芸員：深山孝彰・石崎尚
展 示 点 数：愛知県美術館（油彩画20点）、愛知県陶磁資料館（陶磁器4点）

内 容：
愛知県美術館では、1994年度から年に1度、県内各地で移動美術館を開催しており、東浦町では初めての開催である。今回は、愛知県美術館と愛知県陶磁資料館の両館のコレクションから、愛知県ゆかりの作家を含む、近代洋画の名品と近代陶芸の作品を展示した。愛知県美術館の出品作品では、明治初期から昭和の戦前までの洋画の流れを概観できる構成を試みた。また、地元の知多半島にゆかりのある大沢鉦一郎らの作品は、鑑賞者にとって美術をより身近なものに感じさせる効果をもたらした。

入 場 者 数：4,298人（1日平均165人）

関 連 事 業：
①記念講演会
場 所：東浦町郷土資料館（うのはな館）講座室

平成24(2012) 年度移動美術館：東浦町うのはな館 出品作品

番号	作 家 名	作 品 名	制作年	大きさ
1	浅井 忠	八王子付近の街	1887	42.7×61.2
2	久米桂一郎	秋景	1892	39.0×55.0
3	黒田清輝	花と猫	1906	60.6×45.1
4	梅原龍三郎	横臥裸婦	1908	60.5×72.5
5	山下新太郎	白耳義の少女	1909	41.0×33.0
6	中村 彝	静物	1915頃	23.7×32.6
7	岸田劉生	高須光治君之肖像	1915	45.5×38.0
8	大沢鉦一郎	大曾根風景	1919	50.3×65.6
9	宮脇 晴	自画像	1920	81.0×61.0
10	小出栖重	蔬菜静物	1925	40.0×55.0
11	古賀春江	夏山	1927	90.9×116.7
12	里見勝蔵	裸婦	1928-29	79.7×115.7
13	安井曾太郎	承德喇嘛廟	1938	60.0×77.5
14	岡 鹿之助	窓	1949	72.0×90.0
15	荻須高德	線路に沿った家	1955	145.5×97.0
16	林 武	ノートルダム	1960	89.5×107.2
17	小磯良平	室内A	1972	90.0×90.0
18	熊谷守一	たまご	1959	31.8×41.0
19	熊谷守一	雨滴	1961	24.3×33.4
20	熊谷守一	猫	1965	24.1×33.3
21	近藤悠三	染付蒔文壺	1934	27.5×34.8
22	河井寛次郎	黄釉筒描花と手文扁壺	1950-59	22.0×21.6
23	加藤土師萌	黄地紅彩菊牡丹文角鉢	c1954	4.4×18.6
24	五代加藤幸兵衛	萌黄金彩葡萄文花瓶	1973	19.5×18.4

日 時：2012年11月3日（土・祝） 9：30～10：30
講 師：村田眞宏（愛知県美術館長）
演題「美術のたのしみ」
参加人数：40人
②展示説明会（ギャラリートーク）
場 所：東浦町郷土資料館（うのはな館）展示室
日 時：2012年11月17日（土） 11：00～／ 13：30～（各30分間）
講 師：石崎尚（愛知県美術館学芸員）
小川裕紀（愛知県陶磁資料館学芸員）
参加人数：30人
③学校団体鑑賞会
場 所：東浦町郷土資料館（うのはな館）展示室
日 時：2012年11月6日(火)、13日(火)、20日(火)、27日(火)
講 師：愛知県美術館学芸員、愛知県陶磁資料館学芸員
参加校・人数：5校・510人



サテライト展示（試行）

会 場：田原市博物館
会 期：2012年 8 月11日（土）～ 9 月28日（金）
「愛知県美術館所蔵作品によるサテライト展示（木村定三コレクションによる）」
日本画、工芸24点

作品リスト

番号	作 家 名	作 品 名	制作年
1	岡本柳南	波生野水雁初来	1927（昭和2）年
2	岡本柳南	秋汀鶴鴛	1923（大正12）年頃
3	岡本柳南	老松長壽 菊花報喜（双幅）	20世紀前半
4	岡本柳南	枯木寒鴉	20世紀前半
5	岡本柳南	東郊春望図	1927（昭和2）年
6	岡本柳南	寒林晚鴉	20世紀前半
7	岡本柳南	竹林細雨	1928（昭和3）年
8	岡本柳南	蜻蛉飛泉	1932（昭和7）年
9	青木蒲堂	湖上柳色図	19世紀
10	日比野白圭	鶯宿梅之図	1909（明治42）年
11	渡辺清	著色四季源氏之図	1858（安政5）年
12	英一蝶	旭日鶴図	18世紀前半
13	建部凌岱	梅に叭々鳥図	18世紀前半
14	松村景文	雪中古松小禽図	19世紀前半
15	仙厓義梵	趙州狗子図	18世紀後半～19世紀前半
16	熊谷守一	椿に黒鶴	1966（昭和41）年
17	富岡鉄斎	暁山雲図	1923（大正12）年
18	平福百穂	湖山秋意	20世紀前半
19	香月泰男	ざくろ	1958（昭和33）年
20	平川敏夫	樹焰	1960年代
21	香月泰男	リンドウの図平鉢	1958（昭和33）年
22	香月泰男	フリージャの絵平鉢	1958（昭和33）年
23	須田廻太	天人遊楽	20世紀
24	須田廻太	天人遊楽	20世紀

会 期：2012年 8 月21日（火）～ 9 月30日（日）
「愛知県美術館所蔵作品によるサテライト展示 杉本健吉が描く『新・平家物語』」
素描46点

作品リスト

番号	作 家 名	作 品 名	制作年
1	杉本健吉	前進座 新橋演舞場 昭和38年12月興行パンフレット表紙の原画	1963年頃
2	杉本健吉	小説週刊朝日（および限定本）「わんわん市場」3のための下絵	1972年頃
3	杉本健吉	小説週刊朝日（および限定本）「祇園女御」6のための下絵	1972年頃
4	杉本健吉	小説週刊朝日（および限定本）「祇園女御」6のための下絵	1972年頃
5	杉本健吉	新装本第1巻「胎児清盛」原画 P39	1959年頃
6	杉本健吉	小説週刊朝日（および限定本）「貧乏草」2手控画稿	1972年頃
7	杉本健吉	刊行本第1巻「去りゆく母」原画 P62	1951年
8	杉本健吉	私家本第1巻「去りゆく母」原画 P62	1951年
9	杉本健吉	新・平家物語（私家本）全24巻	1951-57年発行
10	杉本健吉	「源氏の父子・平氏の父子」画稿	制作年不詳
11	杉本健吉	「鶏持ち小冠者」画稿	制作年不詳
12	杉本健吉	小説週刊朝日（および限定本）「借宿の女御」のための下絵か	1972年頃
13	杉本健吉	週刊朝日第67回挿絵C「額打論」のための未発表画稿	1951年
14	杉本健吉	刊行本第2巻「一投石」原画 P62、63	1951年
15	杉本健吉	「美しき家族」画稿	制作年不詳

番号	作 家 名	作 品 名	制作年
16	杉本健吉	週刊朝日第61回挿絵A右「天皇恋し給ふ」原画	1951年
17	杉本健吉	週刊朝日第130回カット「秋燈寸便ー前回までの梗概に代へて」のための下絵	1952年
18	杉本健吉	画帖上巻19「清盛と源義朝」原画	1955年頃
19	杉本健吉	週刊朝日第31回「窮鳥」のための試作	1950年
20	杉本健吉	週刊朝日第31回「窮鳥」のための試作	1950年
21	杉本健吉	週刊朝日第32回「黒業白心」のための試作	1950年
22	杉本健吉	週刊朝日第32回「いかづち雲」のための試作	1950年
23	杉本健吉	週刊朝日第38回カット「深草謀議」原画	1950年
24	杉本健吉	週刊朝日第42回挿絵B「非時香果」原画	1950年か1951年
25	杉本健吉	週刊朝日第42回挿絵C「非時香果」原画	1950年か1951年
26	杉本健吉	週刊朝日第43回挿絵A「清盛帰る」原画	1950年か1951年
27	杉本健吉	刊行本第4巻「桜と橘」原画 P139	1951年
28	杉本健吉	刊行本第4巻「桜と橘」原画 P138	1951年
29	杉本健吉	週刊朝日 特集「絵巻・新平家物語」のための「逆さ兜の事」（清盛逆兜）未発表原稿	制作年不詳
30	杉本健吉	刊行本第4巻「落伍」原画 P215	1951年
31	杉本健吉	週刊朝日第51回挿絵A「胆大小心」原画	1951年
32	杉本健吉	週刊朝日第50回挿絵C「慈悲喧嘩」原画	1951年
33	杉本健吉	週刊朝日第55回挿絵C「春怨」原画	1951年
34	杉本健吉	刊行本第4巻「続・常磐草子」原画 P306	1951年
35	杉本健吉	週刊朝日第55回挿絵A「忘れ妻」原画	1951年
36	杉本健吉	週刊朝日第55回挿絵B「春怨」原画	1951年
37	杉本健吉	新装本第2巻「いづち昔の人行きにけん」原画 P227	1959年頃
38	杉本健吉	小説週刊朝日（および限定本）「天狗道場」235手控画稿	1972年頃
39	杉本健吉	小説週刊朝日（および限定本）「大天井」242手控画稿	1972年頃
40	杉本健吉	小説週刊朝日扉絵もしくは限定本表紙のための未発表画稿	1972年頃
41	杉本健吉	新・平家物語（限定本）全12巻（杉本健吉旧蔵）	1973発行
42	杉本健吉	週刊朝日第65回挿絵A「海の氏神」原画	1951年
43	杉本健吉	週刊朝日第65回カット「前回までの梗概」原画	1951年
44	杉本健吉	週刊朝日第65回挿絵B「黍と粟と稗」原画	1951年
45	杉本健吉	画帖 新平家物語扇面「常磐草紙」	制作年不詳
46	杉本健吉	画帖 新平家物語扇面「夢占い」	制作年不詳

愛知県陶磁資料館における長期展示

2008年度からの覚書により、愛知県陶磁資料館常設展で12点を公開した。

入場者数：21,624人

2 企画展

1992年度から2012年度までの企画展の入場者数（展覧会別）

年 度	展 覧 会 タ イ ト ル	会 期		日数(日)	入場者(人)	一日平均(人)
92年度	フォーヴィスムと日本近代洋画	92/10/30	92/12/20	45	41,343	919
	近代の日本画－西洋との出会いと対話	93/01/05	93/02/11	33	26,166	793
	20世紀愛知の美術	93/02/19	93/03/21	27	11,585	429
	年度合計			105	79,094	753
93年度	パウル・クレーの芸術	93/04/02	93/05/23	45	103,239	2,294
	小川芋銭展	93/06/04	93/07/04	27	26,106	967
	現代の陶芸 1950－1990展	93/07/16	93/08/22	33	13,153	399
	安田靉彦展	93/09/03	93/10/17	39	43,003	1,103
	リール市美術館所蔵－バロック・ロココの絵画	93/10/29	94/01/16	63	47,042	747
	戸張孤雁と大正期の彫刻	94/01/25	94/03/06	36	7,996	222
	色彩の宇宙 クブカ展	94/03/18	94/05/08	45	33,652	748
	年度合計			288	274,191	952
	累 計			393	353,285	899
94年度	杉本健吉展	94/05/14	94/06/02	17	19,568	1,151
	シカゴ美術館展 －近代絵画の 100年－	94/06/10	94/07/24	38	89,204	2,348
	レジェ展	94/08/05	94/09/11	33	22,793	691
	聖なるかたち 後期ゴシックの木彫と板絵 －アーヘン市立ズエルモント＝ルードヴィヒ美術館所蔵	94/09/23	94/11/03	37	27,976	756
	没後20年 香月泰男展	94/11/18	95/01/16	46	27,164	591
	アンドリュウ・ワイエス展－アメリカの郷愁 心の風景を描く	95/02/03	95/04/02	51	120,177	2,356
	年度合計			222	306,882	1,382
	累 計			615	660,167	1,073
95年度	ウィーンのジャポニスム	95/04/11	95/05/14	30	27,803	927
	フランツ・ゲルチュ	95/05/26	95/07/02	33	22,392	679
	還流－日韓現代美術展	95/07/14	95/09/03	45	25,072	557
	ウィンザー城王立図書館所蔵 レオナルド・ダ・ヴィンチ人体解剖図	95/09/15	95/10/15	27	68,439	2,535
	表現主義彫刻	95/10/27	96/01/15	64	12,428	194
	リチャード・マイヤーとフランク・ステラー建築と絵画の接点	96/02/02	96/04/07	57	16,599	291
	年度合計			256	172,733	675
	累 計			871	832,900	956
96年度	大英博物館所蔵イタリア素描展	96/04/19	96/05/26	33	30,973	939
	抽象表現主義展－アメリカ黄金期の絵画	96/07/26	96/09/16	46	19,005	413
	富岡鉄斎展－理想郷を語る	96/09/27	96/11/10	39	25,680	659
	北川民次展－愛と人間をえがく	96/11/22	97/01/26	51	28,789	565
	カンディンスキーとミュンター 愛と創造の日々 1901－1917	97/02/08	97/03/16	32	22,891	715
	没後50年 ボナール展	97/03/28	97/05/18	45	54,094	1,202
	年度合計			246	181,432	738
	累 計			1,117	1,014,332	908
97年度	理智と幻想のシュルレアリスト 北脇 昇展	97/05/30	97/07/13	39	15,951	409
	モダンデザインの父 ウィリアム・モリス展	97/07/25	97/08/31	33	54,835	1,662
	20世紀美術の冒険－セザンヌ、ファン・ゴッホから現在まで－ アムステルダム市立美術館コレクション展	97/09/12	97/11/03	46	31,750	690
	イタリア美術 1945－1995 －見えるものと見えないもの	97/11/14	98/01/15	48	16,739	349
	近代美術の100年－愛知県美術館コレクションの精華－	98/01/30	98/03/08	33	17,985	545
	川合玉堂展 －めぐりゆく季節－	98/03/20	98/05/05	41	70,936	1,730
	年度合計			240	208,196	868
	累 計			1,357	1,222,528	901
98年度	久野真・庄司達展－鉄の絵画と布の彫刻－	98/05/15	98/06/07	21	10,236	487
	ナイアガラを越えて… オルブライト＝ノックス美術館展 名画への誘い	98/06/19	98/08/02	39	66,342	1,701
	生誕100年記念 佐伯祐三展	98/08/16	98/09/27	37	39,972	1,080
	アルトゥング展	98/10/09	98/12/13	57	18,845	331
	没後50年 松本竣介展	99/01/08	99/02/21	39	24,551	630
	ブッサンとラファエッロ 借用と創造の秘密	99/03/05	99/04/11	33	13,387	406
	年度合計			226	173,333	767
	累 計			1,583	1,395,861	882
99年度	魔法の庭…詩とかたちのフーガ「ファウスト・メロッティ展」	99/04/23	99/06/13	45	13,614	303
	前田寛治の芸術 －詩情と造形－	99/07/02	99/08/22	45	14,851	330
	危機の時代と絵画 1930－1945	98/09/03	98/10/17	39	8,379	215
	生誕100年 関根正二展	99/10/29	99/12/12	39	22,719	583
	セザンヌ展	00/01/05	00/03/12	59	171,060	2,899
	年度合計			227	230,623	1,016
	累 計			1,810	1,626,484	899
00年度	レンブラント・フェルメールとその時代 アムステルダム国立美術館所蔵 17世紀オランダ美術展	00/04/07	00/06/18	63	104,226	1,654
	田中恭吉展	00/07/15	00/08/27	38	22,788	600
	加納光於展	00/09/15	00/11/05	45	11,606	258
	アメリカン・ドリームの世紀展	00/11/23	01/01/28	52	25,390	488
	岸田劉生展	01/02/09	01/04/01	45	38,752	861
	年度合計			243	202,762	834
	累 計			2,053	1,829,246	891

年 度	展 覧 会 タ イ ト ル	会 期		日数(日)	入場者(人)	一日平均(人)
01年度	メルツバッハー・コレクション展	01/04/13	01/05/27	39	47,245	1,211
	ロダンと日本	01/06/22	01/08/19	51	57,339	1,124
	バック ミンスター・フラー展	01/09/14	01/11/04	45	10,962	244
	ボンベイ展	02/02/08	02/04/07	51	101,367	1,988
	年度合計			186	216,913	1,166
	累 計			2,239	2,046,159	914
02年度	開館10周年記念 大英博物館所蔵フランス素描展	02/04/26	02/06/30	57	25,638	450
	開館10周年記念 韓国の色と光	02/07/26	02/09/23	52	10,652	205
	開館10周年記念 ミロ展	02/10/04	02/12/01	51	83,084	1,629
	開館10周年記念 中西夏之展	02/12/20	03/02/23	51	14,525	285
	年度合計			211	133,899	635
	累 計			2,450	2,180,058	890
03年度	菱田春草展	03/04/11	03/05/18	33	53,578	1,624
	戸谷成雄 森の襲の行方	03/06/06	03/07/27	45	12,934	287
	レオン・スピリアルート展	03/08/05	03/09/23	43	15,674	365
	空海と高野山	03/10/10	03/11/24	40	109,612	2,740
	中村彝の全貌展	04/01/06	04/02/29	48	20,004	417
	年度合計			209	211,802	1,013
	累 計			2,659	2,391,860	900
04年度	ベン・ニコルソン展	04/04/09	04/05/23	39	10,855	278
	野見山暁治展	04/06/04	04/07/19	40	7,310	183
	国吉康雄展	04/08/06	04/09/26	45	24,702	549
	木村定三コレクションによる熊谷守一展	04/10/08	04/12/05	51	17,555	344
	自然をめぐる千年の旅	05/03/11	05/05/08	51	63,052	1,236
	年度合計			226	123,474	546
	累 計			2,885	2,515,334	872
05年度	アジアの潜在力 -海と島が育んだ美術-	05/05/24	05/07/10	42	8,109	193
	ゴッホ美術館、クレラー＝ミュラー美術館所蔵作品による ゴッホ展 -孤高の画家の原風景-	05/07/26	05/09/25	54	423,745	7,847
	生誕100年記念 吉原治良展	05/12/16	06/02/26	57	12,651	222
	江戸絵画 -小世界を愉しむ-	06/03/10	06/05/07	63	14,260	226
	木村定三コレクションの近世絵画					
	年度合計			216	458,765	2,124
	累 計			3,101	2,974,099	959
06年度	愛知曼陀羅 -東松照明の原風景-	06/06/02	06/07/23	45	18,181	404
	愉しき「家」	06/08/04	06/10/01	51	13,831	271
	ベルシャ文明展	06/10/13	06/12/10	51	62,194	1,219
	ルソーの見た夢/ルソーに見る夢	06/12/20	07/02/12	42	35,389	842
	年度合計			189	129,595	685
	累 計			3,290	3,103,694	943
07年度	若冲と江戸絵画展	07/04/13	07/06/10	52	92,852	1,786
	20世紀美術の森	07/06/29	07/08/26	51	13,964	274
	サイクルとリサイクル	07/09/07	07/11/04	51	11,595	227
	ロートレック展	07/11/13	08/01/14	49	50,042	1,021
	年度合計			261	168,453	830
	累 計			3,551	3,272,147	921
08年度	杉本健吉展	08/04/04	08/06/01	51	16,721	328
	誌上のユートピア -近代日本の絵画と美術雑誌 1889～1915-	08/06/14	08/07/27	38	9,545	251
	ライオネル・ファイニンガー	08/10/17	08/12/23	58	12,693	209
	アンドリュース・ワイエス展 創造への道程	09/01/04	09/03/08	55	62,245	1,132
	年度合計			202	101,204	501
	累 計			3,753	3,373,351	898
09年度	アヴァンギャルド・チャイナ〈中国当代美術〉二十年	09/04/03	09/05/24	45	11,051	245
	生活と芸術 アーツ&クラフツ展 ウィリアム・モリスから民芸まで	09/06/12	09/08/16	57	35,338	619
	あいちトリエンナーレ2010 プレイベント 放課後のらっぱ 櫃田伸也とその教え子たち	09/08/28	09/10/25	51	13,702	268
	日本の自画像 写真が指く戦後 1945～1964	09/11/06	09/12/13	33	10,580	320
	大ローマ展	10/01/06	10/03/22	65	128,496	1,976
	年度合計			251	199,167	793
	累 計			4,004	3,572,518	892
10年度	小川芋銭と珊瑚会の画家たち	10/04/09	10/05/23	39	8,607	220
	あいちトリエンナーレ2010	10/08/21	10/10/31	72	300,878	4,179
	レンバツハハウス美術館所蔵 カンディンスキーと青騎士	11/02/15	11/04/17	54	22,647	419
	年度合計			165	332,132	2,013
	累 計			4,169	3,904,650	937
11年度	麻生三郎	11/04/29	11/06/12	39	9,532	244
	棟方志功 祈りと旅	11/07/09	11/09/04	50	51,966	1,039
	島田章三展	11/09/16	11/10/30	39	10,881	279
	生誕100年 ジャクソン・ポロック展	11/11/11	12/01/22	58	42,531	733
	年度合計			186	114,910	618
	累 計			4,355	4,019,560	923
12年度	魔術／美術	12/04/13	12/06/24	63	26,637	423
	マックス・エルンスト-フィギュア×スケープ	12/07/13	12/09/09	51	18,148	356
	生誕150年記念クリムト 黄金の騎士をめぐる物語	12/12/21	13/02/11	41	82,214	2,005
	円山応挙展	13/03/01	13/04/14	39	73,022	1,872
	年度合計			194	200,021	1,164
	累 計			4,549	4,219,581	1,043

2012年度企画展開催状況

「魔術／美術 幻視の技術と内なる異界」展

会 期：2012年4月13日(金)～6月24日(日) [63日間]
主 催：愛知県美術館、岐阜県美術館、三重県立美術館、中日新聞社
後 援：愛知県教育委員会、名古屋市教育局
担 当：中村史子、中西園子
休 館 日：毎週月曜日（ただし4月30日〔月・祝〕は開館）、5月1日（火）
観 覧 料：一般900（700）円、高校・大学生600（400）円、中学生以下無料
*（ ）内は前売り、及び20名以上の団体料金

出 品 点 数：148点

入 場 者 数：26,637人（一日平均423人）

内容と結果：

本展は、愛知・岐阜・三重の3県立美術館の協同企画、第6回目として開催された展覧会である。企画構成にあたり、美術における様々な要素を近代的な知の体系とは異なる「魔術」というテーマの下に集め、通常とは異なる文脈で各館の所蔵作品を紹介した。当館の木村定三コレクション、岐阜県美術館の象徴主義の作品群、三重県立美術館の現代美術作品など、それぞれの館の特徴あるコレクションを活かしたテーマ設定は、専門家からの評価も高く、今後の美術館の企画展のあり方について一つの可能性を示すことができた。また、広報ターゲットを絞ったことにより、若年層や普段あまり当館を利用しない人々にも多く来場していただくことができた。

展覧会カタログ：

A4判変形（23.0cm×18.2cm） 96ページ

編 集：中村史子、中西園子（愛知県美術館）

デザイン：見増勇介（intext）

印 刷：光村印刷

発 行：愛知県美術館、中日新聞社

関連事業：

1 記念講演会（参加人数 200名）

場 所：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

日 時：2012年6月2日（土）13：30～15：00

講 師：平野啓一郎（作家）

演 題：「想像力と創造力」

2 ギャラリートーク（学芸員による展示説明会）

第1回（参加人数 30名）

場 所：愛知県美術館展示室（愛知芸術文化センター10階）

日 時：2012年4月21日（土）11：00～11：40

講 師：中西園子（学芸員）

第2回（参加人数 40名）

場 所：愛知県美術館展示室（愛知芸術文化センター10階）

日 時：2012年4月27日（金）11：00～11：40

講 師：中村史子（学芸員）

第3回（参加人数 50名）

場 所：愛知県美術館展示室（愛知芸術文化センター10階）

日 時：2012年5月5日（土・祝）11：00～11：40

講 師：中西園子（学芸員）

第4回（参加人数 40名）

場 所：愛知県美術館展示室（愛知芸術文化センター10階）

日 時：2012年5月26日（土）11：00～11：40

講 師：中西園子（学芸員）

第5回（参加人数 50名）

場 所：愛知県美術館展示室（愛知芸術文化センター10階）

日 時：2012年6月9日（土）11：00～11：40

講 師：中村史子（学芸員）



第6回（参加人数 50名）

場 所：愛知県美術館展示室（愛知芸術文化センター10階）

日 時：2012年6月15日（金）18：30～19：00

講 師：中村史子（学芸員）

3 友の会会員のための特別鑑賞会

場 所：アートスペースEF（愛知芸術文化センター12階）

愛知県美術館展示室（愛知芸術文化センター10階）

日 時：2012年4月19日（木）

午前の部 10：00～12：00（参加人数 20名）

担 当：中西園子（学芸員）

午後の部 17：00～19：00（参加人数 20名）

担 当：中村史子（学芸員）

4 ロビーコンサート（参加人数 140人）

場 所：愛知県美術館ロビー（愛知芸術文化センター10階）

日 時：2012年5月26日（土）14：00～15：00

演奏者：モーツァルト200メモリアル

5 チャリティーコンサート（参加人数 120名）

場 所：愛知県美術館ロビー（愛知芸術文化センター10階）

日 時：2012年5月27日（日）15：00～16：00

演奏者：愛知芸術文化協会グループ「てな」

募 金：38,350円

全国美術館会議の「東日本大震災救援・支援募金」へ送金した。

関連記事：

- ・中村 史子 「シャルル・メリヨン《ル・プティ・ポン》」『中日新聞』朝刊2012年4月29日
- ・中西 園子 「中澤英明《子供の顔ークマ》」『中日新聞社』朝刊 2012年4月30日
- ・宮川まどか 「美術館の連携」『中日新聞』夕刊 2012年5月12日
- ・高橋 昌宏 「鑑賞者惑わす『魔術／美術』展」『朝日新聞』夕刊 2012年5月19日
- ・（無記名） 「美術館作品の魔術的要素を紹介 だまし絵や能面など展示」『日本経済新聞』夕刊 2012年5月19日
- ・（無記名） 「魔女と王子が『魔術的』作品展に」『中日新聞』朝刊 2012年5月21日
- ・浅野 和生 「美術評：『魔術／美術 幻視の技術と内なる異界』展」『中日新聞』朝刊 2012年5月29日
- ・（無記名） 「平野啓一郎さんが『想像力』など語る」『中日新聞』朝刊県内版 2012年6月3日



- ・山田 泰生 「見慣れた作品 違う顔—魔術／美術 幻視の技術と内なる異界」『毎日新聞』朝刊 2012年6月6日
- ・高野 清見 「美術：『魔術／美術』展」『読売新聞』朝刊 2012年6月14日
- ・（無記名） 「古今東西アートの神秘 魔術／美術」『読売新聞』朝刊 2012年6月21日
- ・宮川まどか 「異界探訪① サブカルチャーと若者」『中日新聞』朝刊 2012年8月7日
- ・木村絵理子 「REVIEW：魔術／美術 幻視の技術と内なる異界」『REAR』no.28 2012年10月10日
- ・馬場 俊吉 「（インタビュー）「愛知芸術文化センターの20年とこれから」『AAC』75号 2013年3月
- ・中村英樹・清水裕之（聞き手：高橋昌宏）「愛知芸術文化センター開館20年」『朝日新聞』朝刊 2012年10月23日

「マックス・エルンストーフィギュア×スケープ」展

会 期：2012年7月13日(金)～9月9日(日) [51日間]
主 催：愛知県美術館、日本経済新聞社、テレビ愛知、「マックス・エルンストーフィギュア×スケープ」展実行委員会
後 援：愛知県・岐阜県・三重県・名古屋市各教育委員会、大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館、フランス大使館、米国大使館
助 成：財団法人地域創造
協 力：日本航空
担 当：副田一穂、大島徹也、塩津青夏
休 館 日：毎週月曜日（ただし7月16日〔月・祝〕は開館）、7月17日（火）
観 覧 料：一般1,200（1,000）円、高校・大学生900（700）円、中学生以下無料
＊（ ）内は前売り、及び20名以上の団体料金

出 品 点 数：212点

入 場 者 数：18,148人（一日平均356人）

展覧会巡回先：横浜美術館：2012年4月7日(土)～6月24日(日) (26,721人)
宇都宮美術館：2012年10月28日(日)～12月16日(日) (4,799人)

内容と結果：

本展は、シュルレアリスムを代表する画家のひとり、マックス・エルンスト（1891-1976年）の個展である。油彩画、彫刻、コラージュ、版画、書籍と多岐にわたるエルンストの表現を、画面に登場する像（フィギュア）と、その背景となる場（スケープ）との相補的な関係という観点から紹介した。

国内各地に所蔵されるエルンスト作品を高い割合で借用し、さらに財団法人地域創造の助成を得て海外の主要なコレクションから重要な作品を加えた、212点で展示を構成した。関連事業としては、開催三館による連続シンポジウム、ギャラリートー

ク、ワークショップを実施し、多くの参加者を得た。

本展の総入場者数は目標を大きく下回ったが、開催三館の学芸員による共同調査の成果としての学術性の高い展示構成は、専門家から高い評価を受けた。

展覧会カタログ：

B5判変形（26.0cm×18.7cm） 222ページ

編 集：「マックス・エルンストーフィギュア×スケープ」
展実行委員会

デザイン：福岡泰隆

発 行：「マックス・エルンストーフィギュア×スケープ」
展実行委員会

関連事業：

1 パネルディスカッション（参加人数：68名）

日 時：2012年7月28日（土）13：00～16：00

場 所：アーツスペースA（愛知芸術文化センター 12階）

タイトル：「フィギュアを支える世界—エルンストのスケープ」

ゲスト・パネリスト：齊藤哲也（明治学院大学准教授）

登壇者：中村尚明（横浜美術館主任学芸員）、石川潤（宇都宮美術館主任学芸員）

パネリスト・司会進行：副田一穂

2 ワークショップ「こすって・きって、キャラクターのつくりかた」（参加人数：25名）

日 時：2012年8月4日（土）13：00～17：00

場 所：アートルボあいち

共 催：あいちトリエンナーレ実行委員会、オフィス・マッ
チング・モウル

3 ギャラリートーク（学芸員による展示説明会）

第1回（参加人数：30名）

日 時：2012年7月21日（土）11：00～11：40

場 所：美術館展示室（愛知芸術文化センター 10階）

講 師：副田一穂（学芸員）



第2回（参加人数：25名）

日 時：2012年7月27日（金）18：30～19：10

場 所：美術館展示室（愛知芸術文化センター 10階）

講 師：塩津青夏（学芸員）

第3回（参加人数：32名）

日 時：2012年8月4日（土）11：00～11：40

場 所：美術館展示室（愛知芸術文化センター 10階）

講 師：大島徹也（学芸員）

第4回（参加人数：25名）

日 時：2012年8月11日（土）11：00～11：40

場 所：美術館展示室（愛知芸術文化センター 10階）

講 師：副田一穂（学芸員）

第5回（参加人数：30名）

日 時：2012年8月25日（土）11：00～11：40

場 所：美術館展示室（愛知芸術文化センター 10階）

講 師：塩津青夏（学芸員）

第6回（参加人数：49名）

日 時：2012年8月31日（金）18：30～19：10

場 所：美術館展示室（愛知芸術文化センター 10階）

講 師：大島徹也（学芸員）

4 友の会会員のための特別鑑賞会

日 時：2012年7月19日（木）

場 所：アトスペースEF（愛知芸術文化センター 12階）

および美術館展示室（愛知芸術文化センター 10階）

午前の部 10：00～11：30（参加人数：29名）

担 当：副田一穂（学芸員）

午後の部 17：30～19：00（参加人数：29名）

担 当：副田一穂（学芸員）

5 友の会講座「エルンスト展をマックスに愉しむために」

（参加人数：26名）

日 時：2012年7月22日（日）13：30～15：00

場 所：アトスペースA（愛知芸術文化センター 12階）

講 師：副田一穂（学芸員）



- ・（無記名） 「愛知県美術館開館20周年記念「マックス・エルンスト」9月9日まで公開中」『奥様ジャーナル』2012年7月20日第1703号
- ・松下 智子 「友の会講座『エルンスト展をマックスに愉しむために』愛知県美術館 副田一穂学芸員」『美術館友の会会報「空中回廊」』2012年9月第35号
- ・村松 和明 「展評」『岡崎市美術博物館ニュース「アルカディア」』2012年10月第54号
- ・伊藤剛×中田健太郎 「絵画的マンガ論のほうへ」『ユリイカ12月臨時増刊号「総特集 永野護」』

関連記事：

- ・（無記名） 「窓」『日本経済新聞』2012年7月13日朝刊社会面
- ・天野 一夫 「確定せず、変容し続ける造形」『日本経済新聞』2012年8月23日夕刊文化面

「生誕150年記念 クリムト 黄金の騎士をめぐる物語」展

会 期：2012年12月21日(金)～2013年2月11日(月・祝)
主 催：愛知県美術館、中日新聞、東海テレビ
後 援：オーストリア大使館／オーストリア文化フォーラム、
ウィーン市観光局、ウィーン在日代表部、愛知県・
岐阜県・三重県・名古屋市各教育委員会

特別協賛：東海東京証券

協 賛：トヨタ自動車、アイシン・エイ・ダブリュ

担 当：古田浩俊、森美樹、中西園子

休 館 日：毎週月曜日(ただし、1月14日[月・祝]、2月11日
[月・祝]は開館)、12月25日(火)、1月15日(火)、
年末年始(12月28日-1月2日)

観 覧 料：一般1,300(1,100)円、高大生1,000(800)円 中
学生以下無料
()内は前売り、及び20名以上の団体料金

出 品 点 数：208点

入 場 者 数：82,214人 (一日平均2,005人)

展覧会巡回先：長崎県美術館 2013年2月22日～4月7日(18,579
人)
宇都宮美術館：2013年4月21日～6月2日(18,968
人)

内容と結果：

愛知県美術館20周年記念の独自企画の展覧会。当館のコレク
ションの中でも代表作である《人生は戦いなり(黄金の騎士)》
の制作経緯、作品の背景、様々な影響関係などを、同時代の
ウィーン分離派・ウィーン工房の活動、日本の工芸品などとも
に検証した。またストックレー・フリーズというクリムトの
真骨頂の装飾壁画は、下絵複製であったが、実際に展示されて
いる邸宅の空間に出来るだけ近づけるような形で展示した

関連事業は若い人へのアピールを考慮し、ファッションデザ
イナーの小篠ゆま氏を講師に迎え、2012年に発表された「Klimt
Gold」コレクションや、ファッションデザイナーから見たクリ

ムトの魅力について語る記念講演会を開催した。

当館の代表作に関する、研究で明らかになった新たな情報を
提供することもでき、開館20周年にふさわしい意義深い展覧会
となった。

展覧会カタログ：

A4変形(24.5×20.5cm) 276ページ

編 集：愛知県美術館、長崎県美術館、宇都宮美術館、中
日新聞社

制 作：コギト

発 行：中日新聞社

関連事業：

1 記念講演会 (参加人数 180名)

場 所：アートスペースA(愛知芸術文化センター12階)

日 時：2013年1月13日(日)13:30～15:00

講 師：小篠ゆま

演 題：「クリムトの現代性—『Klimt Gold』2012-13秋冬コ
レクションより」

2 スライドトーク(学芸員による展示説明会)

第1回 (参加人数 48名)

場 所：アートスペースEF(愛知芸術文化センター12階)

日 時：2013年1月11日(金)18:30～19:10

講 師：古田浩俊(企画業務課長)

第2回 (参加人数 60名)

場 所：愛知県美術館展示室(愛知芸術文化センター12階)

日 時：2013年1月19日(土)11:00～11:40

講 師：森美樹(学芸員)

第3回 (参加人数 66名)

場 所：アートスペースEF(愛知芸術文化センター12階)

日 時：2013年1月26日(土)11:00～11:40

講 師：中西園子(学芸員)

第4回 (参加人数 70名)

場 所：アートスペースEF(愛知芸術文化センター12階)

日 時：2013年2月3日(日)11:00～11:40

講 師：古田浩俊(企画業務課長)



3 友の会会員のための特別鑑賞会

場 所：アートスペースEF（愛知芸術文化センター 12階）

日 時：2013年1月10日（木）

午前の部 10：00～12：00（参加人数27名）

担 当：中西園子（学芸員）

午後の部 17：00～19：00（参加人数26名）

担 当：古田浩俊（企画業務課長）

4 ラウル・ルイス『クリムト』上映会（参加人数 82名）

場 所：アートスペースA（愛知芸術文化センター 12階）

日 時：2012年12月16日（日）13：30～

主 催：文化情報センター（第17回アートフィルム・フェスティバル）

5 ウィーン・ガラ・コンサート（参加人数 300名）

場 所：愛知芸術文化センター 10階フォーラム

日 時：2013年1月27日（日）14：00～15：00

お 話：中村ゆかり

演奏者：波馬朝加（ヴァイオリン）、柴田祐太（オーボエ）、
金澤みなつ（ピアノ）

主 催：愛知芸術文化センター、クリムト展実行委員会



2013年1月11日

- ・新見 隆 「ヨーゼフ・ホフマンのデザインによるベルトのバックル」『中日新聞』朝刊 2013年1月12日
- ・「黄金の騎士 ミステリー」『中日新聞』夕刊 2013年1月15日
- ・山田 泰生 「芸術食堂 蛇は抵抗勢力を象徴」『毎日新聞』朝刊 2013年1月16日
- ・天野 一夫 「寓意と装飾の格闘」『日経新聞』2013年1月17日
- ・石屋 法道 「クリムト展 心惑わす異空間」『中日新聞』夕刊 2013年1月18日
- ・千足 伸行 「『クリムト 黄金の騎士をめぐる物語』展に寄せて 美の理想へ力強い歩み」『中日新聞』夕刊 2013年1月18日
- ・「装飾的絵画の世界」『読売新聞』朝刊 2013年1月24日
- ・古田 浩俊 「生誕150年 クリムト 黄金の騎士をめぐる物語」『AAC』vol.74 2012年冬号、pp.1-2

関連記事：

- ・「グスタフ・クリムトとその時代 生誕150年に合わせて黄金期学ぶ 成城大名誉教授 千足伸行さん」『中日新聞』夕刊 2012年8月21日
- ・「カレー黄金の騎士の味!? クリムト展ちなみレトルト開発」『中日新聞』朝刊 2012年12月14日
- ・南川三治郎 「生誕150年記念 クリムト 黄金の騎士をめぐる物語 クリムトは生きている」『中日新聞』2012年12月20日
- ・「日本初公開作も搬入 県美術館 クリムト展、21日から」『中日新聞』朝刊 2012年12月18日
- ・「黄金の騎士 いざ出陣 名古屋、クリムト展が開幕」『中日新聞』朝刊 2012年12月21日
- ・栗田 秀法 「ふたりの少女と西洋夾竹桃」『中日新聞』朝刊 2013年1月7日
- ・城戸真亜子 「赤子（揺りかご）」『中日新聞』朝刊 2013年1月9日
- ・高橋 昌宏 「美の履歴書287『人生は戦いなり（黄金の騎士）』何と戦うのか」『朝日新聞』夕刊 2013年1月9日
- ・中山 忠彦 「着物を着て立つ女」『中日新聞』朝刊 2013年1月10日
- ・小篠 ゆま 「ストックレー・フリーズ」『中日新聞』朝刊

「円山応挙展 ―江戸時代絵画 真の実力者―」

会 期：2013年3月1日(金)～4月14日(日) [39日間]
主 催：愛知県美術館、中日新聞社
後 援：愛知県・岐阜県・三重県・名古屋市各教育委員会
特別協力：レクサス販売店
照明協力：パナソニック
担 当：深山孝彰、平井啓修
休 館 日：毎週月曜日
観 覧 料：一般1,300 (1,100) 円 高校・大学生1,000 (800) 円
中学生以下無料
* () 内は前売り及び20名以上の団体料金
出 品 点 数：絵画77点 (うち応挙63点、他の画家14点)、文書4点、
計81点
入 場 者 数：73,022人 (一日平均1,872人)

内容と結果：

江戸時代中期、18世紀の京都画壇において圧倒的な支持を得ていた円山応挙。本展では「写生」という常套的な応挙観にとどまらず、「リアルに見える」ことに傾注した実験的制作や、中国絵画からの写実技法学習、三次元的な対象把握、また大胆軽妙な筆遣いとリアリティを両立させデザイン性や様式美にも優れた技量といった面を積極的に紹介した。出品作は国宝・重文を含む代表作に展覧会初公開となる作品も多く加え、特に障壁画では兵庫県大乘寺客殿二間の空間を再現展示して、現実空間と画面構成とを合致させて相乗効果を生む応挙の特質を体感できるものとした。また最終章では応挙の流れを受けた明治以降の画家たちの作品も合わせて、近代日本画の誕生を準備した応挙の新しさと影響力を示した。

巡回なしの単独館開催であることで優れた作品を一堂に会させることができ、来館者からは高い満足が示され、専門家からも新たな応挙像を提示した展覧会との評価が寄せられた。

展覧会カタログ：

A4判変形 (30.0×22.7cm) 236ページ

編 集：愛知県美術館、中日新聞社

執 筆：山下裕二、馬淵美帆、深山孝彰、平井啓修、佐藤
晃子

制 作：ニューカラー写真印刷株式会社

発 行：円山応挙展実行委員会

関連事業：

1 記念講演会

第1回 (参加人数 211名)

場 所：アートスペースA (愛知芸術文化センター 12階)

日 時：2013年3月3日 (日) 13:30～15:00

講 師：山下裕二 (明治学院大学教授)

演 題：「円山応挙 正統派の逆襲」

第2回 (参加人数 180名)

場 所：アートスペースA (愛知芸術文化センター 12階)

日 時：2013年3月30日 (土) 13:30～15:00

講 師：山嵜真應 (大乘寺副住職)

演 題：「空を描く」

2 スライドトーク (学芸員による説明会)

場所は4回ともアートスペースEF (愛知芸術文化センター 12階)

第1回：2013年3月9日 (土) 11:00～11:40 平井啓修 (学芸員) 55名

第2回：2013年3月16日 (土) 11:00～11:40 深山孝彰 (美術課長) 61名

第3回：2013年3月22日 (金) 18:30～19:00 深山孝彰 (美術課長) 58名

第4回：2013年4月6日 (土) 11:00～11:40 深山孝彰 (美術課長) 40名

3 美術館友の会会員のための特別鑑賞会

場 所：アートスペースEF (愛知芸術文化センター 12階) 及び展覧会場

日 時：2013年3月14日 (木)

午前の部 10:00～11:30 講師：深山孝彰 34名

午後の部 17:30～19:00 講師：深山孝彰 33名



4 学校の先生方との鑑賞学習交流会

場 所：アートスペースA（愛知芸術文化センター 12階）
日 時：2013年 3 月 2 日（土）14：00～14：30
講 師：深山孝彰 80名

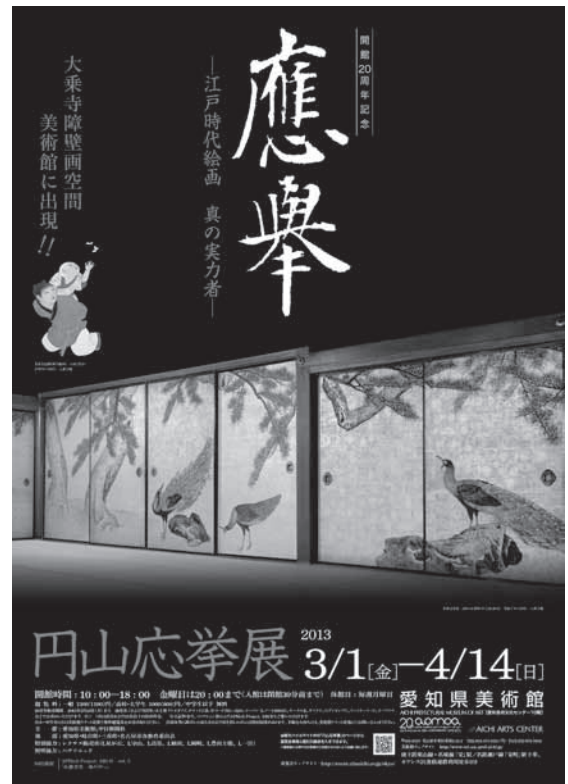
5 レクサスプレミアム鑑賞会

場 所：アートスペースA（愛知芸術文化センター 12階）
第1回（2部構成）：2013年 3 月 6 日（水）18：00～20：00
講師：深山孝彰 296名
第2回（2部構成）：2013年 3 月 7 日（木）18：00～20：00
講師：深山孝彰 276名

関連記事：

【新聞】

- ・黒谷 正人 「1日開幕の円山応挙展 客殿を忠実に再現 障壁画空間が完成」『中日新聞』2013年 2 月27日
- ・（無記名） 「障壁画空間再現 応挙展が始まる 愛知県美術館」『中日新聞』2013年 3 月 5 日
- ・蜘蛛 美鶴 「現実空間との連続性を意識 応挙展で山下教授講演」『中日新聞』2013年 3 月 1 日
- ・宮川 匡司 「「写生」を超えた実験精神「円山応挙展」」『日本経済新聞』2013年 3 月 6 日朝刊
- ・は な 「《竹狗子図》」『中日新聞』2013年 3 月 7 日 愛知県内版
- ・田淵 俊夫 「《雪松図屏風》」『中日新聞』2013年 3 月 8 日 愛知県内版
- ・平井 啓修 「《松に孔雀図》」『中日新聞』2013年 3 月10 日 愛知県内版
- ・宮川 匡司 「円山応挙展「写生」を超えた実験精神」『日本経済新聞』電子版 2013年 3 月12日
- ・山田 泰生 「円山応挙展 国宝など70点」『毎日新聞』2013年 3 月14日
- ・（無記名） 「レクサス車体に円山応挙の映像 芸文センター展示」『中日新聞』2013年 3 月14日
- ・高橋 昌宏 「リアルさへのこだわり 円山応挙展」『朝日新聞』2013年 3 月19日
- ・馬淵 美帆 「応挙の“新しさ”に焦点 実験的作品集める 近代日本画へと継承」『中日新聞』2013 年 3 月22日夕刊
- ・浅野 和生 「照明で実感的体験 円山応挙展」『中日新聞』2013年 3 月26日
- ・黒谷 正人 「円山応挙展 色のミラクル ここは江戸」『中日新聞』2013年 3 月29日夕刊
- ・竹田 佳彦 「応挙展に傑作屏風 40代作品 フジの花



立体的に」『中日新聞』2013年 4 月 3 日

- ・八木さゆり 「円山応挙の神髄 空間表現に焦点 81点紹介」『読売新聞』2013年 4 月11日

【雑誌その他定期刊行物】

- ・深山 孝彰 「円山応挙展」『AAC』74（2012年12月）
- ・深山 孝彰 「イチオシ！展覧会 円山応挙展」『月刊 水墨画』288（2013年 3 月）
- ・渡辺倫明・高木史郎 「円山応挙、何者ぞ?」『和楽』136（2013年 3 月）
- ・（無記名） 「開館20周年記念 円山応挙展」『新美術新聞』1306（2013年 3 月11日）
- ・山下 裕二 「体感！日本美術 円山応挙「松に孔雀図」」『禅の友』764（2013年 4 月）

【テレビ】

- ・[NHK Eテレ]「日曜美術館 アートシーン」2013年 3 月 17日

【ラジオ】

- ・[東海ラジオ]「天野良春「リアル」—ものづくりの美—」2013年 3 月 9 日

3 教育普及

2012年度の教育普及事業実施状況

美術館では、社会の多様な要望に応えるため、教育普及事業の充実に努めてきた。講演会や作品解説会については、館内で行うギャラリートークなどのほか、県内市町村へ出向いて講演会などを開催する県政お届け講座の一環として「出前講座」を実施した。また、教育現場との連携では、「鑑賞学習交流会」のほか、「鑑賞学習ワーキンググループ（研究会）」を開催した。子供対象の教育プログラムでは、夏休み子ども鑑賞会として、小中学生向けには「え！るんるん」を開催し、高校生向けには「フロタージュとコラージュでシュールしよう」を開催した。また同時期に、幼児向けの鑑賞会および造形ワークショップ「そら、とべるかな？」を開催した。友の会との連携では、会員向け特別鑑賞会などを開いた一方、友の会からは、企画展の広報や所蔵作品の保存備品作成作業、モニター協力などの支援を受けた。

また、昨年度に引き続き文化庁の助成を受けて、2012年度は、視覚に障がいのある児童・生徒向けワークショップを開催した。また、県内の美術館の協力を得て、視覚に障がいのある児童・生徒向けの鑑賞冊子（点字本）を作成した。さらに、鑑賞ツールを制作し、鑑賞冊子（点字本）と併せて県内の盲学校に配布した。また2011年度に引き続き、鑑賞学習補助ツールを県内小中学校に追加配付した。

出版・発行

企画展に関するもの

○「魔術／美術 幻視の技術と内なる異界」展

カタログ

A4判変形（23.0cm×18.2cm） 96ページ

編集 中村史子、中西園子（愛知県美術館）

デザイン 見増勇介（intext）

印刷 光村印刷

発行 愛知県美術館、中日新聞社

第1章：知覚の操作と謎かけ

「コレクションの魔力」 中村史子

「合理化に宿る神秘—ルネサンスを解釈する美術—」 中西園子

第2章：現実を越える想像力

「エンドルフィン型アート／ドーパミン型アート」 中島智

「現実を越える想像力」 唄邦弘

「モダニズム都市と幻想—昭和初期のイメージとテキストから—」 小澤京子

「現代日本の魔女」 石田美紀

「セカイとワタシのファッション」 藍田祐史

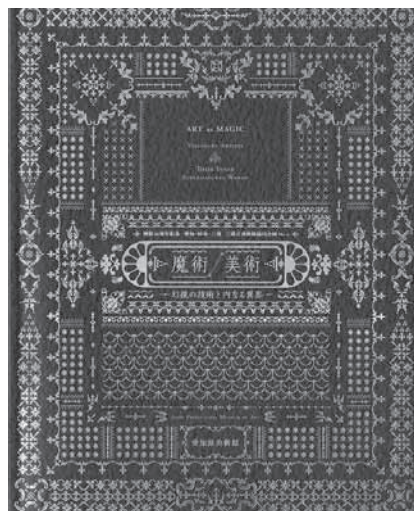
第3章：現代の魔法使いたち

「他者の方法論を取り込むこと」 中西園子

「日常の深化論」 中村史子

出品リスト

鑑賞ガイド〔作家作品解説〕 A3二つ折り



魔術美術展カタログ表紙

○「マックス・エルンスト—フィギュア×スケープ」展

カタログ

B5判変形（26.0cm×18.7cm） 222ページ

編集「マックス・エルンスト—フィギュア×スケープ」展実行委員会

デザイン 福岡泰隆

発行「マックス・エルンスト—フィギュア×スケープ」展実行委員会

「マックス・エルンストの『フィギュアスケープ』をめぐるノート」 中村尚明

「偽史としてのフィギュア×スケープ」 副田一穂

第1章：フィギュアの誕生1909–1927

第2章：採掘された「フィギュアスケープ」1925–1952

第3章：フィギュアの再訪 1950–1975

年譜

出品一覧

鑑賞ガイド〔作家作品解説〕 B4二つ折り



エルンスト展カタログ表紙

○「クリムト 黄金の騎士をめぐる物語」展

カタログ

A 4 変形 (24.5×20.5cm) 276ページ

編集 愛知県美術館、長崎県美術館、宇都宮美術館、中日新聞社

制作 コギト

発行 中日新聞社

「黄金の騎士をめぐる物語」 古田浩俊

I 闘いへのプレリュード—ウィーン工芸美術学校入学から分離派結成へ

「分離派」 川口佳子

II 黄金の騎士をめぐる物語—ウィーン大学大講堂の天井画にまつわるスキャンダルから「黄金の騎士」誕生へ

「ウィーン工房」 橋本優子

「クリムトとヴィトゲンシュタイン」 森美樹

「《人生は戦いなり(黄金の騎士)》におけるジャポニズム」 森美樹

III 勝利のノクターン—クンスト Schau 開催から新たな様式の確立へ

「クリムトの《黄金の騎士》と1903年前後に描かれた寓意画」 マリアン・ビザンツ＝ブラッケン

「『かつて画家の絵筆が描き出した最も不快で嘔吐をもよおすフォルムと事物』グスタフ・クリムトのベートーヴェン・フリーズ」 シュテファン・コーヤ

「『日本』(ジャポン)—グスタフ・クリムトの『ジャポニズム』」 ヨハネス・ヴィーニンガー

年譜 シュテファン・コーヤ

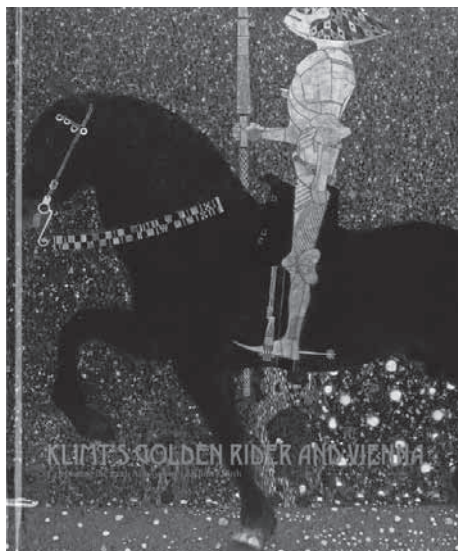
主要作家略歴

グスタフ・クリムトに関する主要参考文献

出品作品リスト

鑑賞ガイド〔作家作品解説〕A 3 二つ折り

作品リスト 三つ折り (297×628mm)



クリムト展カタログ表紙

○「円山応挙展 江戸時代絵画 真の実力者—」

カタログ

A 4 判変形 (30.0×22.7cm) 236ページ

編集 愛知県美術館、中日新聞社

制作 ニューカラー写真印刷株式会社

発行 円山応挙展実行委員会

「真の実力者・円山応挙—日本絵画史上、最大の結節点としての」 山下裕二

「応挙画を考える—その日本絵画史における“新しさ”とは？」

馬淵美帆

「応挙プロデュース、大乘寺客殿について」 平井啓修

第一章「リアルに見えること」の追求

第二章「伝統としての写実」

第三章「現実空間との連続性=トリックアート」

第四章「技法への革新」

終章「応挙画はなぜ好かれ／嫌われたのか？」

作品解説

円山応挙参考文献—もっと深く応挙を知るために—佐藤晃子
略年表

作品目録

鑑賞ガイド〔作家作品解説・作品リスト〕A 3 二つ折り



円山応挙展カタログ表紙

コレクション展に関するもの

○愛知県美術館 研究紀要 第19号

開館20周年記念号

B 5 変形 48ページ

編集 長屋菜津子

編集補助 村瀬可奈 佐野まなか

制作 栄印刷株式会社

発行 愛知県美術館

○鑑賞ガイド

「美しき日本の自然」展 A 3 二つ折り

○作品リスト

第1期 展示作品リスト A 3 二つ折り

第2期 展示作品リスト A 3 二つ折り

第3期 展示作品リスト A 3 二つ折り

第4期 展示作品リスト A 3 二つ折り

第5期 展示作品リスト A 3 二つ折り

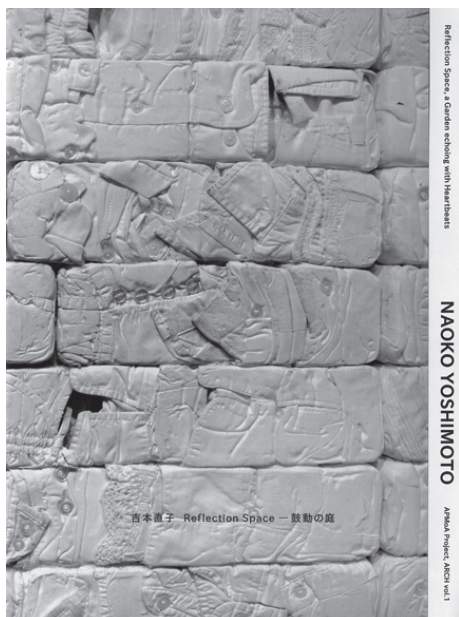
○ARCH

・「vol. 1 吉本直子 Reflection Space—鼓動の庭」パンフレット

B 4 判二つ折り 4 ページ

テキスト：森美樹「鼓動の庭—過去と現在の生命が交差する場所」

デザイン：藤本康一



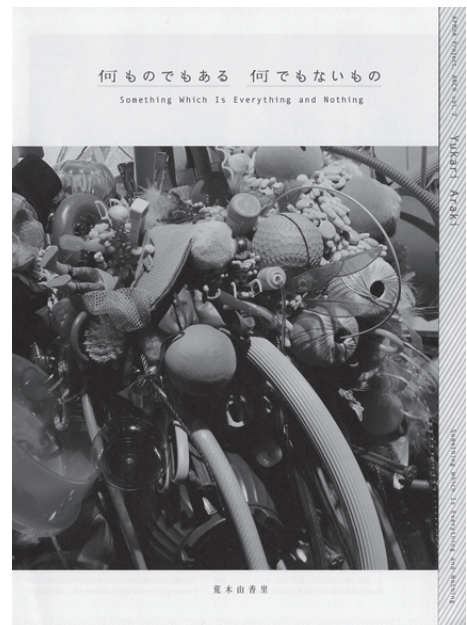
吉本展
パンフレット

・「vol. 2 荒木由香里 何ものでもある何でもないもの」パンフレット

B 4 判二つ折り 4 ページ

テキスト：村田真宏

デザイン：白澤真生 (OPENENDS)



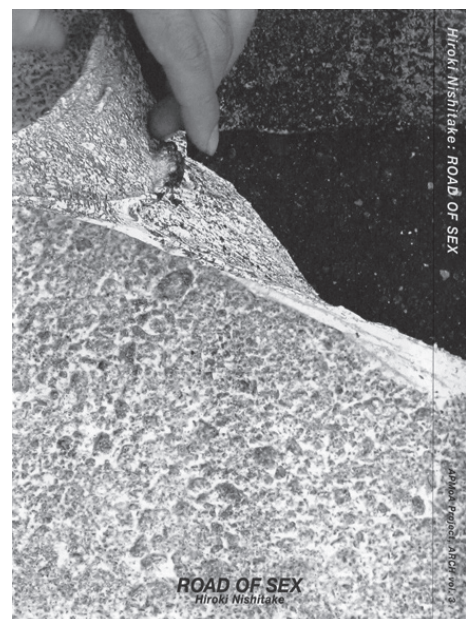
荒木展
パンフレット

・「vol. 3 西岳拡貴ROAD OF SEX」パンフレット

B 4 判 二つ折り 4 ページ

テキスト：塩津青夏「西岳拡貴の『ROAD OF SEX』—大地の皮膚を巻き取ること、誰かと深くつながること」

デザイン：青木乾高、大原慎也



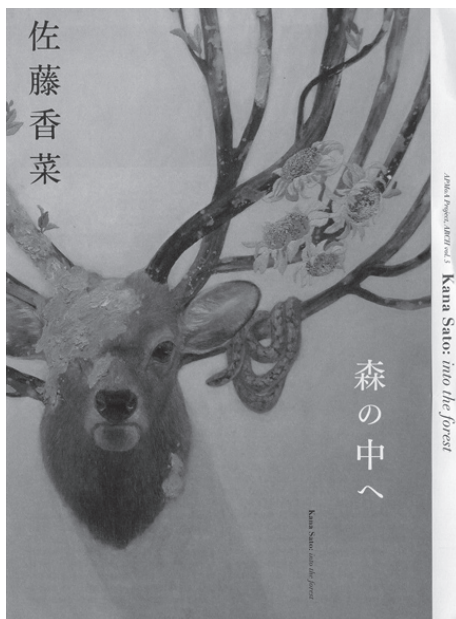
西岳展
パンフレット

- ・「vol. 4 奥村雄樹 善兵衛の目玉（宇宙編）」パンフレット
B4判 二つ折り4ページ
テキスト：副田一穂「意識は眼球に宿る、あるいは江戸時代の眼球譚」
デザイン：坂田希究



奥村展パンフレット

- ・「vol. 5 佐藤香菜—森の中へ」パンフレット
B4判 二つ折り4ページ
テキスト：大島徹也「佐藤香菜的絵画」
デザイン：伊藤敦志（AIRS）



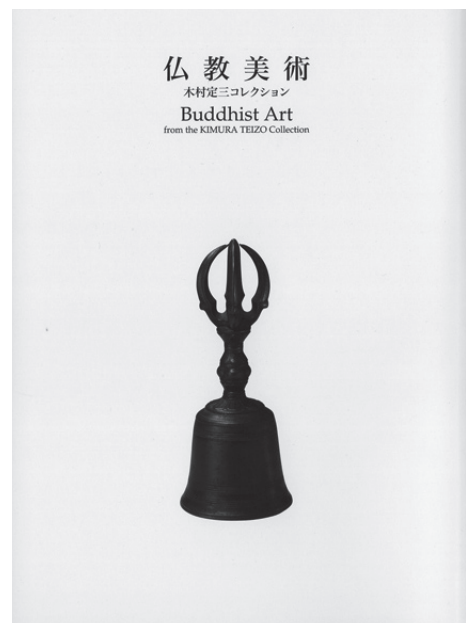
佐藤展パンフレット

○木村定三コレクション関係

- ・パンフレット
『須田剋太 木村定三コレクション』
- ・広報誌
『拝啓、木村定三さま』



- ・研究紀要
『愛知県美術館研究紀要第19号 木村定三コレクション編』
B5判64ページ
- ・分野別カタログ
『仏教美術』 B5判133頁



・ビデオ

『木村定三コレクション 鏡』

○愛知県美術館鑑賞学習補助ツール

「あいバック」アートカード・あいバックガイド

『びじゅつかんからやってきた さわるアートブック』(点字本)

立体絵画 グスタフ・クリムト《人生は戦いなり(黄金の騎士)》

素材体感ツール



パネルディスカッション
エルンスト展

講演会・シンポジウム・展示説明会等、関連イベント

企画展に関するもの

○「魔術/美術 幻視の技術と内なる異界」展

記念講演会

2012年6月2日(土) 13:30~15:00 200名

講師: 平野啓一郎(作家)

演題: 「想像力と創造力」



魔術美術展講演会

展示説明会

2012年4月21日(土) 11:00~11:40 30名

2012年4月27日(金) 11:00~11:40 40名

2012年5月5日(土・祝) 11:00~11:40 50名

2012年5月26日(土) 11:00~11:40 40名

2012年6月9日(土) 11:00~11:40 40名

2012年6月15日(金) 18:30~19:10 50名

○「マックス・エルンストーフィギュア×スケープ」展

パネルディスカッション

2012年7月28日(土) 13:30~16:00 68名

ゲスト・パネリスト: 齊藤哲也(明治学院大学准教授)

登壇者: 中村尚明(横浜美術館主任学芸員)、石川潤(宇都宮美術館主任学芸員)

パネリスト・司会進行: 副田一穂学芸員

演題「フィギュアを支える世界—エルンストのスケープ」

展示説明会

2012年7月21日(土) 11:00~11:40 30名

2012年7月27日(金) 18:30~19:10 25名

2012年8月4日(土) 11:00~11:40 32名

2012年8月11日(土) 11:00~11:40 25名

2012年8月25日(土) 11:00~11:40 30名

2012年8月31日(金) 18:30~19:10 49名

ワークショップ

「こすって・きいて、キャラクターのつくりかた」(参加人数: 25名)

日時: 2012年8月4日(土) 13:00~17:00

場所: アートラボあいち

共催: あいちトリエンナーレ実行委員会、オフィス・マツチング・モウル

○「生誕150年 クリムト 黄金の騎士をめぐる物語」展

記念講演会

2013年1月13日(日) 13:30~15:00 180名

講師: 小篠ゆま(ファッション・デザイナー)

演題: 「クリムトの現代性—「Klimt Gold」2012-13 秋冬コレクションより」



クリムト展講演会

展示説明会

2013年1月11日(金) 18:30~19:10 48名

2013年1月19日(土) 11:00~11:40 60名

2013年1月26日(土) 11:00~11:40 66名

2013年2月3日(日) 11:00~11:40 70名

○「円山応挙展 江戸時代絵画 真の実力者」

記念講演会

2013年3月3日（日）13：30～15：00 211名

講師：山下裕二（明治学院大学教授）

演題：「円山応挙 正当派の逆襲」



応挙展講演会①

2013年3月30日（土）13：30～15：00 180名

講師：山唄真應（大乘寺副住職）

演題：「空を描く」



応挙展講演会②

展示説明会

2013年3月9日（土）11：00～11：40 55名

2013年3月16日（土）11：00～11：40 61名

2013年3月22日（金）18：30～19：10 58名

2013年4月6日（土）11：00～11：40 40名

APMoA Project, ARCHに関するもの

アーティストトーク

吉本直子 2012年4月28日（土）13：30～15：00 28名

荒木由香里 2012年8月11日（土）13：30～15：00 34名

西岳拓貴 2012年10月7日（日）14：00～15：30 12名

奥村雄樹 2013年1月5日（土）13：30～15：00 40名

佐藤香菜 2013年3月9日（土）13：00～13：40 46名

アーティストワークショップ

2012年12月22日（土）13：30～17：00 奥村雄樹展関連「くう

そうかいぼうがく」 20名

コレクションに関するもの

○愛知県美術館・愛知県陶磁資料館コレクション企画「美しき日本の自然」展

展示説明会

2012年10月14日（日）11：00～11：40 村田真宏 27名

2012年10月19日（金）18：30～19：10 田村哲

（愛知県陶磁資料館学芸員）12名

2012年11月3日（土）11：00～11：40 長久智子

（愛知県陶磁資料館学芸員）11名

2012年11月17日（土）11：00～11：40 平井啓修 16名

○学芸員のおすすめの一点（展示作品説明会）

2012年10月6日（土）青木蒲堂《芳野春色図》 石崎尚 15名

2012年10月7日（日）川合玉堂《湖畔晚帰》 深山孝彰 18名

2012年10月12日（金）浦上玉堂《山紅於染図》 古田浩俊 6名

2012年10月13日（土）森田浩彰《Clockwise》 中村史子 7名

2012年10月20日（土）ジャック・ヴィヨン《存在》 中西園子 4名

2012年10月21日（日）黒田清輝《暖かき日》 高橋秀治 16名

2012年10月27日（土）ポール・ゴーギャン《海岸の岩／木靴職人》

森美樹 25名

2012年10月28日（日）坂本繁二郎《海岸の家》 藤島美菜 15名

2012年11月9日（金）中村岳陵《芦に白鷺鴉鴿図》

長屋菜津子 7名

2012年11月10日（土）杉戸洋《The second Lounge》

塩津青夏 15名

2012年11月11日（日）アンリ・マティス《待つ》 大島徹也 26名

2012年11月18日（日）リュシアン・クートー《干潮の帽子》

副田一穂 8名

○出前講座（県政お届け講座）

2012年5月10日（木）13：30～15：00 大垣共立銀行 OKB

Harmony Plaza 名駅 28名

講師：古田浩俊

演題：「愛知県美術館出前講座～美術の楽しみ方、美術館の活用法」

○コレクション展 展示解説会（ギャラリートーク）

2012年5月27日（日）11：00～11：40 「オブジェ！オブジェ！

オブジェ！」 副田一穂 26名

2012年7月22日（日）11：00～11：40 「梅原・安井の中国対決」

石崎尚 18名

2013年1月4日（金）11：00～11：40 「過酷な現実に抗して

ーコルヴィッツの作品」 深山孝彰 25名

2013年3月22日（金）19：00～19：50 「追悼 私の出会った

東松照明」

古田浩俊、竹葉丈（名古屋市美術館学芸員）、中村史子 38名



コレクション
副田学芸員
トーク

各種教育プログラム

○鑑賞学習交流会

- (1) 2012年4月21日 20名
「魔術／美術 幻視の技術と内なる異界」展解説 中村史子
「愛知県鑑賞学習普及事業」について 藤島美菜
- (2) 2012年7月14日 23名
「マックス・エルンスト－フィギュア×スケープ」展解説
副田一穂
「高校生のミュージアムガイドツアー」についての報告
高橋承一先生（愛知県立岩倉総合高校）
- (3) 2012年10月13日 20名
「美しき日本の自然」展解説 平井啓修
「夏休み子ども鑑賞会報告」
①小・中学生対象回「え！るんるん」 浅尾知子先生（飛鳥村立飛鳥中学校）
②幼児対象回「そら、とべるかな？」 藤島美菜
- (4) 2013年1月12日 28名
「生誕150年 クリムト 黄金の騎士をめぐる物語」展解説
森美樹
「視覚に障がいのある児童とのワークショップ」報告
中村史子
- (5) 2013年3月2日 80名
「円山応挙展－江戸時代絵画 真の実力者－」解説
深山孝彰
「半田市夏季教員体験型研修 あいバックを利用して」
小林克敏先生（半田市立青山中学校）、伊藤増代先生（半田市立花園小学校）
本年度寄贈図録『20世紀美術の森』『サイクルとりサイクル』
『ロートレック展』
昨年度寄贈図録『ペルシア文明展』『愛知曼陀羅－東松照明の原風景』『愉しき家』

○鑑賞学習ワーキンググループ

- (1) 2012年4月21日 15名
「今年度の活動予定報告」「ギャラリートーク者の選出」
- (2) 2012年5月20日 11名

「コレクション展ギャラリートーク」

石原則和先生（稲沢東高校）

- (3) 2012年6月16日 13名
「夏休み子ども鑑賞会のプログラム検討」
- (4) 2012年7月14日 12名
「夏休み子ども鑑賞会のプログラム検討」
- (5) 2012年7月29日 11名
「夏休み子ども鑑賞会の検討、準備、シミュレーション」
- (6) 2012年10月13日 12名
「来年度以降の愛知県鑑賞学習普及事業について」
- (7) 2012年11月17日 6名
「来年度の愛知県鑑賞学習普及事業について」
- (8) 2013年1月12日 15名
「あいちトリエンナーレ2013出展作家について」「来年度シンポジウム開催にあたって」
- (9) 2013年2月2日 9名
「コレクションを用いたギャラリートーク」
- (10) 2013年3月2日 10名
「来年度のワーキンググループの活動について」



鑑賞学習
ワーキンググループ

幼児、児童、生徒を対象とした鑑賞教育の実施

○「え！るんるん」(鑑賞会)

- | | | | |
|--------------|-------------|--------|-----|
| 2012年8月2日（木） | 10：30～12：00 | 小学3-4年 | 24名 |
| | 14：00～15：30 | 小学1-2年 | 12名 |
| 2012年8月5日（日） | 10：30～12：00 | 小学5-6年 | 18名 |
| | 14：00～15：30 | 中学1-3年 | 16名 |
| 2012年8月7日（火） | 10：00～12：00 | 小学1-2年 | 31名 |
| | 14：00～15：30 | 小学3-4年 | 11名 |
- 講師：鑑賞学習ワーキンググループ教員有志、学生アシスタント、藤島美菜、中村史子

○「フロッタージュとコラージュでシュールしよう」(鑑賞ワークショップ)

- 2012年8月10日（金）10：30～16：00 高校生23名
講師：鑑賞学習ワーキンググループ教員有志、学生アシスタント、藤島美菜、中村史子

○「そら、とべるかな？」(鑑賞ワークショップ)

2012年 8 月 3 日 (金) 10：30～12：30
2012年 8 月 4 日 (土) 10：30～13：30
4 歳・5 歳 19名
講師：村上誠 (美術家・名古屋柳城短期大学教授)、学生アシ
スタント、藤島美菜、中村史子



視覚に障がいのある人を対象とした鑑賞会

○視覚に障がいのある方への鑑賞プログラム

コレクション展に際して、アートな美 (名古屋YWCA美術
鑑賞ガイドボランティアグループ) の協力のもと、硯などの触
察のほか、平成23年度に作成した素材ボックスや、立体コピー
点字シートを用いて鑑賞した。また、軸や巻物を学芸員の話
を聞きながら鑑賞した。

2012年10月18日 (木) 午前10名 午後 8 名
2012年10月20日 (土) 午前11名 午後 1 名

各種団体鑑賞への対応

	小	中	高	大	専門	養護	一般	合計
総人数	913	1328	794	708	138	10	707	4598
総件数	21	77	19	22	4	1	24	168
学芸対応件数	17	33	15	15	1	0	20	101
学芸対応人数	816	409	313	530	46	0	567	2681

博物館実習の受け入れ

2012年度は8名の学生を受け入れた。
愛知県立芸術大学・美術学部、東洋大学・文学部、立命館大学・
映像学部、多摩美術大学・美術学部金沢美術工芸大学・美術工芸
学部、名古屋芸術大学・美術学部

実習カリキュラム
7月23日 (月)
自己紹介、ガイダンス、課題の説明 塩津、平井
愛知県美術館の沿革・組織・職掌の概要 高橋
美術館を取り巻く状況・課題・コレクション形成 高橋
施設見学 塩津
展覧会の成り立ち 古田

7月24日 (火)
実習1：作品の取り扱い (軸・卷子) 深山、平井
作品の保存と修復 長屋、塩津
実習2：屋外展示作品の保存について 長屋、塩津
実習3：作品の調書作成 長屋、塩津
鑑賞教育 学校との連携について 藤島

7月25日 (水)
作品移動・準備、展示作業 深山、塩津、平井
実習4：作品の展示と照明 深山、塩津、平井
鑑賞教育について 藤島

7月26日 (木)
コレクションの収集について 森
美術館の広報について 副田
コレクションの管理 (データ) について 石崎、平井
課題発表準備 塩津

7月27日 (金)
課題発表 (各自20分) 塩津

学生アシスタントの受け入れ

県内の大学生13名を受け入れ、夏季の子ども向け教育普及事業
の補助を中心とした実務の研修を行った。
・所属大学：愛知県立芸術大学、名古屋大学、名古屋芸術大学



美術館友の会との協力

(1) 友の会 特別鑑賞会

魔術／美術展 2012年4月19日（木）

昼24名 中西園子、夜19名 中村史子

マックス・エルンスト展 2012年7月19日（木）

昼29名、夜29名 副田一穂

美しき日本の自然展 2012年10月4日（木）

昼21名、夜29名 平井啓修

クリムト展 2013年1月10日（木）

昼27名 中西園子、夜26名 古田浩俊

円山応挙展 2013年3月7日（木）

昼21名、夜29名 深山孝彰

(2) 講演、講座

2012年7月22日（日） 26名 「マックス・エルンストをマックスに愉しむために」 副田一穂

2012年10月20日（土） 27名 「日本美術の美しさについて」 佐藤達生（大同大学工学部教授）

2012年11月24日（土） 40名 「ゴシック美術と中世の人々のまなざし」 木俣元一（名古屋大学大学院教授）

2013年3月23日（土） 19名 「版の魅力と行方」 倉地比沙支（愛知県立芸術大学美術学部准教授）

(3) 会報『空中回廊』の発行

2012年9月 35号：全館コレクション展紹介、会員活動紹介、新コレクション紹介

2013年4月 36号：プーシキン美術館展紹介、会員活動紹介、

平成24年度文化庁文化芸術振興費：

文化遺産を活かした観光振興・地域活性化 事業ミュージアム活性化支援事業

事業名：愛知県鑑賞学習普及事業「子どもたち・教員・学生・学芸員を結ぶ～地域の連携と多様な鑑賞をめざして」

期 間：2012年4月～2013年3月

目 的：・障がい者向けの鑑賞教育の啓発と環境整備

・各地域の美術館とのネットワークづくり

・学校関係者への鑑賞教育の啓発と鑑賞補助ツールの普及

・新たな鑑賞補助教材の研究

主 催：愛知県鑑賞学習普及事業実行委員会

協力館：愛知県陶磁資料館、一宮市三岸節子記念美術館、稲沢市荻須記念美術館、おかざき世界子ども美術博物館、名古屋市美術館、名古屋ボストン美術館

学生アシスタント協力大学：愛知県立芸術大学、名古屋大学

担 当：藤島美菜、中村史子

(1) 障がい者向け鑑賞教育の啓発

記念講演会

実施日：2012年10月8日（月・祝）

場 所：愛知芸術文化センター アートスペースA

講 師：広瀬浩二郎（国立民族学博物館准教授）

演 目：だれもが楽しめるミュージアムをめざして－見常者と触常者が創る“語り”の魅力

参加人数：85名



(2) 普及、人材育成事業

a 視覚障がい者向け鑑賞会・ワークショップ

(a) 「ドラム・カー」

日時・場所：①2012年11月16日（金）9：50～14：00 愛知県立名古屋盲学校 中庭

②2012年11月19日（月）9：30～14：00

愛知県立岡崎盲学校 中庭

実施者：國府理（アーティスト）、藤島美菜、中村史子、美術館スタッフ、学生アシスタント

参加者：①盲学校生徒 小学生Aグループ(10名)、Bグループ(9名)

②盲学校生徒 高等部3名、幼児3名 ほか



(b)「からくり★はじめてミュージアム」

日時：2012年12月2日（日）9：30～11：00

場所：おかざき世界子ども美術博物館 展示室および親子造形センター

実施者：磯谷榮一（からくり師）、おかざき世界子ども美術博物館 服部、美術館スタッフ、藤島美菜 中村史子

参加者：視覚に障がいのある小学生男子1名（10歳）、保護者1名



b 愛知県美術館鑑賞学習補助ツール「あいバック」教員向け研修会

期間：2012年5月～2013年1月

場所・回数：各地域の造形研究会等14回実施

(3) 鑑賞学習補助ツール作成事業

a 鑑賞冊子（点字本）

対 象：小学生高学年～中学生

内 容：

- ・愛知県美術館 グスタフ・クリムト 《人生は戦いなり（黄金の騎士）》1903年
ピエール・ボナール 《子供と猫》1906年頃
- ・愛知県陶磁資料館 荒木高子《パンドラの箱》1984年
- ・一宮市三岸節子記念美術館 三岸節子《自画像》1925年
- ・稲沢市荻須記念美術館 荻須高德《金のかたつむり》1978年
- ・おかざき世界子ども美術博物館
アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック《馬上の二人の兵士》1881年
- ・名古屋市美術館 フリーダ・カーロ《死の仮面を被った少女》1938年
- ・名古屋ボストン美術館 ジャン＝フランソワ・ミレー《種をまく人》1850年

(c)「感じる美術館～『えこども』とちょこっと冒険」

日時：2013年1月13日（日）10：30～12：00

場所：愛知県美術館チケット売り場横、展示室

実施者：北山美那子（アーティスト、えこども代表）、えこどもスタッフ、藤島美菜、中村史子、美術館スタッフ

参加者：視覚に障がいのある子ども（小学生4名）兄弟（3名）保護者（5名）



(d)「作品に触れる・素材に触れる」

日時：2013年2月9日（土）9：30～11：30

場所：愛知県美術館チケット売り場横、展示室

実施者：樋口一成（愛知教育大学教授）、藤島美菜、中村史子、美術館スタッフ

参加者：視覚に障がいのある子ども（中学年～中学生 5名）兄弟（2名）保護者（6名）



b 鑑賞ツール：立体絵画

作 品：愛知県美術館

・グスタフ・クリムト 《人生は戦いなり（黄金の騎士）》

1903年

サイズ：50×50cm 実物の1/4



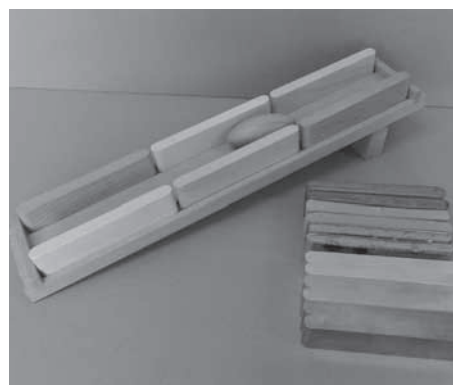
c 鑑賞ツール：素材体感ツール

種 類：金属5種類（アルミ、ステンレス、真鍮、銅、砲金）

木材5種類（クスノキ、トチ、ケヤキ、サクラ、ブナ）

陶磁器5種類（土器、陶器、焼締陶、磁器、黒陶）

サイズ：11.0×53.0×10.0cm（側板4.0×16.0×1.5cm 素材9種類・各2枚）



d 鑑賞学習補助ツール作成（あいパック）・県内全小中学校配布

内 容：愛知県美術館鑑賞学習補助ツール「あいパック」
アートカード40種3セット
あいパックガイド2部

(4) 記録作成事業

・報告書作成（A4版・52頁） 愛知県美術館鑑賞学習普及事業実施報告



所蔵作品に関すること

○村田眞宏

- ・「木村定三と熊谷守一」『花美術館』、2012年6月20日

○深山孝彰

- ・「木村定三コレクションの仏教美術」『仏教美術 木村定三コレクション』、2013年3月

○長屋菜津子

- ・『愛知県美術館研究紀要』、『愛知県美術館研究紀要木村定三コレクション編』（編集）、2013年3月
- ・「木村定三コレクション 鏡」（ビデオ）、2013年3月

○藤島美菜、中村史子

- ・『びじゅつかんからやってきた さわるアートブック』（点字本、企画・編集）、愛知県鑑賞学習普及事業「子どもたち・教員・学生・学芸員を結ぶ～地域の連携と多様な鑑賞をめざして」、2013年3月

○石崎尚

- ・「細井篤《ボーダーズ・ゲーム》」『毎日新聞』中部版、2012年5月26日
- ・「森田浩彰《Clockwise》」『毎日新聞』中部版、2012年8月18日
- ・「西川祐信《秋籬美人図》」『毎日新聞』中部版、2012年10月20日
- ・「片岡球子《面構 歌川国貞・柳亭種彦》」『毎日新聞』中部版、2013年1月12日
- ・「東松照明《男の子・名古屋》」『毎日新聞』中部版、2013年3月30日
- ・『拝啓、木村定三さま』（編集・執筆）、2013年3月

○平井啓修

- ・『仏教美術 木村定三コレクション』（編集）、2013年3月
- ・「須田剋太 木村定三コレクション」（リーフレット）、2013年3月

展覧会等に関すること

○村田眞宏

- ・（APMoA Project, ARCH）「荒木由香里 何ものでもある何でもないもの」『APMoA Project, ARCH vol. 2 荒木由香里 何ものでもある何でもないもの』（パンフレット）、2012年7月

○古田浩俊

- ・（企画展）「黄金の騎士をめぐる物語」、作品解説、年譜和訳『生誕150年記念 クリムト 黄金の騎士をめぐる物語』（図録）、2012年12月
- ・（企画展）「生誕150年記念 クリムト 黄金の騎士をめぐる物語」『AAC』74号、2012年12月

○深山孝彰

- ・（企画展）作品解説『円山応挙展 江戸時代絵画 真の実力者一』（図録）、2013年2月

○大島徹也

- ・（APMoA Project, ARCH）「佐藤香葉の絵画」『APMoA Project, ARCH vol. 5 佐藤香葉—森の中へ』（パンフレット）、2013年2月

○森美樹

- ・（企画展）「《人生は戦いなり(黄金の騎士)》におけるジャポニスム」、章解説、作品解説、参考文献『生誕150年記念 クリムト 黄金の騎士をめぐる物語』（図録）、2012年12月
- ・（APMoA Project, ARCH）「鼓動の庭—過去と現在の生命（いのち）が交差する場所」『APMoA Project, ARCH vol. 1 吉本直子 Reflection Space—鼓動の庭』（パンフレット）、2012年4月

○中村史子

- ・（企画展）「コレクションの魔力」、「日常の深化論」『魔術／美術 幻視の技術と内なる異界』（図録）、2012年4月

○副田一穂

- ・（企画展）「偽史としてのフィギュア×スケープ」『マックス・エルンスト—フィギュア×スケープ』（図録）、2012年4月
- ・（企画展）鈴木雅雄×中村尚明×石川潤×副田一穂「マックス・エルンストのフィギュアが意味するもの」（パネルディスカッション）、2012年4月29日、横浜美術館レクチャーホール
- ・（企画展）「友の会講座 エルンスト展をマックスに愉しむために」（講座）、2012年7月22日、愛知芸術文化センターアートスペースA
- ・（企画展）齊藤哲也×副田一穂×中村尚明×石川潤「フィギュアを支える世界—エルンストのスケープ」（発表・パネルディスカッション）、2012年7月28日、愛知芸術文化センターアートスペースA
- ・（企画展）石岡良治×副田一穂「エルンスト×フィギュア×スケープ×パルス」（トークイベント）、2012年8月22日、パ

ルル／parlwr

- ・（企画展）巖谷國士×石川潤×中村尚明×副田一穂「フィギュアを支える世界—エルンストのスケープ」(パネルディスカッション)、2012年11月24日、宇都宮美術館
- ・（APMoA Project, ARCH）奥村雄樹×山本高之×副田一穂「奥村雄樹《ジュン・ヤン 忘却と記憶についての短いレクチャー》上映会+トーク」（トークイベント）、2012年4月23日、愛知県立芸術大学博士棟2階講義室
- ・（APMoA Project, ARCH）「意識は眼球に宿る、あるいは江戸時代の眼球譚」『APMoA Project, ARCH vol. 4 奥村雄樹 善兵衛の目玉（宇宙編）』（パンフレット）、2012年12月

○塩津青夏

- ・（APMoA Project, ARCH）「西岳拓貴の『ROAD OF SEX』—大地の皮膚を巻き取ること、誰かと深くつながること」『APMoA Project, ARCH vol. 3 西岳拓貴 ROAD OF SEX』（パンフレット）、2012年10月

○中西園子

- ・（企画展）「合理化に宿る神秘—ルネサンスを解釈する美術—」、「他者の方法を取り込むこと」、コーナー解説『魔術／美術 幻視の技術と内なる異界』（図録）、2012年4月
- ・（企画展）作品解説『生誕150年記念 クリムト 黄金の騎士をめぐる物語』（図録）、2012年12月

○平井啓修

- ・（企画展）「応挙プロデュース、大乘寺客殿について」、作品解説『円山応挙展—江戸時代絵画 真の実力者—』（図録）、2013年2月
- ・（企画展）「重要文化財 松に孔雀図」『中日新聞』、2013年3月10日朝刊

教育普及活動に関すること

○藤島美菜

- ・「愛知県美術館鑑賞学習補助ツール『あいパック』について」（発表）、名古屋市緑区教育振興会、2012年5月8日、名古屋市立大高小学校／海部地方現職教育研究美術部会、2012年6月7日、あま市立美和中学校／名古屋市造形教育研究会、2012年6月8日、名古屋市美術館／造形教育学会総会、2012年6月30日、ルブラ王山
- ・「愛知県美術館と学校の連携—コミュニケーション能力を育む鑑賞活動の取り組み—」浅尾知子（飛島村立小中一貫教育校 飛島学園飛島小学校）、岡島叔子（尾張旭市立渋川小学校）との共同発表、日本美術教育学会第61回学術研究大会、2012年8月18日、愛知芸術文化センター

○藤島美菜、中村史子

- ・平成24年度文化庁文化芸術振興費補助金「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」ミュージアム活性化支援事業：愛知県鑑賞学習普及事業「子どもたち・教員・学生・学芸員を結ぶ—地域の連携と多様な鑑賞をめざして」(研究事業)、2012年4月～2013年3月
- ・平成24年度文化庁文化芸術振興費補助金「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」ミュージアム活性化支援事業：愛知県鑑賞学習普及事業「子どもたち・教員・学生・学芸員を結ぶ—地域の連携と多様な鑑賞をめざして」(報告書)、2013年3月
- ・『びじゅつかんからやってきた さわるアートブック』（点字本、企画・編集）、愛知県鑑賞学習普及事業「子どもたち・教員・学生・学芸員を結ぶ—地域の連携と多様な鑑賞をめざして」、2013年3月
- ・「立体絵画：グスタフ・クリムト」（企画）、愛知県鑑賞学習普及事業「子どもたち・教員・学生・学芸員を結ぶ—地域の連携と多様な鑑賞をめざして」、2013年3月
- ・「鑑賞ツール：素材体感ツール」（企画）、愛知県鑑賞学習普及事業「子どもたち・教員・学生・学芸員を結ぶ—地域の連携と多様な鑑賞をめざして」、2013年3月

作品の保存等に関すること

○村田眞宏

- ・「ミュージアムIPMの実践と課題」（パネリスト）、公開シンポジウム「市民と共に ミュージアムIPM」、2012年10月7日、一橋大学一橋講堂
- ・「防災体制の効果と課題」（パネリスト）、語ろう！文化財レスキュー—被災文化財等救援委員会公開討論会、2013年1月23日、東京国立博物館平成館大講堂

○長屋菜津子

- ・「愛知県美術館のIPMとその支援活動」（発表）、公開シンポジウム「市民と共に ミュージアムIPM」、2012年10月7日、一橋大学一橋講堂

○村田眞宏、長屋菜津子

- ・平成24年度文化庁文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業「市民と共に目指すミュージアムIPM」（研究協力）

美術館運営に関すること

○村田眞宏、副田一穂

- ・「はじめてアート講座 愛知県美術館なう」（講座・対談）、2012年7月20日、愛知芸術文化センターアートスペースA

○長屋菜津子

- ・「文化財の防災について－東日本大震災の文化財レスキュー事業から－」（発表）、愛知県文化財保護指導委員会議・市町村文化財保護行政担当者会議、2012年4月19日、愛知県自治センター

○大島徹也

- ・「愛知県美術館の地震対策－収蔵庫と展示室から」（発表）、平成24年度愛知県博物館協会保存・修復部門三河地域研修会、2013年2月19日、岡崎市美術博物館

あいちトリエンナーレに関すること

○高橋秀治

- ・「これからの鑑賞教育と美術館について」（講演）、中学校教員を対象とした美術教育研修会、2012年11月16日、愛知芸術文化センター／11月19日、愛知県東大手庁舎／11月20日、愛知県東三河総合庁舎

○藤島美菜

- ・「あいちトリエンナーレ」ガイドボランティア養成研修会（主催：あいちトリエンナーレ実行委員会）、2012年10月～2013年3月（6回）、愛知芸術文化センター
- ・「あいちトリエンナーレ地域展開事業」アーティスト派遣・学校アウトリーチ（主催：愛知県県民生活部文化芸術課）、2012年6～9月（3回）、豊田市若林西小学校

その他

○村田眞宏

- ・「北川民次－貴重な水彩・素描作品群－」『北川民次』アキラケダギャラリー、2012年8月
- ・「斎藤吾朗－赤絵の魅力－」『斎藤吾朗作品集』求龍堂、2012年12月25日

○高橋秀治

- ・「ワイエス」（講演）、ミュージアムセミナー：西洋近代絵画の楽しみ方、2012年9月2日、四日市市立博物館
- ・「アメリカ美術の魅力－リアリズムの世界」（講演）、講座「アメリカ紀行－アメリカ文化に触れて－」、2013年2月19日、名古屋市西生涯学習センター

○長屋菜津子

- ・「犬山祭の山車幕修理における金具等の蛍光X線分析」（愛知県教育委員会からの依頼による犬山市教育委員会への調査協力）、2012年8月3日

○藤島美菜

- ・『ゴッホの手紙 絵と魂の日記』H.アンナ・スー編、千足伸行監訳、富田章・藤島美菜訳、西村書店、2012年7月
- ・「愛知県美術館 鑑賞学習補助ツール『あいバック』」『教育美術』73巻11号（845号）、2012年11月

○大島徹也

- ・「博物館資料と調査研究活動－館種別調査研究：美術館」『博物館学Ⅰ－博物館概論・博物館資料論』大堀哲、水嶋英治編著、学文社、2012年
- ・「博物館展示の形態と方法－専門分野別展示：美術館」『博物館学Ⅱ－博物館展示論・博物館教育論』大堀哲、水嶋英治編著、学文社、2012年
- ・「ポロック展を終えて」『ZENBI』2号、2012年7月。
- ・「ジャクソン・ポロックと現代美術の展開」（講演）、2012年9月21日、岡崎市美術博物館
- ・「ジャクソン・ポロックの遺産」『美術年鑑』2013年版、2013年1月
- ・佐川晃司×大島徹也「絵画のこと」（対談）、2013年1月26日、galerie 16
- ・「箔の美学」『GOLD EXPERIENCE 2 ～金鱗によせて～』HRDファインアート、2013年3月
- ・「原裕治一流水の行方」『REAR』29号、2013年3月

○中村史子

- ・「写真を展示から考える」『愛知県美術館研究紀要 第19号』、2013年3月
- ・「野口里佳 光は未来に届くレビュー」『REAR』28号、2012年10月
- ・「安藤正子個展レビュー 光り満ちる庭にて」『美術手帖』974号、2012年10月
- ・「Re:Quest 1970年代以降の日本現代美術」展図録作家解説、ソウル大学校美術館、国際交流基金、2013年2月

○石崎尚

- ・「プレートテクトニクスの絵画」・「絵画（中絵画（中絵画）」『末永史尚個展「かげり」記録集』、2012年8月
- ・「奥村雄樹《ジュン・ヤン 忘却と記憶についての短いレクチャー》上映会＋トーク」『REAR』28号、2012年10月
- ・「周期と回転によって」『森田浩彰 Hiroaki Morita 2001-2012』、2012年12月
- ・「現代美術展 ART田ノ島39／現代美術展 ART田ノ島39 豊橋展」『REAR』29号、2013年3月

○塩津青夏

- “Light of the Sea, Shade of the Forest, or Darkness of the Sea, Light of the Forest: The Woodcuts of Teruo Isomi,” *Ocean Lights, Forest Shadows: New and Recent Woodblock Prints, Teruo Isomi* (Scotland: The Pier Arts Centre, 2012).
- 「坂本夏子展 Still Life」『REAR』 29号、2013年 3 月

○中西園子

- 「坂田英三『Année Sabbatique』」『REAR』 29号、2013年 3 月

ギャラリー（貸館）

2012年美術館ギャラリー利用状況

1 展示室利用状況

（単位：日数）

月別	区分 数 利用 可 日 能 a	利用 日 数 b	利 用 率 b／a	展示室別利用日数											
				A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	審査保管室	
														第 1	第 2
1	24	24	100.0	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	17	13
2	25	25	100.0	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	16	16
3	27	27	100.0	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	12	14
4	25	25	100.0	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	24	29
5	26	26	100.0	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	14	12
6	22	22	100.0	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	11	5
7	26	26	100.0	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	2	23
8	27	27	100.0	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	17	17
9	25	25	100.0	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	12	26
10	26	26	100.0	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	17	25
11	26	26	100.0	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	9	23
12	21	21	100.0	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	16	17
計	300	300	100.0											167	220

2 展覧会種別利用状況及び入場者数

月別	区分	展覧会種別利用件数（件）								入場者数 （人）	
		総 合 展	絵 画 展	彫 刻 展	工 芸 展	書 道 展	デ ザ イ ン 展	写 真 展	版 画 展		計
	2012年 1 月	4	0	0	0	2	1	0	0	7	47,012
	2 月	4	0	0	1	0	1	0	0	6	79,778
	3 月	6	5	0	0	6	0	1	0	18	40,812
	4 月	4	5	1	2	2	0	0	1	15	40,632
	5 月	5	6	0	1	2	0	0	0	14	36,933
	6 月	8	5	2	0	3	0	0	0	18	36,581
	7 月	6	9	0	1	4	0	4	0	24	37,436
	8 月	9	3	0	1	3	0	0	0	16	37,384
	9 月	3	5	0	0	4	0	2	0	14	33,252
	10月	6	1	0	0	4	2	0	1	14	35,465
	11月	8	6	0	1	5	0	1	0	21	29,559
	12月	6	4	0	2	1	2	0	0	15	35,254
	計	69	49	3	9	36	6	8	2	182	490,098

（注）利用件数は、展覧会の初日が属する月で整理し、入場者数は、当該月で整理している。

2012年上半期展示室利用スケジュール

[illegible]

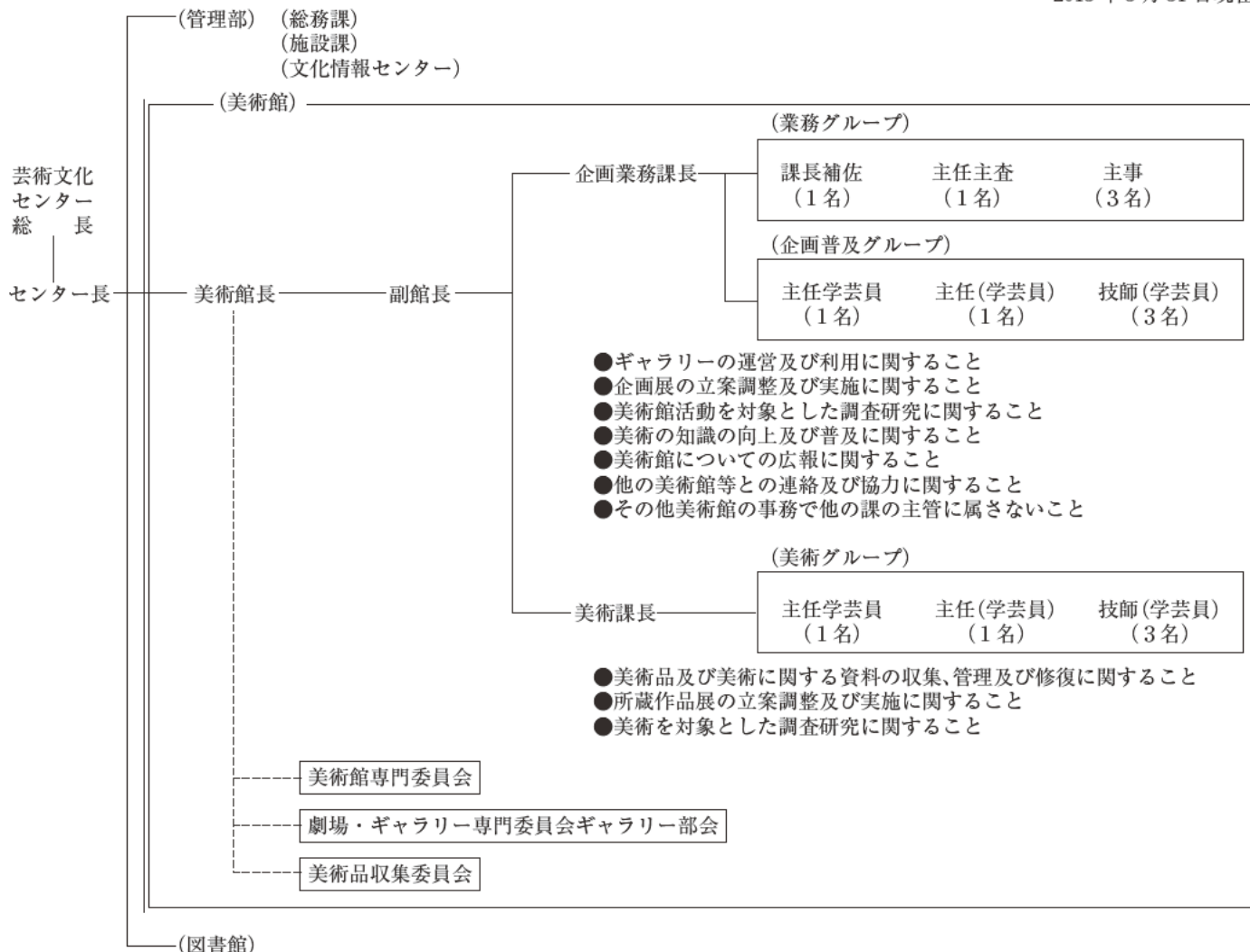
2012年下半期展示室利用スケジュール

[illegible]

組織および職員構成

1 組織図

2013年3月31日現在



2 愛知県美術館職員名簿

館長	村田真宏	技師(学芸員)	中村史子
副館長	高橋秀治	技師(学芸員)	副田一穂
企画業務課長	古田浩俊	技師(学芸員)	中西園子
課長補佐	長尾弘子	美術課長	深山孝彰
主任主査	藤弘幸	主任学芸員	長屋菜津子
主事	西原全代	主任(学芸員)	森美樹
主事	白井幸夫	技師(学芸員)	石崎尚
主事	高木久子	技師(学芸員)	塩津青夏
主任学芸員	藤島美菜	技師(学芸員)	平井啓修
主任(学芸員)	大島徹也		

関係委員会名簿

愛知県美術館専門委員会委員名簿

2013年3月31日

氏 名	所 属
油 田 弘 佑	愛知県美術館友の会会長
◎ 磯 見 輝 夫	愛知県立芸術大学長
○ 江 本 菜穂子	名古屋造形大学教授
亀 山 敏 一	日本放送協会名古屋放送局事業部長
川 村 則 夫	愛知県立旭丘高等学校長
黒 田 亮 子	美術評論家
野々川 房 子	日本メナード化粧品（株）常務取締役 （メナード美術館アート・プロデューサー）
古 川 秀 昭	岐阜県美術館長
松 永 恒 裕	名古屋市美術館長
三 浦 定 俊	財団法人文化財虫害研究所理事長

◎は委員長、○は委員長代理

(50音順)

劇場・ギャラリー専門委員会ギャラリー部会委員名簿

2013年3月31日

氏 名	職名・団体名及び役職
安 藤 滴 水	書家・中部日本書道会名誉副会長
◎ 神 谷 浩	名古屋市博物館副館長
斎 藤 吾 朗	洋画家・独立美術協会会員
鈴 木 滋 夫	公益財団法人愛知県文化振興事業団常務理事兼事務局長
高 北 幸 矢	清須市はるひ美術館長
仲 野 泰 裕	愛知県陶磁美術館副館長
松 村 公 嗣	日本画家・日本美術院評議員・愛知県立芸術大学教授

◎は部会長

(50音順)

愛知県美術館美術品収集委員会委員名簿

氏 名	職 名（所 属）
尾 崎 正 明	京都国立近代美術館長（日本近代美術）
◎ 黒 田 亮 子	美術評論家（西洋美術、日本近代美術）
田 中 淳	東京文化財研究所企画情報部長（日本近・現代美術）
村 上 博 哉	国立西洋美術館学芸課長（西洋美術、日本近代美術）
吉 田 俊 英	豊田市美術館長（日本近世・近代美術）

◎は委員長

(50音順)

愛知県美術館年報2012年度版

編集
発行

2013年11月発行
愛知県美術館
愛知県美術館
名古屋市東区東桜1-13-2
〒461-8525
Phone : 052-971-5511
Fax : 052-971-5604

表紙デザイン・本文レイアウト
印刷

日本印刷(株)
日本印刷(株)

Annual Report 2012, Aichi Prefectural Museum of Art
Edited by the Aichi Prefectural Museum of Art
Published by the Aichi Prefectural Museum of Art
1-13-2 Higashisakura, Higashiku, Nagoya 461-8525 JAPAN
Designed and layout by Nippon Printing Co., LTD
Printed by Nippon Printing Co., LTD
©2013 Aichi Prefectural Museum of Art
Printed in JAPAN